



公益社団法人 **日本地震工学会**  
Japan Association for Earthquake Engineering

日本地震工学会 20 周年記念式典資料

# 日本地震工学会 2011-2020 年の記録

2021 年 5 月

公益社団法人 日本地震工学会

はじめに

日本地震工学会は、2001年1月1日に任意団体として創立されて以降、一般社団法人(2010年2月4日)、そして現在の公益社団法人(2013年5月1日)とその組織の在り方を変えながら、創立当初に掲げられた地震工学に係る社会的使命と役割を強く意識し、分野横断的調査・研究の推進、国内外の地震被害調査とそれから得られる教訓に基づいた次の災害軽減のための技術開発・各種基準作り、世界に向けた我が国の地震工学研究成果の積極的な発信、さらには、蓄積された研究成果の社会への還元などにおいて、中心的役割を果たしてまいりました。

2011年には、創立10周年と一般社団法人日本地震工学会の創立を記念し、それまでの日本地震工学会の歴史や取り組みがまとめられた資料「日本地震工学会10年の記録」が作成されております。「日本地震工学会10年の記録」作成時には、学会設立時などの古い記録が十分に残っておらず、取りまとめの作業は極めて難航したと伺っております。現在は、公益社団法人として本会事務局が情報のアーカイブ化を確実に行っており、社員総会の機会などを利用し、都度、必要な情報を学会ホームページ等を通して公表しています。このたび、創立20周年を迎えるにあたり、「日本地震工学会10年の記録」発刊後からの10年間の記録をアーカイブされてきた資料を基にまとめ直すこととなりました。

ここ10年をみても、我が国だけでも2011年東北地方太平洋沖地震や2016年熊本地震、2018年北海道胆振東部地震など、多くの地震が発生いたしました。これらの地震被害を受け、防災・減災の中でレジリエンスが強く意識されるようになるなど、地震工学に関わるハード・ソフトの研究テーマはますます多様化しており、分野横断の要を担う日本地震工学会の役割の重要性は増しております。近い将来の発生が懸念される南海トラフ地震や首都直下地震などに対する防災・減災力の一層の向上が求められる今、日本地震工学会が果たすべき役割が創立時よりもさらに高まっているとの認識は、本会会員の皆様にも共感されるものであると思います。本資料が、日本地震工学会の使命・役割を再認識し、次の10年、さらにはその先の日本地震工学会、また、地震工学分野の研究・技術開発のあり様を考える一助となることを願います。

地震工学会 副会長  
20周年記念事業運営委員会 委員長  
秋山 充良

## 20周年記念事業運営委員会

### 委員長

秋山充良（早稲田大学）

### 委員

丸山喜久（千葉大学）

肥田剛典（東京大学）

徳光亮一（大成建設(株)）

米澤健次（(株)大林組）

# 目次

はじめに

第1編 日本地震工学会 2011-2020 年の記録.....	1
1. 日本地震工学会創立後 10 年の歩み.....	1
2. 公益社団法人への移行.....	3
2. 1 概略.....	3
2. 2 公益社団法人としての役割.....	3
2. 3 学会の事業.....	3
3. 規模（会員数）.....	5
4. 組織.....	6
（1）役員・理事会.....	6
（2）社員総会.....	7
（3）事務局・委員会.....	7
5. 事業・活動.....	8
5. 1 主要な事業.....	8
5. 2 その他の事業.....	11
6. 財務.....	13
第2編 資料編.....	15
1. 歴代会長.....	15
1. 1 歴代会長一覧（2010 年 6 月 第 11 代以降）.....	15
1. 2 歴代会長挨拶.....	15
2. 役員等一覧.....	28
3. 委員会の変遷と委員一覧.....	39
4. 論文集の発行状況.....	59
5. 財務状況.....	64
6. 任意団体日本地震工学会の規約と規則.....	68
6. 1 公益社団法人日本地震工学会 定款.....	69
6. 2 公益社団法人日本地震工学会 一般規則.....	76
6. 3 公益社団法人日本地震工学会 会員規則.....	79
6. 4 公益社団法人日本地震工学会 財産管理運用規則.....	82
6. 5 公益社団法人日本地震工学会 総会規則.....	85
6. 6 公益社団法人日本地震工学会 理事会規則.....	89
7. 日本地震工学会の出版物・発行物など.....	97
8. 日本地震工学会の年表.....	101

## 第1編 日本地震工学会 2011-2020年の記録

### 1. 日本地震工学会創立後 10年の歩み

2011年～2020年の記録を見る前に、「日本地震工学会 10年の記録」を概観する。この資料は、日本地震工学会ホームページ（[www.jaee.gr.jp](http://www.jaee.gr.jp)）よりダウンロード可能である。資料の冒頭には、日本地震工学会の立ち上げに向け、2000年9月1日に第1回の準備会が開催されたこと、任意団体として2001年1月1日に正式に創立されたこと、また、この背景には財団法人震災予防協会が重要な役割を果たしていること、などがまとめられている。震災予防協会は、1984年以降、IAEE（国際地震工学会）の事務局として機能しており、これらの業務、さらには、地震防災に関する啓蒙・普及活動を日本地震工学会に引き継いだのち、解散されている。諸先輩方の苦労が垣間見られる資料であり、是非、本会会員の皆様にも一読することをお勧めしたい。

創立時に定められた規約によれば、日本地震工学会の目的は下記のように要約されている。

- ・地震工学の分野横断的調査・研究の推進
- ・地震災害軽減のための国際的活動
- ・社会への直接的貢献

一方、2009年の通常総会で配布された将来問題検討委員会報告書によると、下記を学会の目的であると確認している。

- ・地震工学に関する学会を横断的に結ぶ学会としての役割
- ・地震災害軽減のための国際的活動の展開と地震工学分野での日本の代表としての役割
- ・地震防災に関する提言・知識の普及および防災教育などの社会的活動

現在の本会の活動の流れも、ぶれることなくこれらの目的を踏襲したものとなっている。最初の10年間、日本地震工学会を率いられた歴代会長は以下のとおりである（敬称略）。

2000年	初代会長	青山博之（出身学会：建築学会）
2001年	第2代会長	岡田恒男（出身学会：建築学会）
2002年	第3代会長	土岐憲三（出身学会：土木学会）
2003年	第4代会長	石原研而（出身学会：地盤工学会）
2004年	第5代会長	入倉孝次郎（出身学会：地震学会）
2005年	第6代会長	小谷俊介（出身学会：建築学会）
2006年	第7代会長	大町達夫（出身学会：土木学会）
2007年	第8代会長	北川良和（出身学会：建築学会）
2008年	第9代会長	鈴木浩平（出身学会：機械学会）
2009年	第10代会長	濱田政則（出身学会：土木学会）

この間に、研究委員会の立ち上げ、阪神淡路10周年国際シンポジウムの開催、論文集の発刊と学会賞の整備、などが行われ、また、公益法人改革の流れとあわせるように本会を法人化することが議論されていき、濱田先生が会長を務められている際に法人化が実行された。

「日本地震工学会 10 年の記録」には、2010 年までの地震工学会の会員数の推移、日本地震工学会が調査団・復旧支援団を派遣した海外・国内の地震災害の一覧、財務状況などがまとめられている。その資料編には、2002 年度～2010 年度までの間に 13 の研究委員会が組織されており、それらの具体的な構成員も一覧でまとめられている。研究委員会の名称は次のようである。

- ・性能規定型耐震設計法に関する研究委員会
- ・強震動データの共有化および活用法に関する研究委員会
- ・基礎－地盤系の動的応答と耐震設計法に関する研究委員会
- ・脆弱建造物の改修と人口集積地域の地震防災対策推進とその方策に関する研究委員会
- ・津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会
- ・津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会
- ・次世代型地震工学実験設備のあり方に関する研究委員会
- ・土構造物におけるライフサイクルコスト戦略の研究委員会
- ・リモートセンシング技術を用いた災害軽減に関する研究委員会
- ・災害リモートセンシング技術の標準化と高度化に関する研究委員会
- ・地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会
- ・原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会
- ・微動利用技術研究委員会

このほか、地震工学会論文集の掲載数（1 号当たりの平均掲載論文数）や採択率の推移なども興味深いものである。

次頁以降に示す本資料の内容は、この「日本地震工学会 10 年の記録」の継続をなすものであり、「日本地震工学会 10 年の記録」と比較しながら見て頂くと、日本地震工学会の活動の歴史が良く理解して頂けると思う。

## 2. 公益社団法人への移行

### 2. 1 概略

前節で述べたように、日本地震工学会は2001年1月1日に任意団体として創設され、2010年2月4日に一般社団法人となった。一般社団法人と比較し、公益社団法人の方が税制上の優遇措置があり、社会的な評価を得やすい等のメリットがあること、また、公益社団法人への移行により会計監査が厳しくなり事務負担が増大する懸念に対しては、既に公益社団法人と同等の監査を受けており、比較的スムーズに移行できると考えられたことから、2012年5月24日の第3回社員総会において、公益社団法人への移行が決定し、公益社団法人化推進委員会において、各種の検討が重ねられてきた。2012年11月9日には臨時社員総会が開催され、公益社団法人化申請に必要な定款を変更する等の準備が重ねられ、2012年12月7日に公益社団法人化の申請が行われた。2013年4月12日の内閣府公益法人等認定委員会で申請が承認、さらには2013年5月1日付けで内閣総理大臣より認定証が交付され、その日をもって日本地震工学会は公益社団法人に移行した。

### 2. 2 公益社団法人としての役割

「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」のもと、公益社団法人は、公益目的事業費が全支出の50%以上になるように公益目的事業の推進を図ると同時に、公益目的事業に係わる収入がこの実施に要する費用を賄う額を超えないという収支相償を満たさなければならない。日本地震工学会においても、不特定かつ多数の方々の方々の利益の増進に寄与することが強く求められ、会員の利益だけを追求するのではなく、広く国民のためになる事業の拡大が求められる。

しかしながら、創設以来、一貫して、地震工学および地震防災に関する学術・技術の進歩・発展を図り、地震災害の軽減に貢献することを目的としている日本地震工学会は、もともと公益目的事業の推進が学会活動の基本となっており、主な活動内容は公益社団法人となった今でも大きく変わらない。公益社団法人日本地震工学会として、国内のみならず、視野を世界に広げ、地震災害の軽減に資する広範な活動を展開していく必要がある。

### 2. 3 学会の事業

定款は2012年11月9日に制定され、公益社団法人となった後の2016年5月17日に改定されたが、学会としての目的および事業は制定時の内容を引き継いでいる。定款には、学会としての目的を達成するために下記の事業を国内外で行うことが定められている。

- 1) 地震工学及び地震防災に関する調査研究とその振興
- 2) 地震工学及び地震防災に関する研究発表会の開催
- 3) 地震工学及び地震防災に関する会報・論文集及び研究成果等の発行
- 4) 地震工学及び地震防災に関する文献・資料の収集及び活用
- 5) 地震工学及び地震防災に関する講演会・講習会・展覧会・見学会などの開催、その他
- 6) 普及活動
- 7) 地震工学及び地震防災に関する国内外との学術・技術・教育の交流

- 8) 地震工学及び地震防災に関する業績の表彰
- 9) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

### 3. 規模（会員数）

学会の規模や活動の指標として会員数・年間予算・事業規模（大会参加者・論文集の論文数など）があるが、本章では会員数に絞って現状を示す。

2011年度から2019年度における会員数の推移を図2-1に示す。公益社団法人となった2013年度は会員数の減少が目立つが、その翌年には会員数が回復している。2014年度以降、会員数は減少傾向にあり、特に正会員や学生会員ではその傾向が強い。新規会員の確保、また、会員継続に関する取り組みが今後の課題といえる。

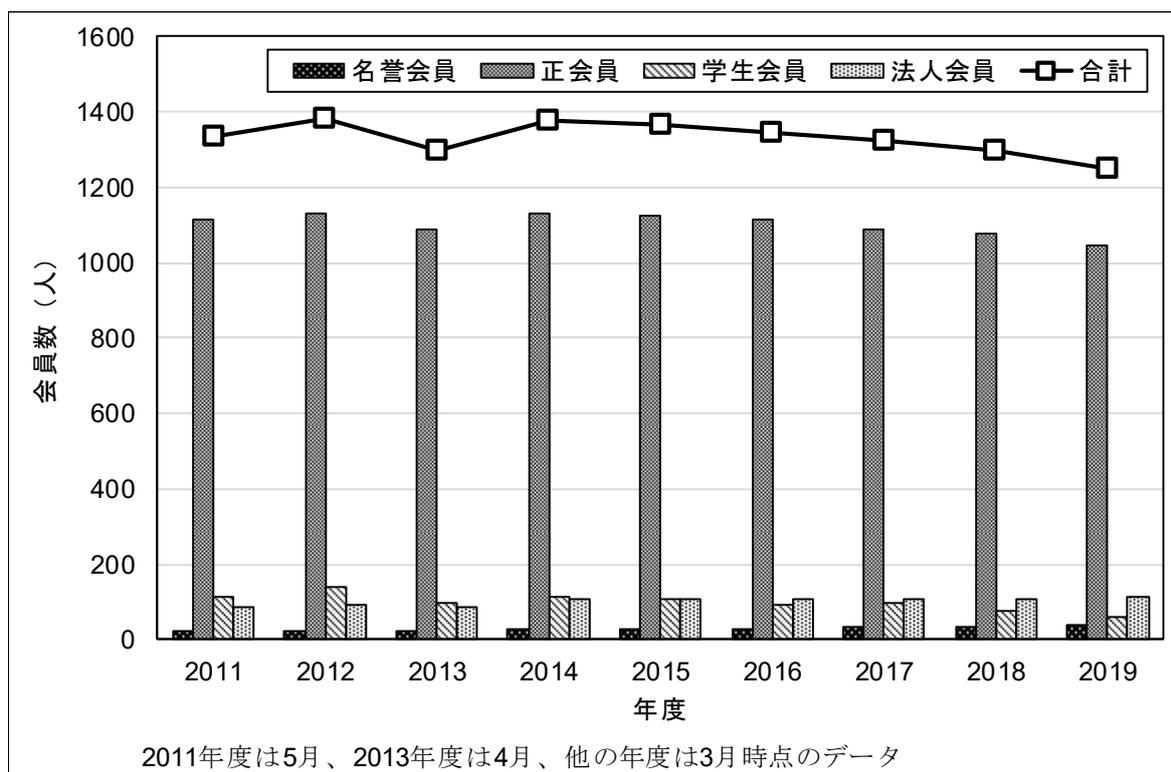


図2-1 会員数の推移

#### 4. 組織

平成 31 年 3 月 31 日時点での学会組織図を図 3-1 に示す。

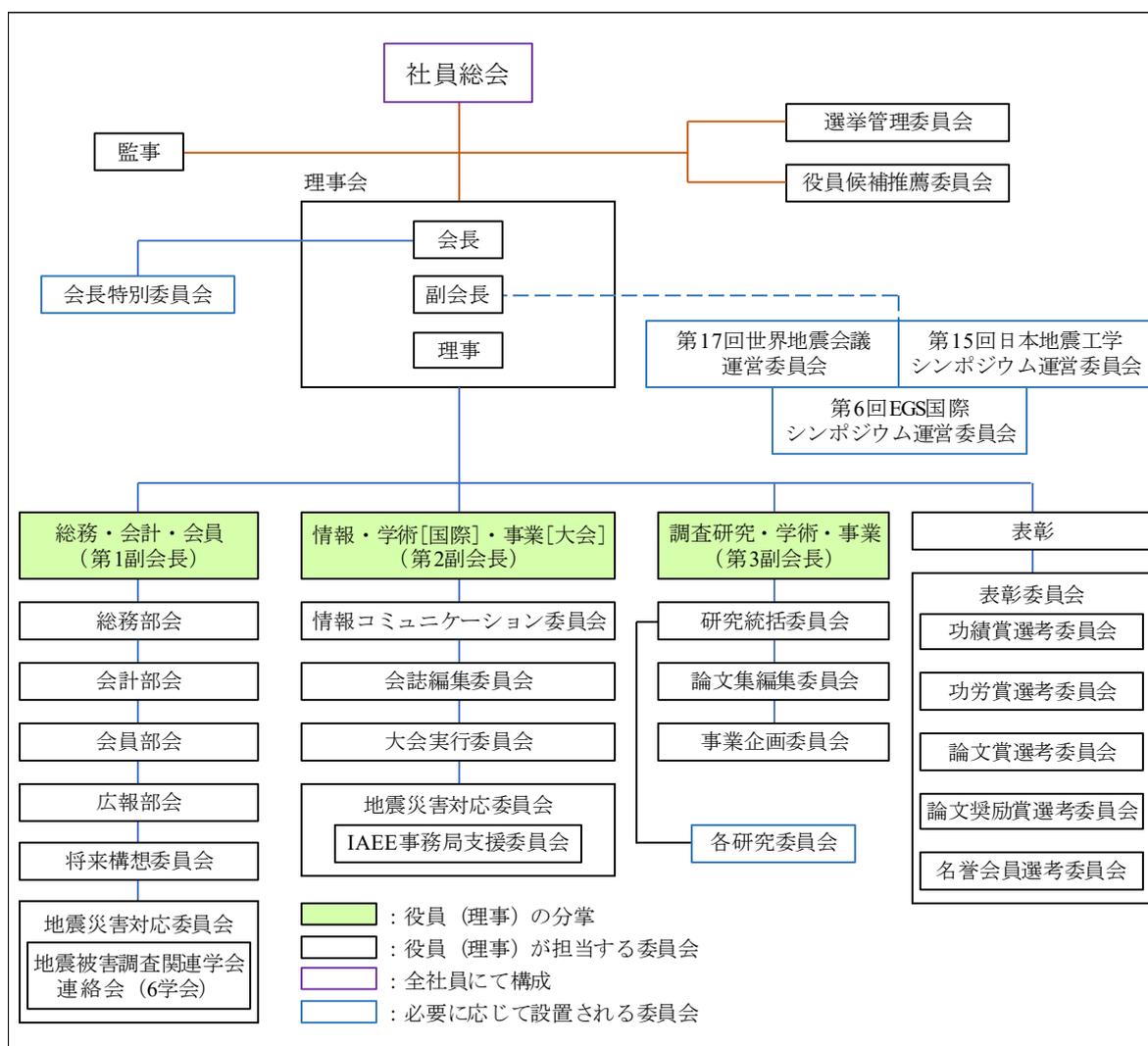


図 3-1 日本地震工学会の組織図 (平成 31 年 3 月 31 日時点)

##### (1) 役員・理事会

役員は 3 名以上 20 名以内の理事および 2 名以内の監事によって構成され、理事のうち 1 名を会長、1 名以上 3 名以内を副会長とする。また、理事のうち 1 名の専務理事を置くことができる。会長をもって法人法上の代表理事とし、会長を除く全ての理事は業務執行理事となる。

理事および監事は、社員総会の決議により選任される。会長、副会長および専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定される。理事及び監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結時までである。

理事および監事は無報酬であり、社員総会の決議によって解任することができる。また、その任務を怠ったときは、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。この責任は、全

ての正会員の同意がなければ、免除することができない。

理事会は、全ての理事によって構成され、会長が招集する。ただし、会長が欠けたとき、または会長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。理事会の職務は、(1) 業務執行の決定、(2) 理事の職務の執行の監督、(3) 会長、副会長および専務理事の選定および解職、および、(4) その他法令又はこの法人の定款に定められた事項、である。理事会の定足数は理事の過半数である。

理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行われる。可否同数のときは議長の裁決に委ねられる。

## (2) 社員総会

社員総会は、全ての正会員と法人会員によって構成される。社員総会の議長は会長であり、会長が欠けたときは副会長、理事の順で行われる。社員総会では、(1) 会員の除名、(2) 理事および監事の選任及び解任、(3) 各事業年度の事業報告及び収支決算の承認、(4) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認、(5) 定款の変更、(6) 解散及び残余財産の処分、(7) 基本財産の処分、(8) 役員報酬等に関する規程、(9) 理事会が必要と認めた事項、および、(10) その他社員総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項、について決議する。これらのうち、会員の除名、監事の解任、定款の変更、解散、および、その他法令で定められた事項に関する決議は、総正会員と総法人会員の半数以上であって、総正会員と総法人会員からなる議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集し、定時総会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に臨時総会を開催する。また、総正会員と総法人会員からなる議決権の10分の1以上の議決権を有する正会員および法人会員は、会長に対し、総会の目的である事項および招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

## (3) 事務局・委員会

事業を遂行するため必要があるときは、理事会の議決により委員会を置くことができる。委員会の任務、構成および運営に関し必要な事項は、理事会の決議により定められる。

公益社団法人日本地震工学会では、事務を処理するために、事務局を置く。事務局には、事務局長その他の職員を置く。事務局長は、理事会の承認を得て会長が任免し、その他の職員は会長が任免する。事務局の組織および運営に関し必要な事項は、理事会の決議により、会長が定める。

## 5. 事業・活動

### 5. 1 主要な事業

#### (1) 論文事業

過去 10 年間の論文集の発行状況を資料編 4 章にまとめた。

日本地震工学会は、地震工学および地震防災に関する学術・技術・教育の進歩・発展をはかり、地震災害の軽減に貢献するため、論文集の出版事業を推進してきた。論文集倫理規程では、本会の論文集に掲載される論文、報告、ノート、討論、総説・寄稿は、地震から人命・財産を保護することに深く関わっていることから、特に正確性、信頼性、社会への説明性が十分に保たれるようにしなくてはならないことが明記されている。

通常号は年 4 回の発刊を継続しており、加えて、特集号や英文号の発刊も行ってきた。2011 年 5 月から 2020 年 8 月までの期間で計 617 編（論文：513 編、報告 84 編、ノート 13 編、総説 6 編、寄稿 1 編）掲載された。

#### (2) 会誌事業

2005 年 1 月に、旧会誌である地震工学ニューズレター（電子出版）に代わるものとして発行が開始された日本地震工学会誌は、地震工学に関連するものであればジャンルや内容を問わず、現在まで原則年 3 回の発行ペースを継続している。電子出版物としても公開されており、日本地震工学会ホームページよりバックナンバーが閲覧できる（発行から 1 年間は、会員への限定公開）。

#### (3) 広報事業・IT 事業

2012 年 9 月に、米国地震工学会のニューズレターを一つの手本として、(1) ヘッドラインニュースとして何を全員に伝えるべきか、(2) 学会誌を補完する立場から全員に伝えるべき内容は何か、という視点を全面に出すと同時に、ニューズレター編集委員会メンバーの名前と顔が会員から見える形でニューズレターを刷新したいという考えのもと、新たに JAEE NEWSLETTER が創刊された。また、自ら日本地震工学会の情報を取材し、学会誌と並んで会員に対する情報提供の中心的役割を果たすという意識を鮮明にするために、担当する委員会の名称が電子広報委員会から情報コミュニケーション委員会に変更された。

創立時から配信されているメルマガ JAEE NEWS は、JAEE NEWSLETTER の創刊前は約 2 週間に 1 回配信されていたが、現在では約 1 ヶ月に 1 回のペースに変更されて配信が続けられている。

#### (4) 国際交流事業

地震工学および地震防災に関する国内外との学術・技術・教育の交流は、日本地震工学会の目的の一つである。本学会では IAEE 事務局の支援を継続しており、世界地震工学会議（WCEE：World Conference on Earthquake Engineering、17WCEE は 2021 年 9 月に仙台で開催予定（COVID-19 の影響により延期））の招致等、国際イベントに関する様々な対応が行われてきた。東日本大震災国際シンポジウム（2011 年）や第 1 回国際シンポジウム（2012 年）、

表層地盤が強震動に及ぼす影響に関する国際ワークショップ(ESG Workshop)等も開催され、地震・地震動研究の到達点を広く世界に発信し、同時に海外の被害地震に関する情報・知見の集約を図る取り組みが行われている。この他に、海外の地震に対して被害調査等も行った(表 4-1 参照)。

表 4-1 海外の地震に対する対応

発生年月日	地震災害	備考
2011.10.23	トルコ地震	日本建築学会と合同
2013.07.02	インドネシア・スマトラ島の地震	日本建築学会、土木学会、地盤工学会・ 日本地震学会、日本機械学会で地震情報を共有
2013.07.22	中国甘粛省の地震	
2013.09.24	パキスタン南部の地震	
2013.10.15	フィリピン中部の地震	
2015.04.25	ネパール大地震	土木学会・地盤工学会・日本地震工学会と合同
2016.02.06	台湾南部地震	日本建築学会と合同
2018.08.05	インドネシア・ロンボク島で発生した地震	情報収集および情報発信等を実施
2018.09.28	インドネシア・スラウェシ島近辺で発生した地震	情報収集および情報発信等を実施
2020.01.24	トルコ東部の地震	情報収集および情報発信等を実施

#### (5) 調査研究事業(研究委員会活動および災害調査活動)

調査研究事業には研究委員会活動および災害調査活動が含まれる。まず、研究委員会活動について述べる。2011～2019年度の期間に設置された研究委員会は、資料編3章にまとめている。委員会は広い分野にわたっており、一部を簡略に紹介すると、(i) 災害リモートセンシング技術、(ii) 原子力発電所の安全問題、(iii) 津波対策、(iv) システム性能、(v) 地震動特性、が挙げられる。また、会長特別委員会として、首都圏の複合災害に対する委員会や、地域の災害レジリエンスをテーマとする委員会も設置された。各委員会ともおよそ3年程度活動しているが、1年で終了したもの、後継の委員会を発足したものもあった。報告書などが学会に残されることが少ないことや、学会財政に直接寄与するものではない等の課題もあるが、研究委員会活動は特に若手会員の学際的交流を促す一つの良い機会であり、今後もその活性化が期待される。

災害調査活動に関して、前記(4)では海外の地震被害調査の実績を紹介したが、2011年東北地方太平洋沖地震や2016年熊本地震など、国内においても調査団を派遣してきた。地震災害調査は地震工学にとって非常に重要であることから、創立以来、調査活動の方向性を学会が示して支援しようとしてきた。具体的には災害調査活動を支援する組織として2006年から地震災害対応委員会が常置された。2012年に制定された地震災害対応活動に関する規程では、地震災害対応活動の目的やその内容等が示されており、国内外で発生した地震災害に対する日本地震工学会として果たすべき役割を知ることができる。

## (6) 表彰事業

表彰事業として、(i) 功績賞、(ii) 功労賞、(iii) 論文賞、(iv) 論文奨励賞、(v) 優秀発表賞、および(vi) 名誉会員、があり、それぞれに選考委員会が設けられており、以下に該当する個人あるいは団体に授与される。なお、これらの受賞者は、日本地震工学会のホームページに公表されている。

### (i) 功績賞

地震工学および地震防災研究の進歩・発展に顕著な功績があると認められた個人または団体

### (ii) 功労賞

地震工学および地震防災軽減における活動、運営、発展に貢献したと認められた個人

### (iii) 論文賞

表彰年の前年の10月31日から2年前までの期間に日本地震工学会論文集に地震工学および地震防災に関する論文を発表し、独創的な業績を挙げ、これが地震工学および地震防災における学術・技術の進歩、発展に顕著な貢献をなしたと認められる論文の著者である個人

### (iv) 論文奨励賞

表彰年の前年の10月31日から2年前までの期間に日本地震工学会論文集に地震工学および地震防災に関する論文を発表し、優れた研究により地震工学および地震防災の分野で顕著な業績をあげたと認められた若手研究者で、受賞者の年齢が受賞年の4月1日現在で満35歳以下の個人

### (v) 優秀発表賞

大会に論文を著者として投稿、発表し、優れた発表を行った若手研究者で、開催年度末時点で満35歳以下の個人

### (vi) 名誉会員

当法人の目的達成に多大の貢献をした個人、又は地震工学あるいは地震防災に関する学術・技術・教育の進歩発展に功績顕著な個人

## (7) 企画事業

地震工学及び地震防災に関する知識や情報の普及活動として、主に講演会・講習会・見学会を企画・実施してきた。E-ディフェンスの見学会のように毎年開催されるイベントはあるものの、年度によって開催数にばらつきがあるのが課題である。企画事業は学会財政に寄与できる事業でもあり、学会の創立目的にかなう事業でもあるので、質と量の面で高い水準で安定して実施することが望まれる。

## (8) 大会事業

大会は、地震工学各分野の会員を横断的に結びつける機会として重要である。一般規則の

中で、この法人は、原則4年に1回行われる日本地震工学シンポジウムが開催される年を除き、原則として、毎年1回以上、全国より会員の参集を求めて大会を開催し、会員の研究発表その他目的達成に必要な行事を行うものと定めている。開催場所は東京が多いが、高知（2016年）や京都（2019年）など、東京以外の都市でも開催されている。参加者数は約200～400名の間で変動しているが、確立した事業であると評価できる。しかしながら、学生参加者が少ないといった課題もあり、他学協会の行事も考慮し、幅広い年齢層の会員が多くの分野の成果・課題を知る機会を作る、など、大会のさらなる発展を考えた継続的な努力が求められる。

## 5. 2 その他の事業

### （1）会員事業

日本地震工学会は、これまでの地震工学関係の研究者や技術者のみならず、地震そのものや地震による災害に関わるあらゆる分野の人々にとって有益な交流の場であることを目指しており、これまでに地震工学の分野に関わってきた人々だけでなく、行政や公益事業に関わる人々、あるいは地域計画や心理学などの人文・社会科学に関する研究者、さらには医療関係者など、地震による災害に関わりのある分野の方々を対象に会員を募集している。日本地震工学会の入会案内や日本地震工学会会員の特典細則に示されるように、会員・非会員の差別化を図ることで入会の動機付けの一助となるように取り組んできた。しかしながら、2章でも示したように、法人会員数は維持されているものの、正会員および学生会員数は減少傾向にあり、学会としての今後の発展と学会財政の安定化の両面から、新規会員の確保につながる取り組みを続けていかなければならない。

### （2）出版事業

資料編7章に、2020年10月20日時点における日本地震工学会の出版物・発行物をまとめた。出版は、「地震防災に関する知識の普及」という点だけでなく、学会財政にも大きく寄与するので重要である。2011年1月14日時点では、出版物は委託出版の1冊だけであり、残りは大会や講演会などの梗概集や資料の残部を販売しているに留まっていたが、東日本大震災を主な契機として、徐々にその数は増えてきた。継続した優良図書の出版、そのための質の高い研究委員会活動の活性化が期待される。

### （3）共催・後援

毎年度、多くの後援・協賛・共催が行われており、日本地震工学会は一定の範囲で認知されている証拠といえる。主催学協会は、日本学術会議、日本地震学会、日本建築学会、日本原子力学会、地盤工学会、日本機械学会など多岐にわたっており、本学会は地震による災害に関わりのある分野を広く扱う学会として確実に認識されていると考えられる。

### （4）日本地震工学シンポジウム等

2011年度以降に着目すると、第14回日本地震工学シンポジウム（2014年）、第15回日本

地震工学シンポジウム（2018年）では日本地震工学会が幹事学会として主催した。また、例えば、「平成28年（2016年）熊本地震とESG研究」シンポジウム（2019年）、「現代都市の複合システムにおける性能設計と耐震性能評価」シンポジウム（2018年）、シンポジウム「南海トラフ巨大地震の広域被災に備える減災活動の現状と将来」（2018年度）など、地震防災に関する様々なシンポジウムを主催してきた。

#### （5）提言等

2012年5月24日、東日本大震災を受けて、日本地震工学会は日本社会全体に向けた提言「地震被害の軽減と復興に向けた提言－東日本大震災を受けて－」を表明した。本提言は、東日本大震災の教訓に基づき、社会の変容による災害の進化を想像し、これを未然に防ぐために国、国民、地震工学の専門家がなすべき事項をまとめたものである。提言のとりまとめは「広域・システム災害対応特別調査研究委員会」が担当した。

## 6. 財務

### (1) 財産

2020年3月31日時点の財産目録を表5-1に示す。流動資産は、即時換金可能な資産、もしくは、1年以内に収入または収益化されることが想定される資産であり、その金額は約1633万円となっている。固定資産は、長期にわたって所有し事業を行うために使用するもので、1年を超えての使用や、投資目的で長期間保有される資産である。その中で特定資産として、日本地震工学会では以下の積立金を有しており、それぞれに関する規程に則り積立・運用されている。

- (i) 特別事業積立預金（一般正味財産）  
地震防災の軽減と社会の安全性貢献事業
- (ii) 地震災害調査積立預金（一般正味財産）  
地震災害の緊急対応事業
- (iii) 事業運営積立預金（一般正味財産）  
本会の運営に対応する事業
- (iv) 6学会地震災害積立金（一般正味財産）  
6学会共通国内外の災害対応事業
- (v) 日本地震工学シンポジウム積立金（指定正味財産・一般正味財産）  
国内外の地震工学及び地震防災に関する学術シンポジウム等の開催

### (2) 収入

主たる収入は会費収入と一般事業収入である。会費収入は正会員および法人会員の会費であり、学生会員の会費や入会金の比率は極めて小さい傾向にある。事業収入は論文投稿料収入、調査研究収入、強震記録頒布・東日本報告書頒布に関する収入（2013年度から開始）、および広報収入からなっていた。年度によるばらつきはあるものの、論文投稿料収入が事業収入に対して高い割合を占める年が多く、上下しながらもその金額は増加傾向にある。

### (3) 支出

国際シンポジウムやJEESシンポジウム開催年を除くと、論文事業費支出、会誌事業費支出、および国際交流事業費支出の総額が全体の約半分を占めることが多くあった。収入に比べて、支出は年度毎のばらつきはあまり大きくなく、収入面で前期繰越金が増加傾向にあることから、収入の安定化が重要である。

表 5-1 財産目録 (2020年3月31日時点)

## 一般会計

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額 (円)
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	8,901
	預金	普通預金	三菱 UFJ 銀行 0103167	5,417,880
		ゆうちょ銀行	郵便振替口座	10,412,943
	前払金	日本建築学会ほか	総会会場予約金 4 月分インターネット接続費 4 月分会議室利用料	98,838
	貯蔵品	173 冊	耐津波工学報告書	394,016
流動資産合計				16,332,578
(固定資産)				
特定資産				
	特別事業積立預金	一般正味財産	地震防災の軽減と社会の 安全性貢献事業 三菱 UFJ 銀行 0125209	1,546,056
	地震災害調査積立預金	一般正味財産	地震災害の緊急対応事業 三菱 UFJ 銀行 0125194	1,890,000
	事業運営積立預金	一般正味財産	本会の運営に対応する事業 三菱 UFJ 銀行 0125212	400,000
	6 学会地震災害積立金	一般正味財産	6 学会共通国内外の災害 対応事業 三菱 UFJ 銀行 0491639	3,500,000
	日本地震工学シンポジウム 積立金	指定正味財産	日本地震工学シンポジウム関連	8,880,160
		一般正味財産	三菱 UFJ 銀行 0600423	4,720,749
			三菱 UFJ 銀行 0600423	4,159,411
その他固定資産				
	什器備品			2
	敷金		日本建築学会	726,768
固定資産合計				16,942,986
資産合計				33,275,564
(流動負債)				
	前受金		令和 2 年度会費前納分	103,000
流動負債合計				103,000
負債合計				103,000
正味財産				33,172,564

## 第2編 資料編

### 1. 歴代会長

この章では、2010年6月（第11代）以降に務められた歴代会長の会長就任時の総会における挨拶を掲載する[1]。その時点で何が問題であったか、それに対してどのようにしようとしていたか、が窺える資料である。

[1] 日本地震工学会：会長挨拶，日本地震工学会ホームページ  
[https://www.jaee.gr.jp/general/greeting/past\\_presidents/](https://www.jaee.gr.jp/general/greeting/past_presidents/)

#### 1. 1 歴代会長一覧（2010年6月 第11代以降）

代	任期	氏名	出身学会
11代	2010年6月1日～2011年5月31日	久保 哲夫	建築学会
12代	2011年6月1日～2013年5月31日	川島 一彦	土木学会
13代	2013年6月1日～2015年5月22日	安田 進	地盤工学会
14代	2015年5月22日～2017年5月19日	目黒 公郎	土木学会
15代	2017年5月19日～2019年5月24日	福和 伸夫	建築学会
16代	2019年5月24日～現在	中埜 良昭	建築学会

#### 1. 2 歴代会長挨拶

公益社団法人日本地震工学会ホームページより転載した2010年6月（第11代）以降の会長挨拶を次ページ以降に示す。

久保哲夫 第11代会長（任期：2010年6月1日～2011年5月31日）の挨拶

会長就任にあたりご挨拶申し上げます。

日本地震工学会は、地震工学および地震防災に関する学術・技術の進歩発展をはかり、それを以て地震災害の軽減に貢献することを設立趣意に掲げ、2001年1月に任意団体として設立され、その後9年余間にわたり学会事業としての展開をはかって参りました。昨2009年の第9回通常総会において、法人格の取得に向けての方向が会員の総意として承認され、濱田政則前会長のリーダーシップの元に、法人化準備委員会での作業、理事会での審議を経て、多くの会員諸氏のご支援・ご鞭撻により本年2月4日に一般社団法人日本地震工学会の設立が登記されました。



本2010年5月20日に開催された任意団体としての第10回通常総会と一般社団法人としての第1回定時社員総会において、任意団体の解散と残余財産処分、今までの任意団体の会員と財産を一般社団法人日本地震工学会に移行する一連の議案が承認されました。事業計画等も、基本的には任意団体のそれらを微修正して引き継ぎ、会員の皆さまの権利・義務については、基本的には法人化後において変更はありません。

本年5月20日の第1回定時社員総会を以て実質的な活動をスタートすることになりました。一般社団法人日本地震工学会は、法人の憲法に位置付けられます定款に於いて本会の目的を次のように宣しております：“当法人は、地震工学および地震防災に関する学術・技術の進歩発展をはかり、もって地震災害の軽減に貢献することを目的とする。その目的に資するため、次の事業をおこなう。”とし、以下に“調査研究とその振興”、“研究会の開催”、“会報・論文集及び研究成果等の発行”等の事業を挙げ、第2項として、“各事業の実施地域は日本国内及び海外とする。”と記し、国際協力への展開を目的として据えております。

本会が法人格を取得したことによるメリットとしては、幾つかの点があると考えられます。一つは、法人格を有することにより他学会・協会に対するプレゼンスを確保することができ、今後イコールパートナーとしてのより強い協調関係を構築することが出来る、二つは、競争的資金による研究課題に応募が出来るようになること、三つは、例えば文部科学省に於ける若手研究者の表彰事業に候補者を推薦できることになること、その他としては、研究・調査をサポートして戴ける寄付金を受け入れることが出来る等であります。そのほかにも、法人格を有したことによって新たに出来るようになることがあると思われませんが、これらについては更に実情を継続して調べ、その結果については会員皆様方へホームページ等を通じお知らせいたします。デメリットは、任意団体から法人格団体へ移行したことによって規則、規約等に若干の新たな制約が生じることです。後者については、柔軟に対応して参ります。

本年度の本会の活動方針については、先ず、一般社団法人となった体制の確立をはかって参りたいと考えております。具体的には、後述します本会の特色を活かした学術活動の活性化に関連して一般社団法人日本地震工学会としての競争的資金の獲得、本会趣意にご賛同戴ける方々、諸団体からの共同研究の提案、寄付金等の獲得、ならびに一般社団法人日本地震

工学会として本会会員の活動に対して外部の表彰制度への推薦などに前向きに取り組んで参り、念願でもあった法人化によって期待されてきたことに途がつけられることを期しております。

第二には、最近やや低調気味であった本会の学術活動の活性化を目指したいと考えております。私の捉えるところでは、本会の特色としては、①本会会員は、土木学会、日本建築学会、日本地震学会、日本機械学会、地盤工学会等の関連学協会において主導的な活動をされている；②本会の活動目的は、その内容は広範に及ぶものの、“地震工学および地震防災”の進歩、発展に絞っている等が挙げられる。この本会の有する特色を活かし、本会だからこそ出来る災害情報、社会システムを含めた各分野の協調による分野横断的な課題を取りあげ、推進したいと考えております。その為には、研究統括委員会をはじめとし、広く会員の皆様方よりいろいろなご提案を戴くとともに、理事会としては、そのような分野横断的な提案については支援を惜しむことのないよう、推進をはかって参ります。

2010年にはいっても、ハイチとチリにおいて大きな災害を伴った地震が日をおかずに続いて発生しました。これらの災害は、地震災害がそれぞれに地域性を有することを示しており、さらには事前の地震・防災対策および事後の救援体制の在り方を啓示していると受けとめられます。我が国においても、タイプの異なる南海トラフに沿った南海・東南海・東海地震や首都圏直下地震等の発生確率が高い値で評価されております。日本地震工学会が、定款に記す“地震工学・地震防災に関する諸課題に取り組み、その進歩発展を以て地震災害の軽減に貢献する”ことにより、社会的に果たすべき役割と期待もますます大きくなって参ります。日本学術会議をはじめとし、地震災害の軽減を広く共有する他の国内・国外の諸学協会との密な連携を推進し、地震工学、地震防災に関連する分野に係わる研究者、技術者の団体として本会趣意に沿い、主導的に国内外の地震災害の軽減に貢献をはかる本会の役割を明確にし、具体的な貢献、成果をあげるように取り組んで参ります。

会員各位の、一層のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

川島一彦 第12代会長（任期：2011年6月1日～2013年5月31日）の挨拶

平成23年5月開催の第2回社員総会で前久保哲夫会長から会長職を引き継ぎました。従来、会長職は1年任期でありましたが、平成22年5月の一般社団法人化後に選任された会長から2年任期となり、私は平成23年度、24年度の2カ年、会長職を努めることとなります。皆様のご支援を得て、日本地震工学会の発展に尽くして参りたいと存じますので、どうぞご支援のほど、お願い申し上げます。



まず、最初に、この度の東日本大震災により亡くなられた多数の犠牲者の霊に対して衷心より追悼の念を捧げると同時に、物心両面にわって甚大な被害を受けられた被災者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。地震工学および地震防災に関する学術・技術の進歩発展をはかり、もって地震災害の軽減に貢献することを目的とする日本地震工学会にとって、この地震による教訓を最大限くみ取り、これを将来の地震災害の軽減、防除に役立てることが、私たちに課せられた使命だと考えています。

日本地震工学会は、我が国に地震工学が包含する幅広い学問、技術領域を束ねる学会が存在しなかったことから、米国地震工学会（EERI）をお手本として、我が国にもこうした学会を作るべきであるという、青山先生、岡田先生、土岐先生等の諸先輩のご努力により、2000年9月に発足準備会を立ち上げ、2000年12月に設立総会を開催して、2001年1月1日をもって発足したものであります。総会時点における入会申込者は1,045名でありました。私は、当時、会員勧誘部会（私1名だけでしたが）を仰せつかり、毎日、会員の応募数の棒グラフとにらめっこで、地震工学に関心を持つ研究者、技術者等に漏れがないかを中心に、会員の勧誘を担当しておりました。

日本地震工学会は本年で満10才を迎え、諸先輩の努力のお陰で大きく成長して参りました。しかし、地震工学の究極のターゲットは、地震災害の防除を通して国民が求める安全で安心な社会の実現にあることを考えると、日本地震工学会が果たすべき役割は非常に大きいものがあります。東日本大震災という甚大な犠牲の上に得られた貴重な震災経験を、少しでも今後の震災の軽減、防除に役立てるようにして行くことが重要です。自分が力不足であったためにあのような惨事が生じたとまで考えておられる会員が何人もいることは、地震工学の研究者、技術者の社会的使命が如何に大きいかを、如実に示していると考えております。

日本地震工学会の力の源泉である研究委員会をより活発にすると同時に、より貢献度の高い論文を世に出せるように論文集を一層充実させ、また、地震発生後、関連学会と協力して、タイムリーに地震被害調査団を出し、被害の実態を把握し、これを震災対策に活かすとともに、さらに、地震工学に係わる多分野の研究者、技術者の情報交換の場として、日本地震工学会“大会”を、着実に実施することに加えて、私は自分の任期内に以下の3点に貢献していきたいと考えております。

1つは、東日本大震災とその後の震災に対する対応です。東日本大震災後、日本地震工学

会は土木学会、建築学会、地盤工学会、機械学会、地震学会の 6 学会と協力して、“東北地方太平洋沖地震・被害調査連絡会”を立ち上げました。現在まで 2 回の連絡会が開催されていますが、個別の学会の議論はその設立の理念となっているテリトリーに限られます。地震災害をもう少し大きな目で俯瞰的に見るためには、日本地震工学会の役割が大きいと考えられます。兵庫県南部地震以降、日本は地震活動期に入ったと言われておりますが、今回の東日本大震災を境に、来るべき南海、東南海地震や東海地震、さらには首都圏直下型地震の発生も懸念されております。東日本大震災を教訓に、どのような対策を取っていくべきかに関する検討を日本地震工学会として実施すべきと考えています。幸いにして、久保前会長に特別委員会設置の道筋を立てていただきましたので、この場を有効に活用し、1000 年に 1 回と言われる震災から何を学ぶかを検討すると同時に、将来の巨大地震に対して備えておくべき対策を提言していきたいと考えております。

2 つめは、海外に対して東日本大震災に関する情報発信を行っていくため、東日本大震災から 1 年後にあたる、平成 24 年 3 月 11 日前後を目処に、他の 5 学会と協力して、国際シンポジウムを開催したいと考えています。地震先進国の日本がこの地震から学ぶ点は何か、他の国はこの地震をどのように捉えたかは、地震被害の脅威にさらされている国々にとって共通する重要な課題だと考えられます。国際シンポジウムを日本発の情報発信の場にしたいと考えております。

3 つめは、海外会員の獲得とこれによる日本地震工学会の国際化の進展です。EERI(米国地震工学会)では、約 2,200 人の会員のうち 20%弱の 400 人が海外会員であります。カナダ 100 人、日本 70 人、英国 25 人と、多数の海外会員がいます。海外会員の獲得は、海外において日本の技術が正当に評価されるために重要です。これは、日本のお家芸とも言える地震工学の技術に対する評価が、技術の分野だけに止まらず、日本そのものの評価につながるところが大であるからであります。日本には毎年多数の留学生が地震工学を勉強に来てくれますから、これらの学生を中心に、海外会員の獲得に力を入れていきたいと考えています。

以上、いくつかをご紹介しましたが、このほかにも会長として実行すべきだと考えているプログラムがいろいろあります。これらの実現には、会員の皆様のご協力が何よりも重要であります。今後 2 年間、日本地震工学会の発展のために力を尽くして参りたいと考えておりますので、なにとぞご支援のほどお願い申し上げまして、就任の挨拶といたします。

会長就任にあたりご挨拶を申し上げます。

東日本大震災の復旧・復興が続いているところに、南海トラフでの地震や首都直下地震の来襲も大きな話題となり地震工学の重要性が高まっている中、会長の重責を務めさせていただくことになり、身の引き締まる思いです。会員の皆様のお力により、地震による被害のさらなる軽減を目指して活動していく所存でございますので、よろしく願いいたします。



さて、我が国および諸外国をとりまく地震環境はどんどん変化し、それに伴って地震工学が果たすべき役目も変わってきています。例えば、かつては土木、建築構造物それぞれの耐震性を高めることが重要で、そのために多くの努力がなされ耐震設計が確立されてきていますが、昨今の地震被害を見ますと、せっかく耐震設計していた構造物が津波で流されたり、耐震性を持たせて埋設されていたライフラインが斜面崩壊で壊れたり、複合的な災害が目立ってきています。これに対しては、広い視野に立って総合的な防災、減災を考えていかなければなりません。幸い、日本地震工学会は、建築、土木、機械、地震、地盤の異なる分野の方々が集まって12年前に発足し、その後他の分野の方も加わってこられています。この横の繋がりの特徴を生かして、総合的な防災、減災を目指した活動を行うことが大切と思われます。このために、横の連携をさらに深める研究委員会や事業企画活動などを活発にしていきたいと思っております。

本学会は2001年に任意団体から始まりましたが、2010年に一般社団法人になり、さらに、本年（2013年）公益社団法人として認可されました。このようにこれまでの執行部の方々のご努力と会員の方々の支持により組織が確立されてきましたが、同時に本学会の社会的責任も増加してきました。とくに公益社団法人になりましたので、活動内容として会員内での学術的発展だけでなく、社会への還元を目指す必要があります。また、阪神・淡路大震災や東日本大震災と、大震災と名付けられた地震災害が相次いでいて、さらに南海トラフの地震や首都直下地震など広域かつ甚大な被害が生じる危険性のある地震の襲来が危惧される中、地震工学の立場から世の中に地震被害の実態を正しく伝え、防災・減災の方法を説明していくことが大切です。そのためには、講演会やマスコミなどを通して学会の外に向けた情報発信を積極的に行っていく必要があると思われまます。これには、産官学に民、マスコミといった、社会との連携が必要です。このためにどんな方策があるか、いくつかの新しい試みをしてみたいと思っています。

研究・技術開発に関する最近の課題としては性能設計や長周期地震動、巨大津波などが挙げられますが、これからも新たな課題が次々出てくるかと思っております。例えば、高度成長期に建設した多くの構造物の老朽化に対し、日常の維持管理の仕方が現在話題になっていますが、当然、地震時の安全性も議論しなければなりません。少子高齢化と地方の過疎化が急速に進む中、山間地の地震時安全性をどのように確保するかも検討する必要があります。地球温暖化による海面上昇も沿岸部の耐震性を弱めることになりかねません。また、東日本大震災で

は適正な土地利用や事前の復興準備のあり方も課題として上がってきています。このような長期の視野に立った課題に対しても予め研究しておく必要があると思われます。

以上、いくつか学会活動の案を示してみましたが、これまでの活動を当然引き継ぎ、学会活動の継続性をもたせたいと思います。例えば、国際化に向けた英文論文集の発行や、会報の定期的な発行、学会として重要な会員数の増強など、理事の皆さんとともに鋭意努力していきたいと思います。会員皆様のご支援のほどよろしく申し上げます。

目黒公郎 第14代会長（任期：2015年5月22日～2017年5月19日）の挨拶

日本地震工学会（JAE）の平成27年度の活動の開始にあたって一言ご挨拶申し上げます。

つい先日、2015年4月25日にネパールでM7.8の地震が起こり、カトマンズ盆地を中心に甚大な被害が発生しました。内外で大きな地震災害が発生するたびに、地震工学や地震防災の重要性が叫ばれます。しかし過去の経験からすると、社会一般の注意力はあまり長続きしないようです。「注意が長続きしない」問題は、一般的には工学の研究対象ではないのかもしれませんが、地震被害の最小化を目標とする日本地震工学会にとっては非常に大きな課題です。



東日本大震災を踏まえた政府中央防災会議の試算では、南海トラフの巨大地震による被害は、最大で、死者・行方不明者が32万人を超え、全壊・流出・全焼建物被害は240万棟近く、被害総額は220.3兆円です。同様に首都直下地震では、死者・行方不明者が2.3万余人を超え、全壊・全焼建物被害は60万棟以上、被害総額は95兆円です。両者を合わせた被害総額は300兆円を超え、これは我が国のGDPの6割を超える規模です。

これらの被害想定の精度に関しては様々な意見があるでしょうが、現在の我が国の財政状況や少子高齢人口減少社会を考えれば、これらの巨大地震災害への取り組みは「貧乏になっていく中での総力戦」であることは間違いないと思います。総合的な防災力の向上は、「自助・共助・公助」の3者の担い手ごとに、「被害抑止」「被害軽減」「災害の予見と早期警報」の3つの事前対策と、「被害評価」「緊急災害対応」「復旧・復興」の3つの事後対策を、対象地域の災害特性と防災対策の実状に合わせて適切に組み合わせて実施していくことで実現します。しかし我が国の財政と人的資源の制約を考えれば、今後は「公助」の割合は益々減っていくことが予想され、これを補う「自助」と「共助」の確保と、その活動を如何に継続していくかが大きなポイントになります。このような課題に対する解決策は、従来型の地震工学の研究のみからは出てきません。

これまでの研究の深化に加え、理工学と人文社会学を融合した研究成果に基づくハードとソフトの組み合わせ、さらに産官学に金融とマスコミを合わせた総合的な災害マネジメント対策が求められています。これらを実現する上でのキーワードは防災対策の「コストからバリュウへ」の意識改革と「フェーズフリー」です。従来のコストと考える防災対策は「一回やれば終わり、継続性がない、効果は災害が起こらないとわからない」ものになります。しかしバリュウ(価値)を高める防災対策は「災害の有無にかかわらず、平時から組織や地域に価値やブランド力をもたらし、これが継続性される」ものになります。防災の視点からの組織や地域の格付けとその結果に基づく金融モデルやリスクコントロールに貢献する災害保険などがその典型です。

「フェーズフリー」は平時と災害時、防災の3つの事前対策と3つの事後対策など、様々なフェーズで適用できたり利用可能な商品、システム、会社や組織、人やその生き方、など

を表現する新しい言葉です。社会の様々な構成要素を「フェーズフリー」にしていくことで付加価値をもたらすとともに、結果的に社会全体を「フェーズフリー」に、すなわち災害レジリエンスの高い社会に変革しようとするものです。

我が国を代表する地震工学の専門家集団である JAEE に対する社会の期待や課題は、東日本大震災の復旧・復興支援、首都直下地震の危険性が指摘される中での 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた地震対策の推進、第 17 回世界地震工学会議（17WCEE）の誘致、南海トラフ沿いの巨大地震対策の推進、諸外国での地震災害への支援、学会としての強靱な財政基盤の確立など、様々です。これらの期待や課題解決に答えられるよう、また会員の皆様のお役に立つ学会となるよう努力していきますので、益々のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

福和伸夫 第15代会長（任期：2017年5月19日～2019年5月24日）の挨拶

第5回社員総会において日本地震工学会会長に選出されました。これから2年間、本会の発展のため精一杯励みますのでどうぞご協力を宜しくお願い申し上げます。

会長就任にあたって一言ご挨拶申し上げます。

21世紀の始まりとともに設立された日本地震工学会は、本年で満16才となり、まさに青年期を迎えました。青山博之先生以来の歴代の会長や執行部の方々のご努力により、公益社団法人として、学会活動も充実してきました。現在の会員数は、名誉会員29名、正会員1,116名、学生会員89名、法人会員107と、数の上では多くは増えていませんが、6つの研究委員会の活動や、論文集・会誌などの発刊、News Letter・メールニュースでの情報発信など、様々な企画が活発に行われています。



今後も、毎年の年次大会に加え、2018年日本地震工学シンポジウムや、目黒公郎先生を始め前執行部のご尽力により開催が決定した2020年世界地震工学会議などが予定されています。さらに、2021年には学会設立20年、2023年には関東地震から100年と、区切りの年を迎えます。これからの2年間、まずは、日本地震工学シンポジウムと世界地震工学会議が恙なく開催されるよう、関係の皆様と共に十分な準備を進めていきたいと思っています。合わせて、区切りの年を念頭に、本会の将来像も考えていきたいと思っています。

会長就任に当たって、改めて、本会の定款や、歴代会長の挨拶文、過去の提言などを、拝読しました。本会の目的は、定款第3条に明快に記されており、「地震工学および地震防災に関する学術・技術・教育の進歩発展をはかり、地震災害の軽減に貢献する事業を行い、もって社会の発展に寄与する。」とあります。すなわち、新たな研究成果を生み出すことだけに留まらず、研究成果を具体的な技術に還元すると共に技術者を育成し、研究成果を災害被害の軽減に結びつけ、社会の持続的発展に寄与すると解釈できます。

また、川島一彦先生が会長のときにまとめられた「地震被害の軽減と復興に向けた提言—東日本大震災を受けて—」（2012年5月）では、①安全と必要コストの周知を、②情報化社会の発展を地震防災の実践にも、③ハードとソフトの防災技術の融合、④アウトリーチ等社会への情報還元活動を積極的に、の4つの決意表明をしています。さらに、地震工学の専門家への提言として、①慣習に囚われない想像と発信、②社会システム全体としての安全性を見る、③情報発信は先ず安全認識の違いを理解する、④工学の本質を踏まえ国民に向けて安全に関わる説明や情報発信を行う、の4点を掲げています。すなわち、従来の地震工学研究の枠にとらわれず、多様な研究・技術を融合し、俯瞰的かつ具体的に、社会と共に災害被害の軽減を実現する、と読めます。この提言の一部は、本会会員も貢献しているSIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」で具体化されつつあります。

新会長としての責務は、定款にある目的を果たすために、上記の決意・提言を具体の実践に移すことにあると思っています。そのために、「Think globally, act locally. (大局着眼小局着手)」の態度で、「全体最適」「連携」「地域」「実装」「未来」をキーワードに、学会運営を進

めて行きたいと思っています。

社会全体としての被害軽減のためには、全体最適と部分最適の同時実現が必要です。そのためには、本会を構成する建築、土木、地盤、地震、機械の分野間連携を深め、さらに社会科学分野などとの連携を進めることで、総合力をつけていく必要があります。また、「予測」「予防」「対応」の研究成果を被害軽減に繋げるために、予測研究を危険回避ための適正な土地利用計画に、予防研究を抵抗力向上のための耐震化推進に、対応研究を被害波及最小化と早期回復の実践へと結びつける必要があります。そのためには、三者のバランスに配慮しつつ、研究成果を具体的技術や制度設計に還元し、さらに社会の実践へと繋げる仕組み作りが必要です。そこで、まず、分野を超えて議論すべき共通課題を設定し、会員が情報交換できる場を作ることから始めたいと考えています。

また、国難とも言える事態が予測されている南海トラフ地震を対象に、その抜本的な被害軽減を実践課題として位置づけたいと思います。予想される被災地域ごとに地域特性に応じた被害軽減策を立案することを目指して、南海トラフ地震対策を進めている産学官の担い手と、予想被災地域の地震工学研究者が集う場を作り、各地の現状と将来像を見つめつつ、推進すべき研究課題の抽出と今後の防災戦略作りなどに着手したいと考えています。この場作りが、本会の地域活動の活性化につながることを祈っています。

これから2年間、地震災害を未然に防ぎ、明るい日本の未来を拓くため、「あ・た・ま（明るく・楽しく・前向きに）」を大切に、皆様と共に頑張っていきたいと思っています。

中埜良昭 第16代会長（就任：2019年5月24日～現在）の挨拶

令和元年5月24日開催の第7回社員総会において福和伸夫前会長を引き継ぎ日本地震工学会会長に選出されました。会長就任にあたりひと言ご挨拶申し上げます。

いうまでもなく平成の三十余年は地震工学に携わる者だけでなく、一般の日本国民にとっても記憶に強く残る大きな災害が数多く発生した時期でありました。都市や科学・技術が発展し災害が複雑化・複合化する一方で少子高齢化が現実問題として顕在化し、災害への対応がより難しさを増してきたことを実感させた時期でもあります。



地震防災対策には様々な視点からの議論と取り組みが必要であり、地震工学に関連する各分野が横断的に連携することの重要性は論を俟ちません。南海トラフの巨大地震や首都直下地震などの国難に直結する地震の発生が危惧される中、既存のディシプリンの深化に加え、急速かつ著しい進化と発展を見せる周辺技術を活用しつつ、さし迫った課題に対して、単なる研究成果の発信にとどまらず研究と実社会のギャップを乗り越えるまで研究成果を昇華し、実社会への実装までをターゲットとした取り組みが求められます。分野横断と連携を旨とする本会はこれに応えるべき、そして応えられる組織であり、これまで以上に社会との連携、出口戦略を意識した研究や活動に注力したいと考えます。

日本地震工学会は2001年1月の創立以降、間もなく20年を迎えようとしています。人而言えばそろそろ大人の仲間入りです。上記のような国内の差し迫った脅威に加え、これからの成熟社会を見据えた地震防災に対する長期ビジョンとそのために比較的短期間で取り組むべき課題を、次世代を担う研究者・技術者・行政担当者らとともに本会としても本格的に議論すべき時期に防災技術として展開するためにはもちろんのこと、また本会会員、特に次世代を担う若手会員にとって本会が魅力的であるためにも、極めて重要であると感じています。

また国内対応だけでなく世界に対する情報発信力の強化も重要な課題です。日本は防災・減災に対する優れた研究成果や技術を有していますが、これらはより積極的に世界に発信してゆくべきと考えます。その社会実装にはもちろんその国や地域に適したスパイスでカスタマイズすることが必要で、これは必ずしも容易ではありませんが、その困難も克服しつつ日本のプレゼンスを世界に示すことができるような活動も極めて重要と考えます。

2020年9月には日本で3度目となる17WCEEが仙台で開催されます。阪神淡路大震災をはじめとする多くの試練からの復興を経験し、今まさに東日本大震災からの復興を加速しつつあると同時に、将来の国難級の地震災害をいかに回避するかを議論し対策を講じつつある日本において、最新の研究成果や減災対策技術・戦略を世界に向けて発信するとともに、地震国が共通に抱える次世代の課題とその解決を強く意識した議論ができるよう、ホスト学会として最大限に貢献したいと考えます。

振り返ってみますと学生の頃に地震と建築の関係を学び始めてから30年以上が過ぎ、私自身はこの間、国内外の地震被害の調査や復旧支援活動、防災・減災研究に携わり多くの経

験を得てまいりました。特に日本地震工学会の会員となってからは、より幅広い分野の会員の方々との交流ができ、これを通じて学んだことは計り知れません。本会のこのような特徴を最大限に活かし、発展させることの重要性を忘れてはなりません。

平成から令和に改元され、新たな日本の始動とともに、これからの2年間、会員の皆様とともに日本地震工学会での活発な議論、その結果の発信と実装に向け、本会の目的である地震災害の軽減と社会の発展に、より一層寄与してゆきたいと考えます。よろしくご協力、ご支援のほどお願いいたします。

## 2. 役員等一覧

この章は、2011年3月以降の役員等の一覧を示す。ここに示される情報は、各年度の事業報告書に記載されている[1]。

[1] 日本地震工学会：事業報告，日本地震工学会ホームページ  
<https://www.jaee.gr.jp/jp/general/management/>

## (a) 2011年3月31日時点

役職	氏名	所属
会長	久保 哲夫	東京大学大学院 教授
副会長	中島 正愛	京都大学防災研究所 教授
副会長	東畑 郁生	東京大学大学院 教授
副会長	運上 茂樹	国土交通省国土技術政策総合研究所 危機管理 技術研究センター地震災害研究官
理事 (総務)	中村 孝明	(株)篠塚研究所主席研究員
理事 (総務)	澤本 佳和	鹿島建設技術研究所上席研究員
理事 (総務会計)	高田 一	横浜国立大学大学院 教授
理事 (会計)	東 貞成	電力中央研究所 地球工学研究所上席研究員
理事 (会員)	保井 美敏	戸田建設(株)技術研究所地盤震動主管
理事 (会員)	佐藤 俊明	清水建設(株) 技術研究所副所長兼企画部長
理事 (学術)	栗田 哲	東京理科大学工学部 教授
理事 (学術)	藤田 聡	東京電機大学工学部 教授
理事 (情報)	境 有紀	筑波大学大学院 教授
理事 (情報)	鹿嶋 俊英	建築研究所国際地震工学センター主任研究員
理事 (事業)	倉本 洋	大阪大学大学院 教授
理事 (事業)	木全 宏之	清水建設土木技術本部設計第二部グループ長
理事 (事業)	山中 浩明	東京工業大学大学院 准教授
理事 (調査研究)	飯場 正紀	建築研究所構造研究グループ上席研究員
理事 (調査研究)	庄司 学	筑波大学大学院 准教授
監事	井上 範夫	東北大学大学院 教授

## (b) 2012年3月31日時点

役職	氏名	所属
会長	川島 一彦	東京工業大学大学院 教授
副会長	運上 茂樹	国土交通省国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター地震災害研究官
副会長	若松 加寿江	関東学院大学工学部社会環境システム学科 教授
副会長	芳村 学	首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授
理事（総務）	澤本 佳和	鹿島建設(株) 技術研究所上席研究員
理事（総務）	矢部 正明	(株)長大 構造事業本部副技師長・耐震技術部部長
理事（総務会計）	東 貞成	(一財)電力中央研究所 地球工学研究所上席研究員
理事（会計）	大谷 章仁	(株)IHI 原子力セクター 原子力保守技術部 設計グループ主幹
理事（会員）	佐藤 俊明	清水建設(株) 技術研究所副所長兼企画部長
理事（会員）	渡壁 守正	戸田建設技術研究所・耐震構造チーム・主管
理事（学術）	中埜 良昭	東京大学生産技術研究所所長 教授
理事（学術）	高橋 徹	千葉大学大学院工学研究科 教授
理事（情報）	鹿嶋 俊英	(独)建築研究所国際地震工学センター主任研究員
理事（情報）	斉藤 大樹	(独)建築研究所国際地震工学センター上席研究員
理事（事業）	木全 宏之	清水建設(株)土木技術本部設計第二部グループ長
理事（事業）	五十田 博	信州大学工学部建築学科 教授
理事（事業）	山中 浩明	東京工業大学大学院 教授
理事（調査研究）	庄司 学	筑波大学大学院 准教授
理事（調査研究）	永野 正行	東京理科大学理工学部建築学科 教授
監事	河村 壮一	耐震環境コンサルタント 代表
監事	翠川 三郎	東京工業大学大学院 教授

## (c) 2013年3月31日時点

役職	氏名	所属
会長	川島 一彦	東京工業大学大学院 教授
副会長	若松 加寿江	関東学院大学工学部社会環境システム学科 教授
副会長	芳村 学	首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授
副会長	当麻 純一	一般財団法人電力中央研究所知的財産センター 所長
理事 (総務)	矢部 正明	(株)長大 構造事業本部 副技師長・耐震技術部 部長
理事 (総務)	福喜多 輝	清水建設(株) 技術研究所安全安心技術センター 主任研究員
理事 (総務会計)	大谷 章仁	(株)IHI 原子力セクター 原子力保守技術部 設計グループ
理事 (会計)	矢代 晴実	防衛大学校システム工学群建設環境工学学科 教授
理事 (会員)	渡壁 守正	戸田建設技術研究所・耐震構造チーム 主管
理事 (会員)	加藤 研一	(株)小堀鐸二研究所地震地盤研究部統括 部長
理事 (学術)	中埜 良昭	東京大学生産技術研究所 所長 教授
理事 (学術)	高橋 徹	千葉大学大学院工学研究科 教授
理事 (情報)	富田 孝史	(独)港湾空港技術研究所 アジア・太平洋沿岸防災研究センター 副センター長
理事 (情報)	斉藤 大樹	豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター センター長, 建築・都市システム学系 教授
理事 (事業)	松田 隆	大林組(株) 技術研究所 副所長
理事 (事業)	五十田 博	信州大学工学部建築学科 教授
理事 (事業)	清野 純史	京都大学大学院工学研究科 教授
理事 (調査研究)	田村 敬一	京都大学経営管理大学院 特定教授
理事 (調査研究)	永野 正行	東京理科大学理工学部建築学科 教授
監事	河村 壮一	耐震環境コンサルタント 代表
監事	翠川 三郎	東京工業大学大学院 教授

## (d) 2013年6月1日時点

役職	氏名	所属
会長	安田 進	東京電機大学 研究推進社会連携センター長・教授
副会長	当麻 純一	一般財団法人電力中央研究所知的財産センター 所長
副会長	山崎 文雄	千葉大学大学院 工学研究科 建築・都市科学専攻 教授
副会長	福和 伸夫	名古屋大学 減災連携研究センター センター長・教授
理事（総務）	福喜多 輝	清水建設(株) 技術研究所安全安心技術センター 主任研究員
理事（総務）	新海 元	東京ガス(株) 導管ネットワーク本部
理事（総務会計）	矢代 晴実	防衛大学校 システム工学群 建設環境工学科 教授
理事（会計）	和泉 信之	千葉大学大学院 工学研究科 建築・都市科学専攻 教授
理事（会員）	加藤 研一	(株)小堀鐸二研究所地震地盤研究部 統括部長
理事（会員）	松田 隆	(株)大林組技術研究所 副所長
理事（学術）	年縄 巧	明星大学 理工学部 建築学科 教授
理事（学術）	横井 俊明	(独)建築研究所 国際地震工学センター センター長
理事（情報）	富田 孝史	(独)港湾空港技術研究所 アジア・太平洋沿岸防災研究センター 副センター長
理事（情報）	久田 嘉章	工学院大学 建築学部 教授
理事（事業）	清野 純史	京都大学 大学院工学研究科 教授
理事（事業）	古屋 治	東京都市大学 工学部 原子力安全工学科 准教授
理事（事業）	鳥井 信吾	日建設計 構造設計部門 副代表
理事（事業）	境 茂樹	安藤・間技術本部技術研究所建築研究第一部主席研究員
理事（調査研究）	田村 敬一	京都大学経営管理大学院 特定教授
理事（調査研究）	塚本 良道	東京理科大学 理工学部 土木工学科 教授
監事	五十嵐 克哉	(独)防災科学技術研究所 客員研究員
監事	田蔵 隆	富山県立大学 工学部 環境工学科 客員教授

## (e) 2014年6月1日時点

役職	氏名	所属
会長	安田 進	東京電機大学 研究推進社会連携センター長
副会長	山崎 文雄	千葉大学大学院 工学研究科 建築・都市科学専攻 教授
副会長	福和 伸夫	名古屋大学 減災連携研究センター センター長・教授
副会長	志波 由紀夫	大成建設(株) 技術センター 土木技術研究所 部長
理事	新海 元	東京ガス(株) 導管ネットワーク本部 防災・供給部 マネージャー
理事	副島 紀代	(株)大林組 技術研究所 構造技術研究部
理事	和泉 信之	千葉大学大学院 工学研究科 建築・都市科学専攻 教授
理事	佐藤 正行	東電設計 土木本部 本部長代理
理事	藤川 智	清水建設(株) 技術戦略室 企画部 主査
理事	藤原 広行	防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域 領域長
理事	年縄 巧	明星大学 理工学部 総合理工学科 建築学系 教授
理事	横井 俊明	(独)建築研究所 国際地震工学センター センター長
理事	小檜山 雅之	慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 准教授
理事	久田 嘉章	工学院大学 建築学部 まちづくり学科 教授
理事	古屋 治	東京都市大学 工学部 原子力安全工学科 准教授
理事	鳥井 信吾	(株)日建設計 構造設計部門 副代表
理事	境 茂樹	(株)安藤・間 技術本部 技術研究所 建築研究第一部 主席研究員
理事	澤田 純男	京都大学防災研究所 地震災害研究部門 教授
理事	片岡 正次郎	国土交通省 国土技術政策総合研究所 防災・メンテナンス基盤研究センター 国土防災研究室 主任研究官
理事	塚本 良道	東京理科大学 理工学部 土木工学科 教授
監事	五十嵐 克哉	(独)防災科学技術研究所 客員研究員
監事	小林 信之	青山学院大学 理工学部 機械創造工学科 教授

## (f) 2015年6月1日時点

役職	氏名	所属
会長	目黒 公郎	東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター長・教授
副会長	志波 由紀夫	(株)篠塚研究所 取締役
副会長	中埜 良昭	東京大学生産技術研究所 基礎系部門 教授
副会長	倉本 洋	大阪大学大学院 工学系研究科 地球総合工学専攻 教授
理事 (総務)	副島 紀代	(株)大林組 技術研究所 構造技術研究部 主任研究員
理事 (総務)	吉見 雅行	産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 主任研究員
理事 (会計)	佐藤 正行	東電設計 (株) 土木本部 本部長代理
理事 (会計)	原田 健二	(株)不動テトラ 地盤事業本部 技術部 担当部長
理事 (会員)	藤川 智	清水建設(株) 技術戦略室 企画部 主査
理事 (会員)	室野 剛隆	(公財)鉄道総合技術研究所 鉄道地震工学研究センター センター長
理事 (学術)	大堀 道広	福井大学附属国際原子力工学研究所 原子炉構造システム・廃止措置部門 准教授
理事 (学術)	楠 浩一	東京大学地震研究所 災害科学系研究部門 准教授
理事 (情報)	小檜山 雅之	慶応義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 准教授
理事 (情報)	高橋 郁夫	防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター 主幹研究員・コーディネーター
理事 (情報)	中村 いずみ	防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター 主任研究員
理事 (事業)	澤田 純男	京都大学防災研究所 地震災害研究部門 教授
理事 (事業)	甲斐 芳郎	高知工科大学 システム工学群 教授
理事 (事業)	片岡 正次郎	国土交通省 国土技術政策総合研究所 防災・メンテナンス基盤研究センター 国土防災研究室
理事 (事業)	中村 友紀子	千葉大学大学院 工学研究科 建築・都市科学専攻 准教授
理事 (調査研究)	藤原 広行	防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域 領域長
監事	勝俣 英雄	(株)大林組 技術研究所 副所長
監事	中村 晋	日本大学 工学部土木工学科 教授

## (g) 2017年3月31日時点

役職	氏名	所属
会長	目黒 公郎	東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター
副会長	木全 宏之	高圧ガス保安協会 高圧ガス部
副会長	中埜 良昭	東京大学生産技術研究所 基礎系部門
理事（総務）	吉見 雅行	産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門
理事（総務・会員）	田中 宏司	NTT アクセスサービスシステム研究所
理事（会計・会員）	原田 健二	(株)不動テトラ 地盤事業本部 技術部
理事（会計）	長島 一郎	大成建設(株) 技術センター 建築技術研究所
理事（会員）	室野 剛隆	(公財)鉄道総合技術研究所 鉄道地震工学研究センター
理事（学術）	大堀 道広	福井大学附属国際原子力工学研究所
理事（学術）	楠 浩一	東京大学地震研究所 災害科学系研究部門
理事（情報）	高橋 郁夫	防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター
理事（情報）	中村 いずみ	防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
理事（情報）	山口 亮	損害保険料率算定機構リスク業務部 火災・地震リスクグループ
理事（事業）	甲斐 芳郎	高知工科大学 システム工学群
理事（事業）	秋山 充良	早稲田大学 創造理工学社会環境工学科
理事（事業）	中村 友紀子	千葉大学大学院 工学研究科 建築・都市科学専攻
理事（事業）	宮腰 淳一	清水建設(株) 技術研究所
理事（広報）	入江 さやか	日本放送協会 放送文化研究所 メディア研究部
監事	勝俣 英雄	(株)大林組 技術研究所
監事	中村 晋	日本大学 工学部土木工学科

## (h) 2018年3月31日時点

役職	氏名	所属
会長	福和 伸夫	名古屋大学 減災連携研究センター
副会長	木全 宏之	高圧ガス保安協会
副会長	塩原 等	東京大学大学院 工学系研究科
副会長	清野 純史	京都大学大学院 工学研究科
理事（総務）	田中 宏司	NTT(株) アクセスサービスシステム研究所
理事（総務・会員）	佐藤 吉之	(株)竹中工務店 技術研究所
理事（会計・会員）	長島 一郎	大成建設(株) 技術センター
理事（会計）	岩本 浩祐	(株)IHI 技術開発本部 基盤技術研究所
理事 （学術・調査研究）	末富 岩雄	(株)エイト日本技術開発 防災保全事業部
理事 （学術・調査研究）	田村 修次	東京工業大学 環境・社会理工学院建築学系
理事（情報/広報）	入江 さやか	日本放送協会 放送文化研究所
理事（情報/IC）	山口 亮	損害保険料率算定機構 リスク業務部
理事（情報/会誌）	平田 京子	日本女子大学 家政学部住居学科
理事（事業/JEES）	高橋 章浩	東京工業大学 環境・社会理工学院土木・環境工学系
理事（事業/大会）	秋山 充良	早稲田大学 創造理工学社会環境工学科
理事（事業/ 企画・調査研究）	宮腰 淳一	清水建設(株) 技術研究所
理事（事業/企画）	中尾 吉宏	国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部
監事	飯場 正紀	北海道大学大学院 工学研究院
監事	当麻 純一	(株)電力計算センター

## (i) 2019年3月31日時点

役職	氏名	所属
会長	福和 伸夫	名古屋大学 減災連携研究センター
副会長	鳥井 信吾	(株)日建設計 エンジニアリング部門
副会長	塩原 等	東京大学大学院 工学系研究科
副会長	清野 純史	京都大学大学院 工学研究科
理事(総務)	佐藤 吉之	(株)竹中工務店 技術研究所
理事(総務・会員)	中村 洋光	防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門
理事(会計・会員)	岩本 浩祐	(株)IHI 技術開発本部 基盤技術研究所
理事(会計)	山本 雅史	(株)竹中工務店 技術研究所
理事 (学術・調査研究)	末富 岩雄	(株)エイト日本技術開発 防災保全事業部
理事 (学術・調査研究)	田村 修次	東京工業大学 環境・社会理工学院建築学系
理事(情報/広報)	入江 さやか	日本放送協会 放送文化研究所
理事(情報/IC)	久保 智弘	防災科学技術研究所
理事(情報/会誌)	平田 京子	日本女子大学 家政学部住居学科
理事(事業/JEES)	高橋 章浩	東京工業大学 環境・社会理工学院土木・環境工学系
理事(事業/大会)	目黒 公郎	東京大学生産技術研究所
理事(事業/大会)	五十嵐 晃	京都大学 防災研究所
理事(事業/ 企画・調査研究)	宮腰 淳一	清水建設(株) 技術研究所
理事(事業/企画)	中尾 吉宏	宮崎県県土整備部高速道対策局
監事	飯場 正紀	北海道大学大学院 工学研究院
監事	当麻 純一	(株)電力計算センター

## (j) 2020年3月31日時点

役職	氏名	所属
会長	中埜 良昭	東京大学生産技術研究所
副会長	鳥井 信吾	(株)日建設計 エンジニアリング部門
副会長	山田 哲	東京工業大学科学技術創成研究院
副会長	秋山 充良	早稲田大学創造理工学部
理事(総務)	中村 洋光	防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門
理事(総務・会員)	徳光 亮一	大成建設(株) 技術センター
理事(会計・会員)	山本 雅史	(株)竹中工務店 技術研究所
理事(会計)	松岡 太一	明治大学理工学部
理事(情報/広報)	入江 さやか	日本放送協会 放送文化研究所
理事(情報/IC)	久保 智弘	山梨県富士山科学研究所
理事(情報/会誌)	永野 正行	東京理科大学理工学部
理事 (学術・調査研究)	清田 隆	東京大学生産技術研究所
理事 (学術・調査研究)	小檜山 雅之	慶應義塾大学理工学部
理事(事業/大会)	五十嵐 晃	京都大学 防災研究所
理事 (事業/17WCEE)	目黒 公郎	東京大学 生産技術研究所
理事(事業/ 企画・調査研究)	宮腰 淳一	清水建設(株) 技術研究所
理事(事業/企画)	丸山 喜久	千葉大学大学院工学研究院
監事	久田 嘉章	工学院大学建築学部
監事	三輪 滋	飛島建設(株)

### 3. 委員会の変遷と委員一覧

この章は、2011年度以降の委員会およびその構成を示す。ここに示される情報は、各年度の事業報告書に記載されている[1]。

なお、委員長には◎、副委員長には○、幹事長には◆、幹事には◇、顧問には●、監事には▼、オブザーバーには▽、アドバイザーには▲、主査には△、事務局には■をつけて示した。また、部会長は(部)、第1部会長は(1)、専門委員は(専)、協力委員は(協)と、括弧を用いて示した。途中交代の場合は「前委員名→新委員名」で表現した。

[1] 日本地震工学会：事業報告，日本地震工学会ホームページ  
<https://www.jaee.gr.jp/jp/general/management/>

(1) 選挙管理委員会・役員候補者推薦委員会

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
選挙管理委員会	◎佐藤俊明	◎渡壁守正	◎加藤研一	◎藤川智	◎藤川智	◎長島一郎	◎長島一郎	◎山本雅史	◎山本雅史
	渡辺和明	岡野創	渡壁守正	加藤研一	加藤研一	加藤研一	村井和彦 →稲井慎介	稲井慎介	大島光貴
	岡野創	佐藤俊明	渡辺和明	渡壁守正	長島一郎	藤川智	大島光貴	大島光貴	樋口俊一
	渡壁守正	渡辺和明	藤川智	渡辺和明	村井和彦	村井和彦	山本雅史	長島一郎	山本優
役員候補者推薦委員会	◎澤本佳和	◎矢部正明	◎若松加寿江	◎若松加寿江	運上茂樹	◎清野純史	◎末富岩雄	◎末富岩雄	◎塚本良道
	一井康二	新井洋	佐藤健	大谷章仁	清野純史	運上茂樹	○塚本良道	○塚本良道	金子美香
	犬飼伴幸	川口淳	高田一	勝俣英雄	鈴木康嗣	鈴木康嗣	坂本成弘	坂本成弘	高田毅士
	植竹富一	坂田弘安	幸左賢二	永野正行	高橋徹	高橋徹	佐藤清隆	保井美敏	富田孝史
	大友敬三	澤本佳和	矢部正明	福喜多輝	三輪滋	三輪滋	保井美敏	古屋治	原田健二
	小林信之	田藏隆	大谷章仁	運上茂樹	坂本成弘	坂本成弘	古屋治	佐藤清隆	境茂樹
	西田哲也	野畑有秀	勝俣英雄	鈴木康嗣	末富岩雄	末富岩雄	金子美香	金子美香	副島紀代
	高宮進	佐藤健	志波由紀夫	高橋徹	佐藤清隆	佐藤清隆	高田毅士	高田毅士	中村いづみ
	原田隆典	幸左賢二	永野正行	三輪滋	保井美敏	保井美敏	富田孝史	富田孝史	藤本滋
	諸井孝文	高田一	福喜多輝	清野純史	古屋治	古屋治	原田健二	原田健二	松岡昌志
	新井洋								
	川口順								
	坂田弘安								
	田藏隆								
	中山学								
野畑有秀									

(2) 将来構想委員会

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
将来構想委員会	◎運上茂樹	◎当麻純一	◎当麻純一	◎志波由紀夫	◎志波由紀夫	◎木全宏之	◎木全宏之	◎鳥井信吾	◎鳥井信吾
	澤本佳和	矢部正明	矢代晴実	◇藤原広行	◇藤原広行	目黒公郎	福和伸夫	福和伸夫	中埜良昭
	東貞成	大谷章仁	加藤研一	古屋治	古屋治	吉見雅行	田中宏司	佐藤吉之	中村洋光
	矢部正明	福喜多輝	松田隆	目黒公郎	目黒公郎		佐藤吉之	中村洋光	徳光亮一
	大谷章仁	矢代晴実	福喜多輝	副島紀代	副島紀代				
			和泉信之						
			鳥井信吾						
			新海 元						

(3) 地震災害対応委員会

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
地震災害対応委員会	◎運上茂樹	◎田村敬一	◎田村敬一	◎志波由紀夫	◎楠浩一	◎楠浩一	◎田村修次	◎田村修次	◎清田隆
	鹿嶋俊英	運上茂樹	当麻純一	横井俊明	志波由紀夫	木全宏之	木全宏之	鳥井信吾	鳥井信吾
	庄司学	勅使川原正臣	富田孝史	片岡正次郎	片岡正次郎	片岡正次郎	片岡正次郎	片岡正次郎	丸山喜久
	勅使川原正臣	幸左賢二	横井俊明				楠浩一	田尻清太郎	田尻清太郎
	幸左賢二	当麻純一	日下部毅明						
		富田孝史							

(4) 地震被害調査関連学会連絡会 (3 学会地震被害調査連絡会)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
◎学会地震被害調査連絡会 地震被害調査関連学会連絡会	運上茂樹	田村敬一	田村敬一	志波由紀夫	楠浩一	楠浩一	田村修次	田村修次	清田隆
	中埜良昭	当麻純一	当麻純一	横井俊明	志波由紀夫	木全宏之	楠浩一	田尻清太郎	田尻清太郎
	川島一彦	中埜良昭	横井俊明	片岡正次郎	片岡正次郎	片岡正次郎	木全宏之	鳥井信吾	鳥井信吾
	若松加寿江	高橋良和	高橋良和	高橋良和	高橋良和	高橋良和	片岡正次郎	片岡正次郎	丸山喜久
	平石久廣	平石久廣	壁谷澤寿海	壁谷澤寿海	壁谷澤寿海	壁谷澤寿海	高橋良和	高橋良和	松島信一
	楠浩一	楠浩一	楠浩一	楠浩一	三村衛	三村衛	壁谷澤寿海	壁谷澤寿海	藤田聡
			三村衛	三村衛	加藤愛太郎	加藤愛太郎	三村衛	三村衛	
			田所敬一	加藤愛太郎	藤田聡	藤田聡	加藤愛太郎	加藤愛太郎	
			藤田聡	藤田聡	古屋治	古屋治	藤田聡	藤田聡	
			古屋治	古屋治			古屋治	古屋治	

(5) 情報コミュニケーション委員会

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
情報コミュニケーション委員会	◎富田孝史	◎小檜山雅之	◎小檜山雅之	◎中村いづみ	◎山口亮	◎久保智弘	◎久保智弘
	○久田嘉章	○久田嘉章	○中村いづみ	○山口亮	○久保智弘	山口亮	山口亮
	鹿嶋俊英	久保智弘	佐伯琢磨	近藤伸也	近藤伸也	千葉一樹	新藤淳
	久保智弘	佐伯琢磨	多幾山法子	村上正浩	多幾山法子	新藤淳	三浦弘之
	斎藤正人	多幾山法子	畑山健	田川浩	高浜勉	三浦弘之	奥野峻也
	中村いづみ	富田孝史	皆川佳祐	多幾山法子	千葉一樹	奥野峻也	三上貴仁
	山口亮	畑山健	近藤伸也	高浜勉	新藤淳	三上貴仁	山崎義弘
		皆川佳祐	村上正浩	千葉一樹	三浦弘之	山崎義弘	鈴木賢人
			田川浩				

(6) 会誌編集委員会

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
会誌編集委員会	◎斉藤大樹	◎斉藤大樹	◎久田嘉章	◎久田嘉章	◎高橋郁夫	◎高橋郁夫	◎平田京子	◎平田京子	◎永野正行
	芝良昭	○富田孝史	○富田孝史	渡壁智祥	○小檜山雅之	大淵正博	高橋郁夫	高橋郁夫	浅野公之
	近藤伸也	皆川佳祐	佐伯琢磨	高橋郁夫	井上修作	桜井朋樹	佐藤健	入江さやか	岩田直泰
	中村いずみ	津田健一	桜井朋樹	松岡昌志	桜井朋樹	平井敬	大淵正博	平井敬	小穴温子
	副島紀代	栂山健二	佐藤健	上田恭平	佐藤健	徳永英	桜井朋樹	高橋典之	王欣
	栂山健二	井澤淳	田中清和	松本浩幸	平井敬	岩城麻子	平井敬	山田真澄	大西直毅
	津田健一	紺野克昭	南雲秀樹	山崎義弘	山口亮	佐藤大樹	徳永英	肥田剛典	成田修英
	千葉一樹	千葉一樹	渡壁智祥	桜井朋樹	岩城麻子	関口徹	高橋典之	鈴木比呂子	入江さやか
	皆川佳祐	佐伯琢磨	高橋郁夫	佐藤健	佐藤大樹	田中浩平	山田真澄	西村隆義	平井敬
	紺野克昭	桜井朋樹	松岡昌志	山口亮	関口徹	西田明美	肥田剛典	沼田宗純	肥田剛典
	井澤淳	佐藤健	上田恭平	平井敬	田中浩平	丸山喜久	鈴木比呂子	古川洋子	寺島芳洋
		田中清和	松本浩幸	井上修作	西田明美	佐藤健	西村隆義	寺島芳洋	塩見謙介
		南雲秀樹	山崎義弘		丸山喜久		沼田宗純	塩見謙介	福谷陽
							古川洋子	福谷陽	大野卓志
							入江さやか	大野卓志	
							向井洋一		
						大野卓志			

(7) 国際委員会・国際化対応委員会

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
国際委員会	◎中埜良昭	◎中埜良昭	◎横井俊明	◎横井俊明	◎楠浩一	◎楠浩一	◎田村修次	◎田村修次	◎清田隆
	芳村学	芳村学	芳村学	芳村学	小檜山雅之	小檜山雅之	小檜山雅之	小檜山雅之	安田進
	庄司学	安田進	東畑郁生	東畑郁生	東畑郁生	東畑郁生	東畑郁生	楠浩一	三浦弘之
	安田進	岡崎太一郎	楠浩一	楠浩一	横井俊明	横井俊明	横井俊明	津野靖士	田尻清太郎
	岡崎太一郎	庄司学	皆川佳祐	皆川佳祐	田川浩	田川浩	田川浩	安田進	
				小檜山雅之			楠浩一	三浦弘之	
国際化対応委員会	◎芳村学	◎芳村学							
	中埜良昭	中埜良昭							
	安田進								

(8) IAEE 事務局支援委員会

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
IAEE事務局支援委員会	◎芳村学	◎芳村学	◎楠浩一	◎楠浩一	◎田村修次	◎田村修次	◎清田隆
	○楠浩一	○楠浩一	○岡崎太一郎	○岡崎太一郎	○岡崎太一郎	○岡崎太一郎	○岡崎太一郎
	斉藤大樹	斉藤大樹	高橋良和	高橋良和	高橋良和	高橋良和	倉田真宏
	高橋良和	高橋良和	芳村学	芳村学	芳村学	芳村学	楠浩一
	岡崎太一郎	岡崎太一郎	横井俊明	横井俊明	横井俊明	倉田真宏	小豆畑達哉
	山村一繁	山村一繁	斉藤大樹	斉藤大樹	斉藤大樹	楠浩一	
	倉田真宏	倉田真宏	倉田真宏	倉田真宏	倉田真宏	津野靖士	
	横井俊明	横井俊明			楠浩一	小豆畑達哉	

(9) 企画・大会関係の委員

(a) 日本地震工学会大会実行委員会

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
日本地震工学会大会実行委員会	◎山中浩明	◎五十田博	◎古屋治	◎古屋治	◎中埜良昭	田川浩	◎甲斐芳郎	◎秋山充良	◎五十嵐晃	◎五十嵐晃
	山田哲	○清野純史	○清野純史	○澤田純男	○澤田純男	庄司学	○秋山充良	○五十嵐晃	松島信一	松島信一
	野畑有秀	山中浩明	高橋典之	松岡太一	○甲斐芳郎	佐藤智美	◇宮本慎宏	◇藤倉修一	高橋良和	高橋良和
	加藤研一	山田哲	丸山喜久	皆川佳祐	古屋治	田村和夫	有川太郎	清田隆	一井康二	一井康二
	庄司学	楠浩一	荒木康弘	千葉一樹	五十田博	清田隆	池田雄一	楠浩一	畝田泰子	畝田泰子
	高井伸雄	古屋治	松岡太一	中川貴文	藤原広行	近藤伸也	岡崎太一郎	党紀	川辺秀憲	川辺秀憲
	市村強	石原直	皆川佳祐	中村いづみ	久田嘉章	三浦奈々子	岡崎慎一郎	松崎裕	向井洋一	向井洋一
	佐藤浩章	高橋典之	千葉一樹	五十田博	小檜山雅之	源貴志	清田隆	三上貴仁	杉野未奈	杉野未奈
	松岡昌志	丸山喜久	中川貴文		千葉一樹	岡崎慎一郎	後藤洋三	林偉偉	豊岡亮洋	豊岡亮洋
	鈴木晴彦	荒木康弘	中村いづみ		中川貴文	秋山充良	近藤伸也	千葉一樹	山崎義弘	山崎義弘
	盛川仁		五十田博		中村いづみ		佐藤智美	糸井達哉	奥村与志弘	奥村与志弘
	澤本佳和				松岡太一		高田毅士			
					皆川佳祐		田川浩			
					岡崎太一郎		田村和夫			
					宮本慎宏		原忠			
					原忠		三浦奈々子			
				池田雄一		源貴志				
				森伸一郎		森伸一郎				
				山中稔		山中稔				

(b) 東日本大震災国際シンポジウム実行委員会

	2011年度
東日本大震災国際シンポジウム実行委員会	◎川島一彦
	塩原等
	運上茂樹
	大宮喜文
	加藤照之
	清田隆
	幸左賢二
	高橋良和
	東畑郁生
	塚本良道
	富田孝史
	中村いづみ
	平石久廣
	古屋治
	松崎裕
	安田進
若松加寿江	

(c) 国際研究発表会実施委員会

	2012年度	2013年度	2014年度
国際研究発表会実施委員会	◎清野純史	◎清野純史	◎澤田純男
		○古屋治	○古屋治
		小檜山雅之	小檜山雅之
		高井伸雄	高井伸雄
		豊岡亮洋	豊岡亮洋
		渡邊学歩	渡邊学歩

(d) 17WCEE 準備会

	2017年度
17WCEE 準備会	◎目黒公郎
	○中埜良昭
	庄司学
	真田靖士
	吉見雅行

(e) 16WCEE 誘致委員会・17WCEE 誘致委員会・招致委員会・運営委員会

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
◎川島一彦	◎中島正愛	◎中島正愛	◎中島正愛	◎目黒公郎	◎目黒公郎	◎目黒公郎	◎目黒公郎
○笠井和彦	○山崎文雄	○山崎文雄	○山崎文雄	○中埜良昭	○中埜良昭	○中埜良昭	○中埜良昭
和田章	●安田進	●安田進	●安田進	●川島一彦	○今村文彦	○今村文彦	○今村文彦
壁谷澤寿海	●川島一彦	●川島一彦	●川島一彦	●安田進	◇前田匡樹	◇前田匡樹	◇前田匡樹
中埜良昭	◆目黒公郎	◆目黒公郎	◆目黒公郎	●山崎文雄	◇清野純史	◇清野純史	◇清野純史
塩原等	◇中埜良昭	◇中埜良昭	◇中埜良昭	◇堀宗朗	◇高橋良和	◇高橋良和	◇高橋良和
翠川三郎	◇堀宗朗	◇堀宗朗	◇堀宗朗	◇福和伸夫	◇古屋治	◇古屋治	◇古屋治
久田嘉章	◇福和伸夫	◇福和伸夫	◇福和伸夫	◇今村文彦	◇庄司学	◇庄司学	◇庄司学
齊藤大樹	高橋良和	高橋良和	高橋良和	高橋良和	◇真田靖士	◇真田靖士	◇真田靖士
小檜山雅之	越村俊一	越村俊一	越村俊一	越村俊一	◇吉見雅行	◇吉見雅行	◇吉見雅行
運上茂樹	後藤浩之	三宅弘恵	三宅弘恵	三宅弘恵	◇三輪滋	◇三輪滋	◇三輪滋
小長井一男	清田隆	清田隆	清田隆	清田隆	◇當麻純一	◇當麻純一	◇當麻純一
山崎文雄	古屋治	古屋治	古屋治	古屋治	◇江尻謙嗣	◇江尻謙嗣	◇江尻謙嗣
目黒公郎	岡崎太郎	岡崎太郎	岡崎太郎	岡崎太郎	運上茂樹	◇運上茂樹	◇運上茂樹
若松加寿江	真田靖士	真田靖士	真田靖士	真田靖士	中村晋	中村晋	中村晋
時松孝次	藤田香織	藤田香織	藤田香織	藤田香織	高田毅士	高田毅士	高田毅士
東畑郁生				小檜山雅之	池田隆明	池田隆明	池田隆明
藤田聡					竹内徹	竹内徹	竹内徹
曾根彰					越村俊一	越村俊一	越村俊一
藤本滋					村尾修	村尾修	村尾修
入倉孝次郎					佐竹建治	佐竹建治	▼勝俣英雄
額綱一起					▼勝俣英雄	▼勝俣英雄	▼木全宏之
横井俊明					▼木全宏之	▼木全宏之	
木全宏之							
澤本佳和							
伊藤優							

16WCEE 誘致委員会

17WCEE 誘致委員会・17WCEE 招致委員会・17WCEE 運営委員会

(f) 第15回日本地震工学シンポジウム  
運営委員会

	2017年度	2018年度
第15回日本地震工学シンポジウム運営委員会	◎風間基樹	◎風間基樹
	◆高橋章浩	◆高橋章浩
	河井正	河井正
	森口周二	森口周二
	小濱英司	小濱英司
	植竹富一	植竹富一
	岩田知孝	岩田知孝
	林能成	林能成
	市村強	市村強
	奥村与志広	奥村与志広
	酒井久和	酒井久和
	高橋良和	高橋良和
	大野晋	大野晋
	永野正行	永野正行
	楠浩一	楠浩一
	柴山明寛	柴山明寛
	松岡太一	五十子幸樹
	皆川佳佑	伊藤拓海
	香川敬生	松岡太一
	福留邦洋	皆川佳佑
	松岡昌志	香川敬生
	入江さやか	福留邦洋
	秋山充良	松岡昌志
	末富岩雄	入江さやか
	運上茂樹	秋山充良
	樋口俊一	末富岩雄
	丸山喜久	運上茂樹
	清田隆	樋口俊一
	小野祐輔	丸山喜久
	中村晋	清田隆
	小野祐輔	
	中村晋	

(g) 第6回ESG国際シンポジウム  
運営委員会

	2018年度	2019年度
第6回ESG国際シンポジウム運営委員会	◎川瀬博	◎川瀬博
	◆東貞成	◆東貞成
	◇松島信一	◇松島信一
	◇津野靖士	◇津野靖士
	◇佐藤浩章	◇佐藤浩章
	山中浩明	山中浩明
	先名重樹	先名重樹
	清木隆文	清木隆文
	王寺秀介	王寺秀介
	片岡正次郎	片岡正次郎
	池浦友則	池浦友則
	岩田知孝	岩田知孝
	横井俊明	横井俊明
	南雲秀樹	南雲秀樹
	早川崇	早川崇
	金田一広	金田一広
	野口科子	野口科子
	地元孝輔	地元孝輔
	稲垣賢亮	稲垣賢亮
	林田拓己	林田拓己
▼植竹富一	▼植竹富一	

(10) 研究関係の委員会

(a) 研究統括委員会

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
研究統括委員会	◎若松加寿江	◎若松加寿江	◎福和伸夫	◎福和伸夫	◎倉本洋	◎中埜良昭	◎清野純史	◎清野純史	◎秋山充良
	庄司学	永野正行	田村敬一	塚本良道	藤原広行	大堀道広	末富岩雄	末富岩雄	小檜山雅之
	永野正行	田村敬一	塚本良道	片岡正次郎		楠浩一	田村修次	田村修次	清田隆
						中村友紀子	宮腰淳一	中尾吉宏	宮腰淳一

(b) 災害リモートセンシング技術の標準化と高度化に関する研究委員会

	2011年度
災害リモートセンシング技術の標準化と高度化に関する研究委員会	◎松岡昌志
	○越村俊一
	◇三浦弘之
	清野純史
	高瀬嗣郎
	庄司学
	中井正一
	能島暢呂
	古田竜一
	丸山喜久
	三富創
	翠川三郎
	村尾修
	山崎文雄

(c) 原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会

	2011年度	
原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会	◎亀田弘行	鈴木浩平
	○高田毅士	中島正人
	◇中村英孝	中村晋
	◇山崎宏晃	中村隆夫
	秋山伸一	伯野元彦
	有賀義明	藤川智
	安中正	藤田聡
	今塚善勝	藤原広行
	蛭沢勝三	皆川佳祐
	落合兼寛	宮野廣
	香川敬生	村上通章
	菊地優	吉田郁政
	小泉孝之	吉田望

(d) 津波対策とその指針に関する  
研究委員会

	2011年度	2012年度	2013年度
津波対策とその指針に関する研究委員会	◎松富英夫	◎松富英夫	◎松富英夫
	◇有川太郎	◇有川太郎	◇有川太郎
	石川忠志	石川忠志	今村文彦
	今村文彦	今村文彦	庄司学
	庄司学	庄司学	奥田泰雄
	奥田泰雄	奥田泰雄	佐藤勝弘
	佐藤勝弘	佐藤勝弘	金子正洋
	高宮進	高宮進	高梨和光
	高梨和光	高梨和光	館野公一
	玉田崇	玉田崇	玉田崇
	中埜良昭	中埜良昭	中埜良昭
	中山哲殿	中山哲殿	中山哲殿
	藤間功司	藤間功司	藤間功司

(e) システム性能を考慮した産業施設諸機能の  
耐震性評価研究委員会

	2011年度	2012年度	2014年度	2015年度	2016年度
システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会	◎高田一	◎高田一	◎高田一	◎高田一	◎高田一
	◇中村孝明	◇中村孝明	◇中村孝明	◇中村孝明	◇中村孝明
	吉川弘道	吉川弘道	新谷真功	新谷真功	新谷真功
	新谷真功	新谷真功	古屋治	古屋治	古屋治
	境茂樹	境茂樹	吉川弘道	吉川弘道	吉川弘道
	村地由子	村地由子	植竹富一	植竹富一	植竹富一
	大嶋昌巳	大嶋昌巳	大嶋昌巳	大嶋昌巳	大嶋昌巳
	静間俊郎	静間俊郎	大谷章仁	大谷章仁	大谷章仁
	馬場啓輔	馬場啓輔	境茂樹	境茂樹	境茂樹
	服部尚道	服部尚道	静間俊郎	静間俊郎	静間俊郎
	大谷章仁	大谷章仁	三浦耕太	三浦耕太	三浦耕太
	植竹富一	植竹富一	服部尚道	服部尚道	服部尚道
	古屋治	古屋治	馬場啓輔	馬場啓輔	馬場啓輔
			高橋優輔	高橋優輔	鳥澤一晃
			▽副島紀代	▽副島紀代	▽副島紀代
					▽望月智也

(f) 地盤情報データベースを用いた表層地質が  
地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会

	2011年度	2012年度	2013年度
地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会	◎山中浩明	◎山中浩明	◎山中浩明
	◇東貞成	◇東貞成	◇東貞成
	工藤一嘉	工藤一嘉	工藤一嘉
	安田進	安田進	安田進
	東畑郁生	東畑郁生	東畑郁生
	川瀬博	川瀬博	川瀬博
	岩田知孝	岩田知孝	岩田知孝
	額綱一起	額綱一起	額綱一起
	久田嘉章	久田嘉章	久田嘉章
	清木隆文	清木隆文	清木隆文
	吉嶺充俊	吉嶺充俊	吉嶺充俊
	大井昌弘	大井昌弘	大井昌弘
	長瀬雅美	長瀬雅美	長瀬雅美
	王寺秀介	王寺秀介	王寺秀介
	池浦友則	池浦友則	池浦友則
	早川崇	早川崇	早川崇
	植竹富一	植竹富一	植竹富一
	南雲秀樹	南雲秀樹	南雲秀樹
	片岡正次郎	片岡正次郎	片岡正次郎
	松島信一	松島信一	松島信一
横井俊明	横井俊明	横井俊明	

(g) 東日本大震災によるライフライン  
被害データベース検討委員会

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
東日本大震災によるライフライン被害データベース検討委員会	◎鍛田泰子	◎鍛田泰子	◎鍛田泰子	◎鍛田泰子
	○丸山喜久	○丸山喜久	○丸山喜久	○丸山喜久
	朱牟田善治	朱牟田善治	朱牟田善治	朱牟田善治
	庄司学	庄司学	庄司学	庄司学
	鈴木崇伸	鈴木崇伸	鈴木崇伸	鈴木崇伸
	永田茂	永田茂	永田茂	永田茂
	能島暢呂	能島暢呂	能島暢呂	能島暢呂
	宮島昌克	宮島昌克	宮島昌克	宮島昌克
	山崎文雄	山崎文雄	山崎文雄	山崎文雄
			若松加寿江	若松加寿江

(h) 原子力安全のための耐津波工学の  
体系化に関する調査委員会

	2012年度	2013年度	2014年度
	●柴田碧	●柴田碧	◎亀田弘行
	●首藤伸夫	●首藤伸夫	○今村文彦
	●平野光將	●平野光將	○宮野廣
	◎亀田弘行	◎亀田弘行	◇糸井達哉
	○今村文彦	○今村文彦	◇蛭沢勝三
	○宮野廣	○宮野廣	◇香月智
	◇高田毅士	◇高田毅士	◇越村俊一
	◇蛭沢勝三	◇蛭沢勝三	◇佐藤慎司
	◇中村隆夫	◇中村隆夫	◇高田毅士
	◇東喜三郎	◇東喜三郎	◇中村隆夫
	有川太郎	有川太郎	◇成宮祥介
	飯田晋	飯田晋	◇松山昌史
	糸井達哉	糸井達哉	安部浩
	石黒幸文	石黒幸文	有川太郎
	香月智	香月智	有賀義明
	桐本順広	桐本順広	飯田晋
	越村俊一	越村俊一	石黒幸文
	佐藤慎司	佐藤慎司	岩淵洋子
	庄司学	庄司学	桐本順広
	杉野英治	杉野英治	庄司学
	高橋智幸	高橋智幸	杉野英治
	長澤和幸	長澤和幸	高橋郁夫
	中埜良昭	中埜良昭	高橋智幸
	中村晋	中村晋	楊井知啓
	奈良博	奈良博	中埜良昭
	奈良林直	奈良林直	中村晋
	成宮祥介	成宮祥介	奈良博
	西村裕一	西村裕一	奈良林直
	日高慎士郎	日高慎士郎	西村裕一
	平石哲也	平石哲也	藤田聡
	藤田聡	藤田聡	美原義徳
	藤間功司	藤間功司	
	松山昌史	松山昌史	
	美原義徳	美原義徳	
	安部浩	安部浩	

原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会

(i) 津波等の突発大災害からの避難の課題と  
対策に関する研究委員会

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
	◎後藤洋三	◎後藤洋三	◎後藤洋三	◎後藤洋三
	○柳原純夫	○柳原純夫	○柳原純夫	○柳原純夫
	◆山本一敏	◆山本一敏	◆山本一敏	◆山本一敏
	◇市古太郎	◇市古太郎	◇市古太郎	◇市古太郎
	◇佐藤誠一	◇佐藤誠一	◇佐藤誠一	◇佐藤誠一
	(1) 佐藤誠一	(1) 佐藤誠一	(1) 佐藤誠一	(1) 佐藤誠一
	(2) 久田嘉章	(2) 久田嘉章	(2) 久田嘉章	(2) 久田嘉章
	(3) 堀宗朗	(3) 堀宗朗	(3) 堀宗朗	(3) 堀宗朗
	(4) 村上ひとみ	(4) 村上ひとみ	(4) 村上ひとみ	(4) 村上ひとみ
	池田浩敬	池田浩敬	荒木秀朗	荒木秀朗
	生田英輔	生田英輔	池田浩敬	池田浩敬
	磯打千雅子	磯打千雅子	生田英輔	生田英輔
	大原美保	大原美保	磯打千雅子	磯打千雅子
	小川雄二郎	小川雄二郎	大原美保	大原美保
	奥村与志弘	奥村与志弘	小川雄二郎	小川雄二郎
	大森高樹	大森高樹	奥村与志弘	奥村与志弘
	甲斐芳郎	甲斐芳郎	大森高樹	大森高樹
	北浦勝	北浦勝	甲斐芳郎	甲斐芳郎
	久保智弘	久保智弘	北浦勝	北浦勝
	小山真紀	小山真紀	久保智弘	久保智弘
	島村誠	島村誠	小山真紀	小山真紀
	鈴木光	鈴木光	島村誠	島村誠
	末松孝司	末松孝司	鈴木光	鈴木光
	田中努	田中努	末松孝司	末松孝司
	中須正	中須正	高田和幸	高田和幸
	仲村成貴	仲村成貴	田中努	田中努
	廣井悠	廣井悠	谷下雅義	谷下雅義
	真船奨	真船奨	照本清峰	照本清峰
	三上卓	三上卓	中須正	中須正
	尹南二	尹南二	仲村成貴	仲村成貴
	Farnaz Mahdavian	Farnaz Mahdavian	廣井悠	廣井悠
			真船奨	真船奨
			三上卓	三上卓
			三上貴仁	三上貴仁
			森伸一郎	森伸一郎
			山下倫央	山下倫央
			山田武志	山田武志
			尹南二	尹南二
			Farnaz Mahdavian	Farnaz Mahdavian

津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会

(j) 強震動評価のための表層地盤  
モデル化手法研究委員会

	2014年度	2015年度	2016年度
強震動評価のための表層地盤モデル化手法研究委員会	◎東貞成	◎東貞成	◎東貞成
	○松島信一	○松島信一	○松島信一
	◇津野靖士	◇津野靖士	◇津野靖士
	山中浩明	山中浩明	山中浩明
	川瀬博	川瀬博	川瀬博
	植竹富一	植竹富一	植竹富一
	大井昌弘	大井昌弘	大井昌弘
	清木隆文	清木隆文	清木隆文
	王寺秀介	王寺秀介	王寺秀介
	片岡正次郎	片岡正次郎	片岡正次郎
	長瀬雅美	長瀬雅美	長瀬雅美
	池浦友則	池浦友則	池浦友則
	岩田知孝	岩田知孝	岩田知孝
	横井俊明	横井俊明	横井俊明
	南雲秀樹	南雲秀樹	南雲秀樹
	早川崇	早川崇	早川崇
金田一広	金田一広	金田一広	

(k) 断層問題に関する理工学合同委員会

	2014年度	2015年度	2016年度
断層問題に関する理工学合同委員会	◎國生剛治	◎國生剛治	◎國生剛治
	○大塚康範	○大塚康範	○大塚康範
	○堀宗朗	○堀宗朗	○堀宗朗
	◆谷和夫	◆谷和夫	◆谷和夫
	▲末岡徹	▲末岡徹	▲末岡徹

(l) 各種構造物の津波荷重の体系化に関する研究委員会

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
各種構造物の津波荷重の体系化に関する研究委員会	◎有川太郎	◎有川太郎	◎有川太郎	◎有川太郎
	○長谷部雅伸	○長谷部雅伸	○長谷部雅伸	○長谷部雅伸
	○嶋原良典	○嶋原良典	○嶋原良典	○嶋原良典
	◇木原直人	◇木原直人	◇木原直人	◇木原直人
	松富英夫	松富英夫	松富英夫	松富英夫
	奥田泰雄	奥田泰雄	奥田泰雄	奥田泰雄
	庄司学	庄司学	庄司学	庄司学
	舘野公一	舘野公一	舘野公一	舘野公一
	玉田崇	玉田崇	玉田崇	中埜良昭
	中埜良昭	中埜良昭	中埜良昭	池谷毅
	大家隆行	池谷毅	池谷毅	大家隆行
	池谷毅	大家隆行	大家隆行	奥野峻也
	奥野峻也	奥野峻也	奥野峻也	浅井竜也
	浅井竜也	浅井竜也	浅井竜也	内山不二男

(m) 津波荷重の評価技術と体系化の心得に関する研究委員会

	2019年度
津波荷重の評価技術と体系化の心得に関する研究委員会	◎有川太郎
	○長谷部雅伸
	○嶋原良典
	◇木原直人
	松富英夫
	奥田泰雄
	庄司学
	舘野公一
	中埜良昭
	池谷毅
大家隆行	
奥野峻也	
浅井竜也	
内山不二男	

(n) 原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会

2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
◎高田毅士	庄司学	◎高田毅士	庄司学	◎高田毅士	高橋容之	◎高田毅士	高橋容之
○成宮祥介	白井英士	○成宮祥介	白井英士	○成宮祥介	田中浩平	○成宮祥介	田中浩平
◇飯島唯司	鈴木純也	◇飯島唯司	鈴木純也	◇伊神和忠	田村伊知郎	◇伊神和忠	田村伊知郎
◇伊神和忠	高橋容之	◇伊神和忠	高橋容之	◇糸井達哉	堤喜隆	◇糸井達哉	堤喜隆
◇糸井達哉	田中浩平	◇糸井達哉	田中浩平	◇梅木芳人	坪田正紀	◇梅木芳人	坪田正紀
◇梅木芳人	田村伊知郎	◇梅木芳人	田村伊知郎	◇高田孝	中村いづみ	◇高田孝	中村いづみ
◇大鳥靖樹	坪田正紀	◇大鳥靖樹	坪田正紀	◇藤本滋	中村晋	◇藤本滋	中村晋
◇神谷昌伸	中村いづみ	◇神谷昌伸	中村いづみ	◇美原義徳	中村隆夫	◇美原義徳	中村隆夫
◇神保雅一	中村晋	◇神保雅一	中村晋	有田誠二	西田明美	有田誠二	西田明美
◇高田孝	中村隆夫	◇高田孝	中村隆夫	安中正	野元滋子	安中正	野元滋子
◇林健太郎	西田明美	◇林健太郎	西田明美	飯田晋	原口龍将	飯田晋	原口龍将
◇藤本滋	野元滋子	◇藤本滋	野元滋子	飯島唯司	前田匡樹	飯島唯司	前田匡樹
◇古屋治	原口龍将	◇古屋治	原口龍将	井上哲也	前原啓吾	井上哲也	前原啓吾
◇美原義徳	前田匡樹	◇美原義徳	前田匡樹	内山泰生	古屋治	内山泰生	古屋治
◇牟田仁	鉤忠志	◇牟田仁	鉤忠志	大鳥靖樹	鉤忠志	大鳥靖樹	鉤忠志
有田誠二	松岡真二	有田誠二	松岡真二	金戸俊道	松岡真二	金戸俊道	松岡真二
安中正	松山尚典	安中正	松山尚典	神谷昌伸	松島信一	神谷昌伸	松島信一
飯田晋	森伸一郎	飯田晋	森伸一郎	北山和宏	松山尚典	北山和宏	松山尚典
井上哲也	山田博幸	井上哲也	山田博幸	楠浩一	三明雅幸	楠浩一	三明雅幸
内山泰生	吉見雅行	内山泰生	吉見雅行	蔵増真志	牟田仁	蔵増真志	牟田仁
金戸俊道	渡辺和明	金戸俊道	渡辺和明	小林哲朗	森伸一郎	小林哲朗	森伸一郎
北山和宏	織田伸吾	北山和宏	織田伸吾	酒井俊朗	山田博幸	酒井俊朗	山田博幸
楠浩一	●蛭沢勝三	楠浩一	●蛭沢勝三	佐々木泰裕	吉見雅行	佐々木泰裕	吉見雅行
小林哲朗	●亀田弘行	小林哲朗	●亀田弘行	佐藤浩章	渡辺和明	佐藤浩章	渡辺和明
酒井俊朗	●宮野廣	酒井俊朗	●宮野廣	司宏俊	織田伸吾	司宏俊	織田伸吾
佐藤浩章		佐藤浩章		庄司学	●蛭沢勝三	庄司学	●蛭沢勝三
				白井英士	●亀田弘行	白井英士	●亀田弘行
				鈴木純也	●宮野廣	鈴木純也	●宮野廣

原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会

(o) 津波等の突発大災害からの避難における諸課題に対する工学的検討手法およびその活用に関する研究委員会

	2016年度				2017年度			
	津波等の突発大災害からの避難における諸課題に対する工学的検討手法およびその活用に関する研究委員会	◎甲斐芳郎	磯打千雅子	鈴木光	三上貴仁	◎甲斐芳郎	磯打千雅子	鈴木光
○仲村成貴		市古太郎	高田和幸	村上ひとみ	○仲村成貴	市古太郎	高田和幸	村上ひとみ
◆山本一敏		奥村与志弘	田中努	森伸一郎	◆山本一敏	奥村与志弘	田中努	森伸一郎
(1) 佐藤誠一		大森高樹	谷下雅義	柳原純夫	(1) 佐藤誠一	大森高樹	谷下雅義	柳原純夫
(2) 堀宗朗		北浦勝	照本清峰	山下倫央	(2) 堀宗朗	北浦勝	照本清峰	山下倫央
荒木秀朗		久保智弘	中須正	山本正直	荒木秀朗	久保智弘	中須正	山本正直
有川太郎		後藤洋三	廣井悠	尹南二	有川太郎	後藤洋三	廣井悠	尹南二
生田英輔		小山真紀	真船奨		生田英輔	小山真紀	真船奨	
池田浩敬		島村誠	三上卓		池田浩敬	島村誠	三上卓	

(p) 大規模津波からの避難における諸課題に対する工学的検討手法およびその活用に関する研究委員会

	2018年度			2019年度		
	大規模津波からの避難における諸課題に対する工学的検討手法およびその活用に関する研究委員会	◎甲斐芳郎	北浦勝	中須正	◎甲斐芳郎	北浦勝
○仲村成貴		久保智弘	廣井悠	○仲村成貴	久保智弘	廣井悠
◆佐藤誠一		後藤洋三	三上卓	◆佐藤誠一	後藤洋三	三上卓
普及) 堀宗朗		小山真紀	村上ひとみ	普及) 堀宗朗	小山真紀	村上ひとみ
避難) 有川太郎		末松孝司	森伸一郎	避難) 有川太郎	末松孝司	森伸一郎
荒木秀朗		高田和幸	柳原純夫	荒木秀朗	高田和幸	柳原純夫
生田英輔		田中努	山下倫央	生田英輔	田中努	山下倫央
磯打千雅子		谷下雅義	山本一敏	磯打千雅子	谷下雅義	山本一敏
奥村与志弘		照本清峰		奥村与志弘	照本清峰	

(q) 強震動評価のための深部地盤モデル化手法の検証に関わる研究委員会

	2017年度		2018年度	
	強震動評価のための深部地盤モデル化手法の検証に関わる研究委員会	◎松島信一	王寺秀介	◎松島信一
○佐藤浩章		片岡正次郎	○佐藤浩章	岩田知孝
◇津野靖士		長瀬雅美	◇津野靖士	横井俊明
東貞成		池浦友則	東貞成	南雲秀樹
山中浩明		岩田知孝	山中浩明	早川崇
川瀬博		横井俊明	川瀬博	金田一広
植竹富一		南雲秀樹	植竹富一	野口科子
先名重樹		早川崇	先名重樹	地元孝輔
清木隆文		金田一広	清木隆文	稲垣賢亮
			王寺秀介	林田拓己
			片岡正次郎	

(r) 強震動評価のための深部地盤モデル化手法の最適化に関する研究委員会

	2019年度	
強震動評価のための深部地盤モデル化手法の最適化に関する研究委員会	◎松島信一	池浦友則
	○佐藤浩章	岩田知孝
	◇津野靖士	横井俊明
	東貞成	南雲秀樹
	山中浩明	早川崇
	川瀬博	金田一広
	植竹富一	野口科子
	先名重樹	地元孝輔
	清木隆文	稲垣賢亮
	王寺秀介	林田拓己
		片岡正次郎

(11) 会長特別委員会

(a) 首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する委員会

首都圏における 地震・水害等による 複合災害への対応に 関する委員会	2014年度				2015年度			
	◎久田嘉章	大森高樹	高田和幸	庄司学	◎久田嘉章	末松孝司	古屋治	増田幸宏
	◇大原美保	末松孝司	古屋治	増田幸宏	◇大原美保	黒沢大陸	村上正浩	中村孝明
	山下倫央	黒沢大陸	村上正浩	中村孝明	山下倫央	佐藤正行	大井昌弘	加藤孝明
	猪股 渉	佐藤正行	大井昌弘	加藤孝明	猪股 渉	高田和幸	庄司学	安田進
				大森高樹				

(b) 地域の災害レジリエンスの評価指標開発と政策シミュレーション研究委員会

地域の災害レジリエンスの 評価指標開発 と政策シミュレーション 研究委員会	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
	◎目黒公郎	野村昌子	◎目黒公郎	清水博	◎目黒公郎	清水博	◎目黒公郎	清水博
	◇蛭間芳樹	川住昌光	◇蛭間芳樹	遠藤健	◇蛭間芳樹	遠藤健	◇蛭間芳樹	遠藤健
	◇梅山吾郎	深井勝美	◇梅山吾郎	村田瑞穂	◇梅山吾郎	村田瑞穂	◇梅山吾郎	村田瑞穂
	木村正清	遠藤健	木村正清	大西修平	木村正清	大西修平	木村正清	大西修平
	坂口浩規	副島紀代	坂口浩規	副島紀代	坂口浩規	副島紀代	坂口浩規	副島紀代
	嶋田敬一郎	入江さやか	嶋田敬一郎	入江さやか	嶋田敬一郎	入江さやか	嶋田敬一郎	入江さやか
	神谷俊隆	鍵屋一	神谷俊隆	鍵屋一	神谷俊隆	鍵屋一	神谷俊隆	鍵屋一
	矢作裕一		矢作裕一	三浦伸也	矢作裕一	三浦伸也	矢作裕一	三浦伸也
		野村昌子		野村昌子		野村昌子		

(12) 特別研究委員会

(a) 広域・システム災害対応特別調査研究委員会

広域・システム災害対応特別調査研究委員会	2011 年度
	◎東畑郁生
	翠川三郎
	八嶋厚
	高田一
	松富英夫
	丸山喜久
	鍛田泰子
	東貞成
	庄司学
	松本正毅
	矢代晴美
中村孝明	

(13) 電子広報委員会

	2011 年度	2012 年度
電子広報委員会	◎鹿嶋俊英	◎富田孝史
	大堀道広	○斉藤大樹
	小野祐輔	山口亮
	勝俣英雄	中村いづみ
	神野達夫	齊藤正人
	関口徹	久保智弘
	武村雅之	鹿嶋俊英
	丸山喜久	
	盛川仁	
	吉田望	

(14) 日本地震工学会創立 10 周年記念事業運営委員会

日本地震工学会創立 10 周年 記念事業運営委員会	2011 年度
	◎矢部 正明
	東貞成
	木全宏之
	斉藤大樹

(15) 事業企画委員会 (WG 含む)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
事業企画委員会	◎木全宏之	◎松田隆	◎鳥井信吾	◎鳥井信吾	◎中村友紀子	◎中村友紀子	◎宮腰淳一	◎中尾吉宏	◎宮腰淳一
	◇平井俊之	◇森井雄史	○境茂樹	○境茂樹	○片岡正次郎	○宮腰淳一	○中尾吉宏	○宮腰淳一	○丸山喜久
	◇富健一	射場大輔	佐々木智大	佐々木智大	境茂樹	境茂樹	境茂樹	境茂樹	境茂樹
	岡崎太郎	尾崎竜三	中村いづみ	中村いづみ	佐々木智大	佐々木智大	中村友紀子	中村友紀子	中村いづみ
	砂田尚彦	小野祐輔	中村友紀子	中村友紀子	鳥井信吾	鳥井信吾	中村いづみ	中村いづみ	肥田剛典
	洞宏一	柴山明寛	藤田香織	藤田香織	中村いづみ	中村いづみ	西山誠治	西山誠治	渡辺和明
	射場大輔	原忠	宮腰淳一	宮腰淳一	藤田香織	藤田香織	松本直之	松本直之	入江さやか
	尾崎竜三	坂井康伸			宮腰淳一	片岡正次郎		肥田剛典	加藤一紀
	小野祐輔	佐々木智大							
	柴山明寛	嶋崎守							
	原忠	永田佳世							
	森井雄史	萩真次							
	(部) 武村雅之	松本敏克							
	(専) 磯打千雅子	(部) 武村雅之							
	(専) 大堀道広	(専) 磯打千雅子							
	(専) 川邊禎久	(専) 大堀道広							
	(専) 久家英夫	(専) 川邊禎久							
	(専) 倉田成人	(専) 久家英夫							
	(専) 平井俊之	(専) 佐々木透							
	(専) 宮腰淳一	(専) 平井俊之							
	(専) 宮腰淳一								
震災予防講演会 WG			△宮腰淳一						
			川邊禎久						
			境茂樹						
			佐々木透						
			武村雅之	武村雅之	武村雅之	武村雅之			
			森井雄史	森井雄史	森井雄史	森井雄史			
E-ライフエッセ 見学会 WG			△佐々木智大	△佐々木智大	△佐々木智大	△佐々木智大	△中村いづみ	△中村いづみ	△中村いづみ
			永田佳世	永田佳世	永田佳世	永田佳世		青木梓	青木梓

(16) 論文集編集委員会・論文集特集号編集委員会

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
論文集編集委員会	◎高橋徹	◎高橋徹	◎年縄巧	◎年縄巧	◎大堀道弘	◎大堀道弘	◎末富岩雄	◎末富岩雄	◎小檜山雅之
	○藤本滋	○年縄巧	○青木繁	○大堀道弘	○栗田勝実	○末富岩雄	○古屋治	○小檜山雅之	○高井伸雄
	○年縄巧	○青木繁	○大堀道弘	○栗田勝実	○末富岩雄	○古屋治	○小檜山雅之	○高井伸雄	○能島暢呂
	酒井久和	新井洋	酒井久和	新井洋	山田耕司	山田耕司	小豆畑達哉	小野祐輔	◇末富岩雄
	川辺秀憲	五十田博	川辺秀憲	市古太郎	飛田哲男	飛田哲男	小野祐輔	後藤浩之	小野祐輔
	石原直	一井康二	石原直	野津厚	宮腰淳一	宮腰淳一	後藤浩之	小島宏章	後藤浩之
	新井洋	市古太郎	新井洋	藤森健史	池田孝	池田孝	東貞成	護雅史	小島宏章
	五十田博	大野晋	市古太郎	丸山喜久	神野達夫	神野達夫	小島宏章	村上ひとみ	沼田宗純
	一井康二	酒向裕司	野津厚	茂木秀則	北原武嗣	北原武嗣	護雅史	西川隼人	村上ひとみ
	市古太郎	中村友紀子	藤森健史	山田耕司	谷山尚	谷山尚	村上ひとみ	沼田宗純	護雅史
	大野晋	野津厚	丸山喜久	飛田哲男	小豆畑達哉	小豆畑達哉	西川隼人	井上修作	小山真紀
	酒向裕司	藤森健史	茂木秀則	宮腰淳一	小野祐輔	小野祐輔	沼田宗純	小山真紀	秋山充良
	中村友紀子	丸山收	山田耕司	池田孝	後藤浩之	後藤浩之	井上修作	秋山充良	上田恭平
	野津厚	丸山喜久	飛田哲男	神野達夫	東貞成	東貞成	小山真紀	上田恭平	重藤迪子
	藤森健史	茂木秀則	宮腰淳一	北原武嗣	小川雄二郎	小島宏章	秋山充良	重藤迪子	党紀
	丸山收	山田雅行	池田孝	谷山尚	小島宏章	護雅史	上田恭平	党紀	中川貴文
	丸山喜久	酒井久和	神野達夫	小豆畑達哉	護雅史	村上ひとみ	重藤迪子	中川貴文	松島信一
	茂木秀則	川辺秀憲	北原武嗣	小野祐輔	村上ひとみ	西川隼人	党紀	松島信一	山添正稔
	山田雅行	石原直	谷山尚	後藤浩之	西川隼人	沼田宗純	中川貴文	山添正稔	引田智樹
				小川雄二郎	沼田宗純	井上修作	松島信一	森田高市	森田高市
			東貞成	井上修作	小山真紀	山添正稔	引田智樹	野口竜也	
								松本浩幸	
								後藤祥広	
論文集特集号編集委員会	◎永野正行	◎永野正行							
	若松加寿江	若松加寿江							
	庄司学	庄司学							
	片岡俊一	片岡俊一							
	大野晋	大野晋							
	野津厚	野津厚							
	石原直	石原直							
新井洋	新井洋								

(17) 選考委員会（功績賞，功労賞，論文賞，論文奨励賞，優秀発表賞，名誉会員）

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
功績賞選考委員会	◎川島一彦	◎安田進	◎安田進	◎目黒公郎	◎目黒公郎	◎福和伸夫	◎福和伸夫	◎中埜良昭
	若松加寿江	当麻純一	山崎文雄	志波由紀夫	木全宏之	木全宏之	鳥井信吾	鳥井信吾
	芳村学	加藤研一	福和伸夫	副島紀代	田中宏司	田中宏司	中村洋光	中村洋光
	矢部正明	松田隆	新海元	藤川智	中埜良昭	長島一郎	岩本浩祐	山本雅史
	大谷章仁	福喜多輝	志波由紀夫	中埜良昭	吉見雅行	塩原等	塩原等	山田哲
	当麻純一	山崎文雄	藤川智	倉本洋	室野剛隆	清野純史	清野純史	秋山充良
	福喜多輝	福和伸夫		吉見雅行	原田健二	佐藤吉之	佐藤吉之	徳光亮一
矢代晴実			室野剛隆					
功労賞選考委員会		◎安田進	◎安田進	◎目黒公郎	◎目黒公郎	◎福和伸夫	◎福和伸夫	◎中埜良昭
		当麻純一	山崎文雄	志波由紀夫	木全宏之	木全宏之	鳥井信吾	鳥井信吾
		山崎文雄	福和伸夫	中埜良昭	中埜良昭	塩原等	塩原等	山田哲
		福和伸夫	志波由紀夫	倉本洋		清野純史	清野純史	秋山充良
論文賞選考委員会	◎若松加寿江	◎福和伸夫	◎福和伸夫	◎倉本洋	◎中埜良昭	◎清野純史	◎清野純史	◎秋山充良
	大谷章仁	矢代晴実	年縄巧	佐藤正行	原田健二	長島一郎	山本雅史	山本雅史
	高橋徹	松田隆	和泉信之	片岡正次郎	大堀道広	宮腰淳一	宮腰淳一	宮腰淳一
	斉藤大樹	年縄巧	久田嘉章	原田健二	中村友紀子	岩本浩祐	岩本浩祐	松岡太一
	矢代晴実	和泉信之	塚本良道	大堀道広	高橋郁夫	田村修次	田村修次	清田隆
	松田隆	久田嘉章	境茂樹	中村友紀子	楠浩一	末富岩雄	末富岩雄	小檜山雅之
		塚本良道	佐藤正行	高橋郁夫	長島一郎	中尾吉宏	中尾吉宏	丸山喜久
	境茂樹			宮腰淳一	平田京子	平田京子	永野正行	
論文奨励賞選考委員会						◎末富岩雄	◎末富岩雄	◎小檜山雅之
						論文集編集委員会委員	論文集編集委員会委員	論文集編集委員会委員
優秀発表賞選考委員会						◎秋山充良	◎五十嵐晃	◎五十嵐晃
						大会実行委員会委員	大会実行委員会委員	大会実行委員会委員
名誉会員選考委員会						◎福和伸夫	◎福和伸夫	◎中埜良昭
						木全宏之	鳥井信吾	鳥井信吾
						田中宏司	中村洋光	中村洋光
						長島一郎	岩本浩祐	山本雅史
						塩原等	塩原等	山田哲
						清野純史	清野純史	秋山充良
						佐藤吉之	佐藤吉之	徳光亮一

(18) 公益社団法人化推進委員会

	2012 年度
公益社団法人化推進委員会	◎当麻純一
	○矢部正明
	福喜多輝
	大谷章仁
	矢代晴実
	渡壁守正
	加藤研一
	松田隆
	斉藤大樹
	富田孝史
	澤本佳和
	東貞成

(19) 東日本大震災合同報告書作成委員会（地震・地震動編報告書，原子力発電所の被害と復旧編報告書，英文報告書）・東日本大震災合同報告書編集委員会

	2012年度	2013年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
東日本大震災合同報告書作成委員会		◎川島一彦					
		若松加寿江					
		本田利器					
		平野光将					
		高田毅士					
地震・地震動編報告書作成委員会	◎本田利器	◎本田利器					
	藤原広行	藤原広行					
	山中浩明	山中浩明					
	境有紀	境有紀					
	片岡俊一	片岡俊一					
	岩田知孝	岩田知孝					
	田所敬一	田所敬一					
	川瀬博	川瀬博					
	久田嘉章	久田嘉章					
	渦岡良介	渦岡良介					
	竹内直文	竹内直文					
白鳥正樹	白鳥正樹						
原子力発電所の被害と復旧編報告書作成委員会	◎平野光将	◎平野光将					
	○高田毅士	○高田毅士					
	大友敬三	大友敬三					
	瀧口克己	瀧口克己					
	小泉安郎	小泉安郎					
	香川敬生	香川敬生					
	糸井達哉	糸井達哉					
	宮野寛	宮野寛					
	(協) 野村進吾	(協) 野村進吾					
(協) 蛭澤勝三	(協) 蛭澤勝三						
英文報告書作成委員会	◎川島一彦	◎川島一彦					
	若松加寿江	若松加寿江					
東日本大震災合同報告書編集委員会			○川島一彦	○川島一彦	○川島一彦	○川島一彦	○川島一彦
			若松加寿江	若松加寿江	若松加寿江	若松加寿江	若松加寿江
			本田利器	本田利器	本田利器	本田利器	本田利器
			高田毅士	高田毅士	高田毅士	高田毅士	高田毅士
			■吹野美絵	■吹野美絵	■小松康典	■小松康典	■小松康典

#### 4. 論文集の発行状況

掲載数を論文応募区分で分け、2011～2020 年度に発行された各号の掲載数を表 4-1 および図 4-1 に示す。また、1 号当たりの平均掲載数の年度別推移を図 4-2 に示す。2020 年度については、8 月までのデータを使用した。

特集号では通常号に比べて 1 号当たりの掲載数が多いため、特集号が多く出版される年度では平均掲載数が多い。特集号を含めると、掲載数は年度毎で大きく異なるように見受けられるが、通常号のみに着目した場合、毎年度安定して 30～40 編程度の論文が掲載されてきた。2004 年度以降は安定的に 15 編程度掲載される状態であったが、それに比べると掲載数は大きく増加してきたといえる。

表 4-1 論文等の掲載数

年月	巻	号	総説	寄稿	討論	ノート	報告	論文	総計
2011年05月	11	1	0	0	0	0	3	3	6
2011年05月		2	0	0	0	0	0	3	3
2011年08月		3	0	0	0	0	0	6	6
2011年11月		4	0	0	0	0	0	7	7
2011年11月		5 (特集号)	0	0	0	0	1	8	9
2011年1号当たりの平均掲載数			0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	5.4	6.2
2012年02月	12	1	0	0	0	0	1	4	5
2012年05月		2	0	0	0	0	0	4	4
2012年08月		3	0	0	0	1	0	3	4
2012年09月		4 (特集号)	0	0	0	0	4	24	28
2012年11月		5 (特集号)	0	0	0	0	1	14	15
2012年11月		6 (特集号)	0	0	0	0	0	10	10
2012年11月		7	0	0	0	0	1	4	5
2012年1号当たりの平均掲載数			0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	9.0	10.1
2013年03月	13	1	0	0	0	0	0	4	4
2013年02月		2 (特集号)	0	0	0	0	1	5	6
2013年05月		3	0	0	0	1	1	2	4
2013年08月		4	0	0	0	0	2	3	5
2013年11月		5	0	0	0	0	2	4	6
2013年1号当たりの平均掲載数			0.0	0.0	0.0	0.2	1.2	3.6	5.0
2014年02月	14	1	0	0	0	0	1	9	10
2014年05月		2	0	0	0	2	2	8	12
2014年06月		3 (英文号)	0	0	0	0	0	3	3
2014年08月		4	0	0	0	0	0	3	3
2014年11月		5	0	0	0	0	0	6	6
2014年12月		6 (英文号)	0	0	0	0	2	6	8
2014年1号当たりの平均掲載数			0.0	0.0	0.0	0.3	0.8	5.8	7.0

表 4-1 論文等の掲載数 (その 2)

年月	巻	号	総説	寄稿	討論	ノート	報告	論文	総計
2015年02月	15	1	0	0	0	0	0	7	7
2015年05月		2	0	0	0	0	2	6	8
2015年06月		3 (英文号)	0	0	0	0	0	8	8
2015年08月		4	0	0	0	0	0	3	3
2015年09月		5 (特集号)	0	0	0	0	4	5	9
2015年11月		6	0	0	0	1	0	9	10
2015年12月		7 (特集号)	0	0	0	0	3	38	41
2015年1号当たりの平均掲載数			0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	10.9	12.3
2016年01月	16	1 (特集号)	0	0	0	0	3	25	28
2016年02月		2	0	0	0	1	1	5	7
2016年03月		3 (特集号)	0	0	0	0	1	17	18
2016年03月		4 (特集号)	3	0	0	0	3	10	16
2016年04月		5 (特集号)	3	1	0	0	3	7	14
2016年05月		6	0	0	0	0	0	1	1
2016年06月		7 (英文号)	0	0	0	0	0	5	5
2016年07月		8 (特集号)	0	0	0	0	1	12	13
2016年08月		9	0	0	0	0	3	5	8
2016年11月		10	0	0	0	1	3	5	9
2016年12月		11 (英文号)	0	0	0	0	0	4	4
2016年1号当たりの平均掲載数			0.5	0.1	0.0	0.2	1.6	8.7	11.2
2017年02月	17	1	0	0	0	0	1	5	6
2017年05月		2	0	0	0	2	1	10	13
2017年06月		3 (英文号)	0	0	0	0	0	4	4
2017年08月		4	0	0	0	2	4	5	11
2017年11月		5	0	0	0	0	3	8	11
2017年12月		6 (英文号)	0	0	0	0	0	1	1
2017年1号当たりの平均掲載数			0.0	0.0	0.0	0.7	1.5	5.5	7.7
2017年02月	18	1	0	0	0	0	1	8	9
2018年05月		2	0	0	0	0	2	11	13
2018年06月		3 (英文号)	0	0	0	0	2	8	10
2018年08月		4	0	0	0	0	1	6	7
2018年11月		5	0	0	0	1	3	6	10
2018年12月		6 (英文号)	0	0	0	0	0	2	2
2018年1号当たりの平均掲載数			0.0	0.0	0.0	0.2	1.5	6.8	8.5

表 4-1 論文等の掲載数 (その 3)

年月	巻	号	総説	寄稿	討論	ノート	報告	論文	総計
2019年02月	19	1	0	0	0	0	4	4	8
2019年05月		2	0	0	0	0	0	6	6
2019年06月		3 (英文号)	0	0	0	0	0	2	2
2019年08月		4	0	0	0	1	2	7	10
2019年09月		5 (特集号)	0	0	0	0	1	37	38
2019年10月		6 (特集号)	0	0	0	0	4	21	25
2019年11月		7	0	0	0	0	1	5	6
2019年12月		8 (英文号)	0	0	0	0	0	3	3
2019年1号当たりの平均掲載数			0.0	0.0	0.0	0.1	1.5	10.6	12.3
2020年01月	20	1 (特集号)	0	0	0	0	0	18	18
2020年02月		2	0	0	0	0	1	5	6
2020年03月		3 (特集号)	0	0	0	0	2	6	8
2020年05月		4	0	0	0	0	2	2	4
2020年06月		5 (英文号)	0	0	0	0	0	3	3
2020年08月		6	0	0	0	0	0	5	5
2020年1号当たりの平均掲載数			0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	6.5	7.3

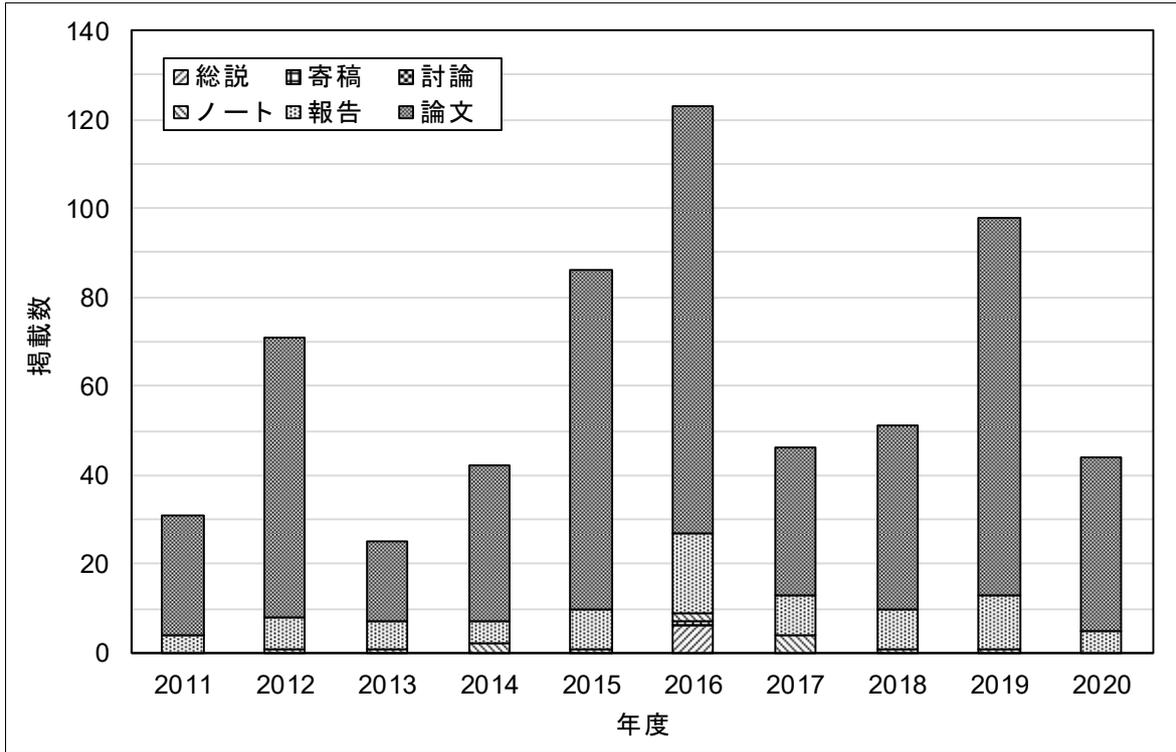


図 4-1 掲載数の推移

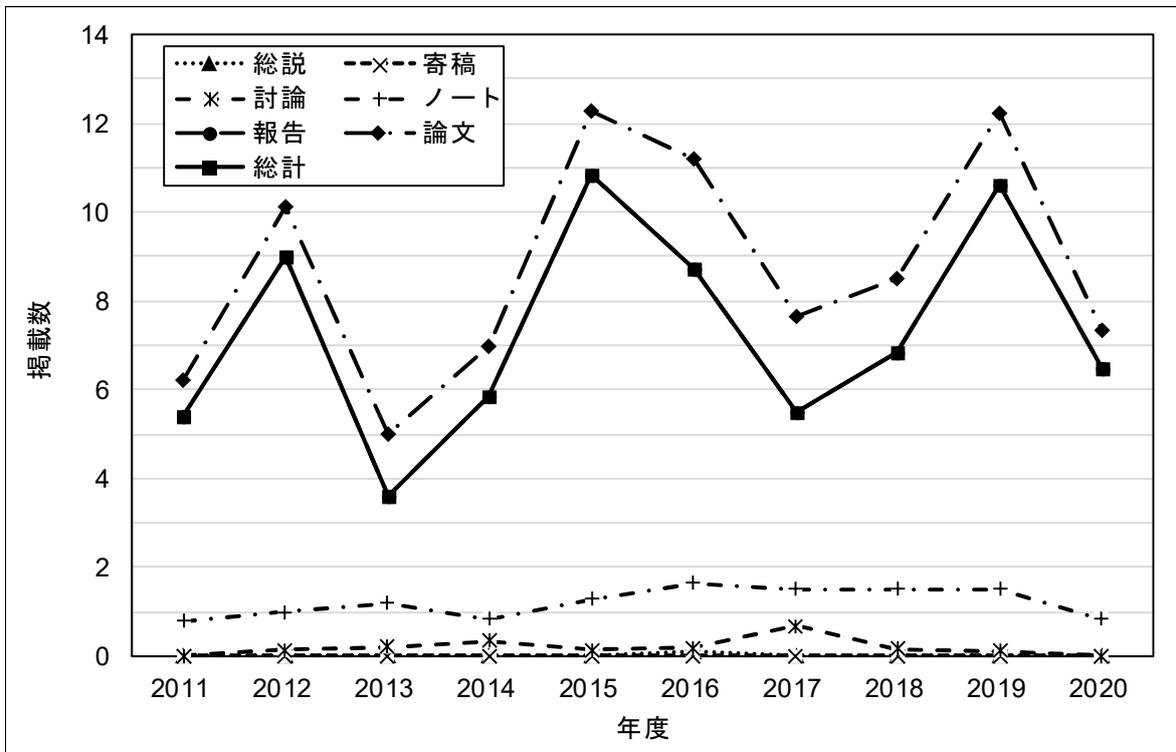


図 4-2 1号当たりの平均掲載数の推移

## 5. 財務状況

図 5-1～図 5-7 に、財務状況に関する統計データを示す。統計データから読み取れる傾向を以下にまとめる。

- (i) 繰越金を含めた場合、公益社団法人となった 2013 年度以降、年度毎の予算と収入の差、および収支（決算）の差は大きくばらつくことなく、より安定した運営が行われてきたようにみえる。繰越金を除いた場合でも、予算と収入および収支の差は小さくなってきているが、一方で前期繰越金の金額は増加傾向にあり、2016 年度以降、支出が収入を上回る年が多くなってきた。
- (ii) 日本地震工学会の安定した収入源は会費収入である。2019 年度では、入会金は約 2 万 3 千円、正会員会費は約 1,065 万円、法人会員会費は約 461 万円、学生会員会費は約 16 万 5 千円であり、正会員会費の割合が高くなっている。
- (iii) 会費収入に次ぐ収入源は一般事業収入であるが、その金額は年度が変わるごとに大きく異なる。
- (iv) JEES シンポジウムが開催された年は、その収入は会費収入とほぼ同程度であった。年次大会事業収入は全体を占める割合は大きくないものの、常に収入が支出を上回ってきた。一方で年々減少傾向にあり、今後のその推移を注視することが望まれる。
- (v) 支出の内訳をみると、JEES シンポジウムや国際シンポジウムが開催された年以外では、特別調査事業等の発生により一時的に増加した年はあるものの、事業の年度間の金額に大きな差異はなかった。
- (vi) 論文事業や企画事業では 2014 年度まで支出が収入を上回る傾向が多くみられたが、徐々にその差は小さくなってきた。2019 年度における論文事業の支出は約 325 万円であったのに対して、収入は約 513 万円と大きく上回った。

会員拡大は財政の安定化に極めて重要である。地震工学分野に携わる若手研究者の減少や、社会全体で少子高齢化・人口減少が問題視される中で、一定数の会員数を確保するために日本地震工学会としてどのような対応を進めていくべきかを継続して考える必要がある。また、収入面では、一般事業収入は増加傾向にあるものの、年度毎の金額にはばらつきがあるため、より安定した事業形態となれるよう一層の工夫が望まれる。

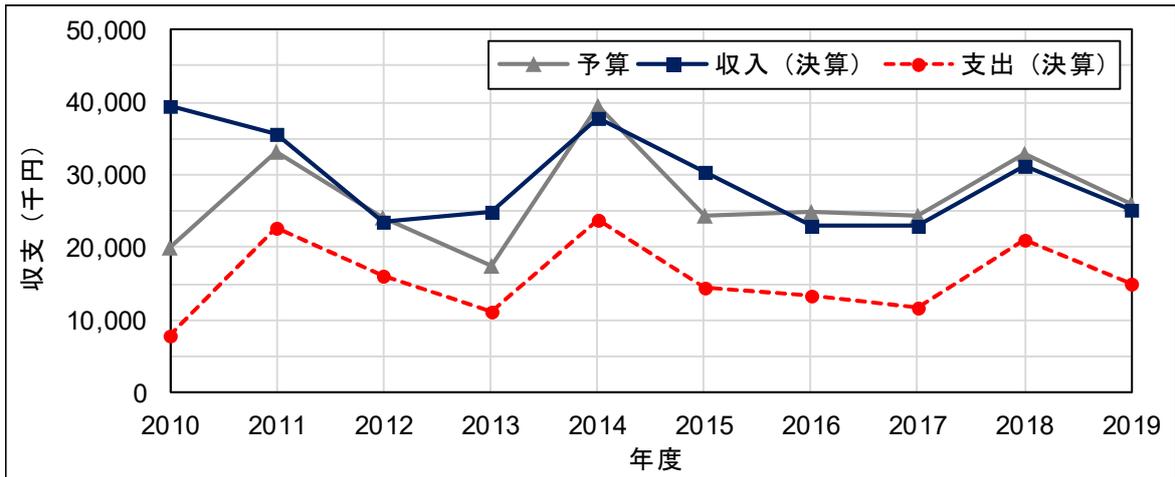


図 5-1 年度別収支決算

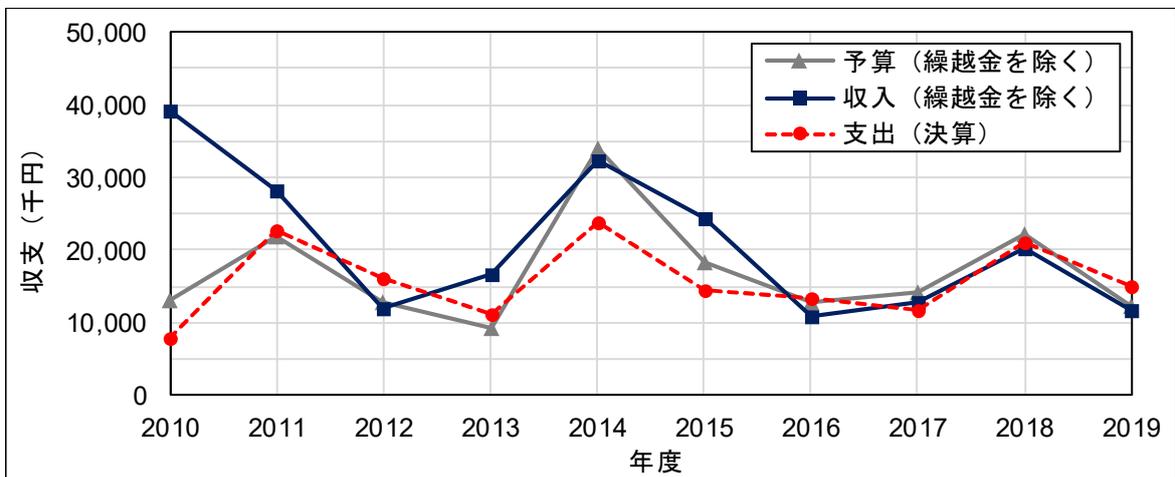


図 5-2 繰越金を除く年度別収支決算

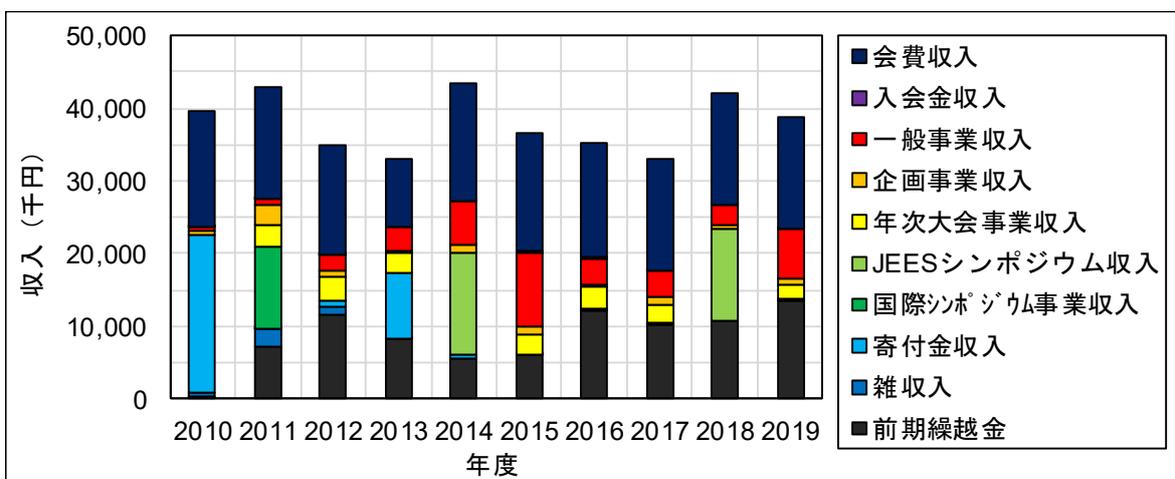


図 5-3 年度別収入の内訳 (決算)

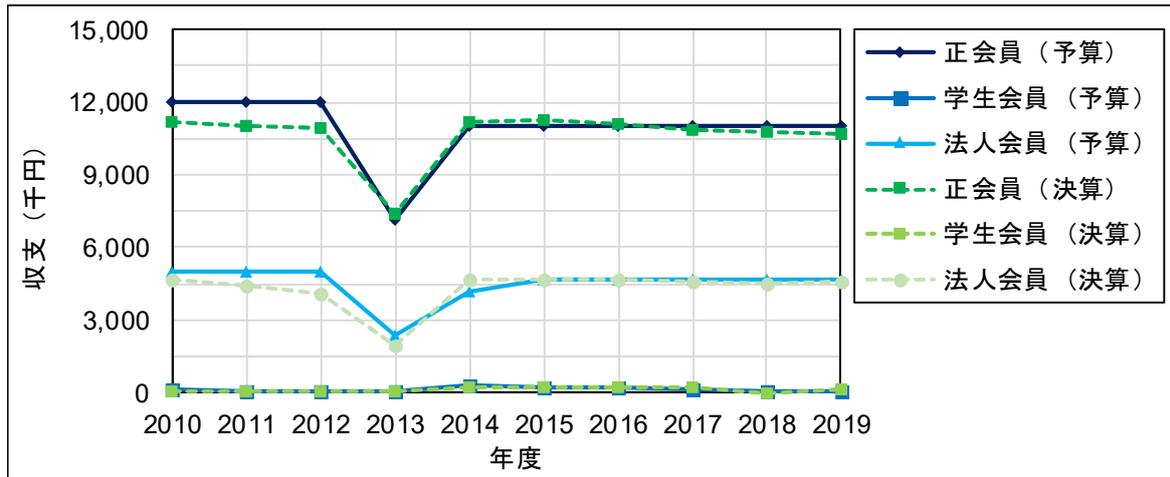


図 5-4 会員収入の内訳

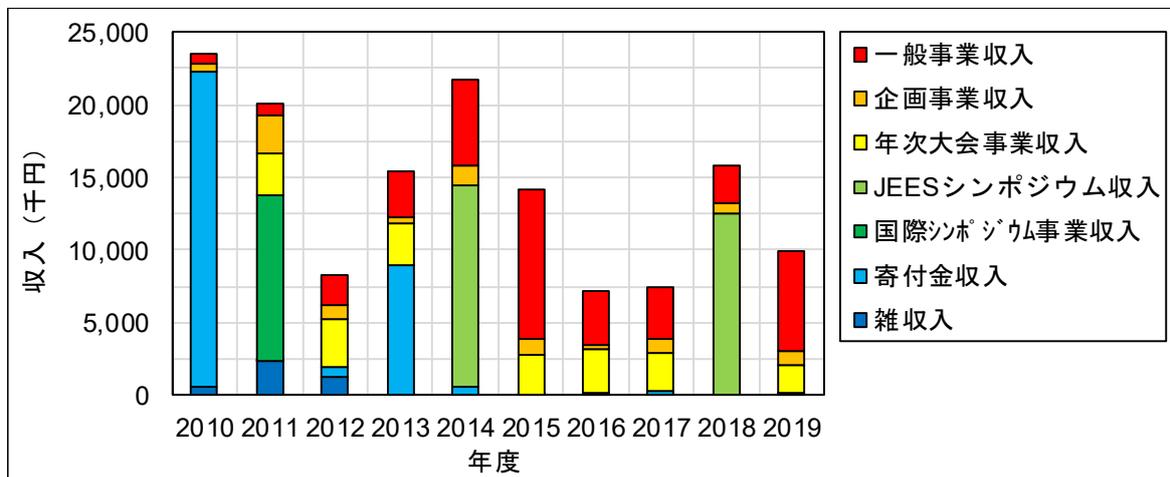


図 5-5 会費収入を除く年度別収入の内訳 (決算)

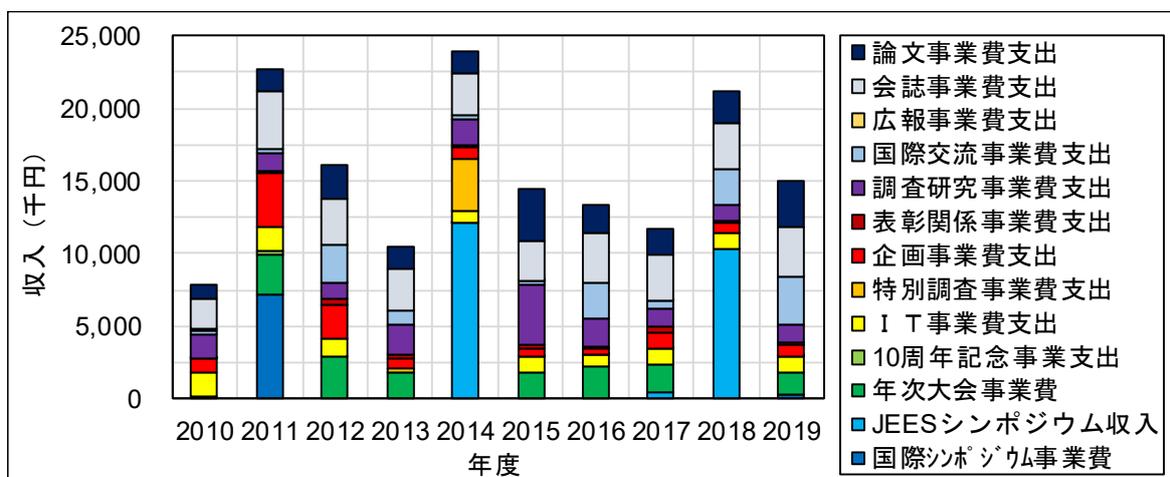


図 5-6 年度別支出の内訳 (決算)

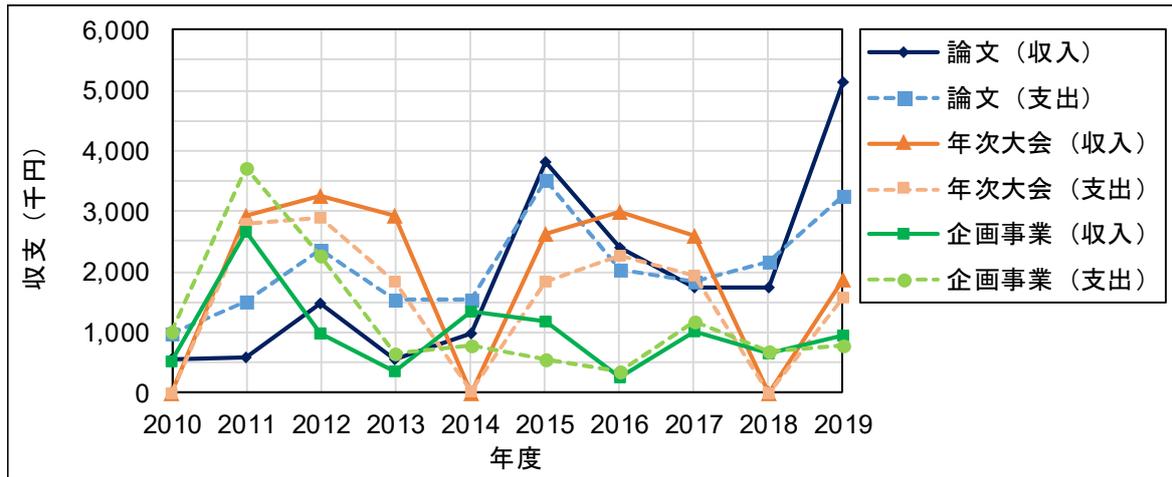


図 5-7 事業ごとの収支（論文事業・年次大会事業・企画事業）

## 6. 任意団体日本地震工学会の規約と規則

任意団体日本地震工学会の定款と規則（一般規則、会員規則、財産管理運用規則、総会規則、理事会規則）を示す。

## 6. 1 公益社団法人日本地震工学会 定款

2012年11月9日制定

2016年5月17日改定

### 第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益社団法人日本地震工学会と称し、英文名は、  
Japan Association for Earthquake Engineering (JAEE) とする。

(主たる事務所)

第2条 この法人は主たる事務所を東京都港区に置く。

2 この法人は、理事会の決議によって従たる事務所を必要な地に置くことができる。

### 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、地震工学および地震防災に関する学術・技術・教育の進歩発展をはかり、地震災害の軽減に貢献する事業を行い、もって社会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 地震工学及び地震防災に関する調査研究とその振興
  - (2) 地震工学及び地震防災に関する研究発表会の開催
  - (3) 地震工学及び地震防災に関する会報・論文集及び研究成果等の発行
  - (4) 地震工学及び地震防災に関する文献・資料の収集及び活用
  - (5) 地震工学及び地震防災に関する講演会・講習会・展覧会・見学会などの開催、その他普及活動
  - (6) 地震工学及び地震防災に関する国内外との学術・技術・教育の交流
  - (7) 地震工学及び地震防災に関する業績の表彰
  - (8) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
- 2 前項の事業については本邦及び海外で行うものとする。

### 第3章 会員

(法人の構成員)

第5条 この法人の会員は、次の3種とする。

- (1) 正会員この法人の目的に賛同して入会した個人
  - (2) 法人会員この法人の目的に賛同して入会した団体
  - (3) 学生会員この法人の目的に賛同して入会した個人で、大学等に在籍する学生
- 2 前項の会員のうち正会員及び法人会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「法人法」という。)に定める社員とする。
- 3 第1項(1)(2)(3)の3種の会員とは別に、当法人の目的達成に多大の貢献をした個人、又は地震工学あるいは地震防災に関する学術・技術・教育の進歩発展に功績顕著な個人に、社員総会の議決を経て、名誉会員の称号を贈ることができる。
- 4 正会員及び法人会員は、法人法に規定された次に掲げる社員の権利をこの法人に対して行使することができる。
- (1) 法人法第14条第2項の権利(定款の閲覧等)
  - (2) 法人法第32条第2項の権利(社員名簿の閲覧等)
  - (3) 法人法第57条第4項の権利(社員総会の議事録の閲覧等)

- (4) 法人法第 50 条第 6 項の権利（社員の代理権証明書面等の閲覧等）
- (5) 法人法第 51 条第 4 項及び 52 条第 5 項の権利（議決権行使書面の閲覧等）
- (6) 法人法第 129 条第 3 項の権利（計算書類等の閲覧等）
- (7) 法人法第 229 条第 2 項の権利（清算法人の貸借対照表等の閲覧等）
- (8) 法人法第 246 条第 3 項、第 250 条第 3 項及び第 256 条第 3 項の権利（合併契約等の閲覧等）

（入 会）

第 6 条 正会員・法人会員・学生会員になろうとする者は、理事会において別に定めるところにより、入会の申込みを行い、その承認を受けなければならない。

（会費等）

第 7 条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、正会員は入会金及び会費、法人会員、学生会員は会費を理事会において別に定める額を支払う義務を負う。

（任意退会）

第 8 条 会員は、理事会において定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

（除 名）

第 9 条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、社員総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
  - (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
  - (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。
- 2 前項の規定により会員を除名するときは、当該会員にあらかじめその旨を通知するとともに、除名に係る決議の前に弁明の機会を与えなければならない。

（会員資格の喪失）

第 10 条 第 8 条、第 9 条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 会費の納入が継続して 1 年以上なされなかったとき。
  - (2) 成年被後見人又は被保佐人になったとき。
  - (3) 当該会員が死亡し、又は解散したとき。
  - (4) 総社員の同意があったとき。
- 2 会員が前項の規定によりその資格を喪失したときは、この法人に対する権利を失い、義務を免れる。ただし、未履行の義務は、これを免れることができない。
- 3 この法人は、会員がその資格を喪失しても、既に納入した会費及びその他の拠出金品は、これを返還しない。

#### 第 4 章 社員総会

（構 成）

第 11 条 社員総会は、すべての正会員と法人会員をもって構成する。

2 総会をもって、法人法上の総会とする。

（権 限）

第 12 条 社員総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任及び解任
- (3) 各事業年度の事業報告及び収支決算の承認
- (4) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更

- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 役員報酬等に関する規程
- (9) 理事会が必要と認めた事項
- (10) その他社員総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第13条 総会は、定時総会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に臨時総会を開催する。

(招集)

第14条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

- 2 総正会員と総法人会員からなる議決権の10分の1以上の議決権を有する正会員及び法人会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議長)

第15条 社員総会の議長は、会長がこれに当たる。また会長が欠けたときは副会長、理事の順でこれに当たる。

(議決権)

第16条 社員総会における議決権は、正会員及び法人会員1名につき1個とする。

(決議)

第17条 社員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、総正会員と総法人会員からなる議決権の過半数を有する正会員及び法人会員が出席し、出席した正会員及び法人会員の議決権の過半数をもって行う。

- 2 第1項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員と総法人会員の半数以上であって、総正会員と総法人会員からなる議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。

(議決権の代理行使)

第18条 社員総会に出席できない社員は、他の社員を代理人として議決権を代理行使することができる。

- 2 前項の規定による代理権を証明する書面の提出に代えて、当該書面に記載すべき事項を電磁的方法により提供することができる。
- 3 第1項の規定による代理権の授与は、社員総会ごとに行われなければならない。
- 4 第1項の規定による代理出席者は社員総会の定足数および議決数に算入する。

(議事録)

第19条 社員総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び出席した理事のうち予め議事録署名人として指定された理事2名は、前項の議事録に記名押印する。

## 第5章 役員

(役員を設置)

第20条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 3 名以上 20 名以内

(2) 監事 2 名以内

- 2 理事のうち 1 名を会長とし、会長をもって法人法上の代表理事とする。
- 3 理事のうち 1 名以上 3 名以内を副会長とする。
- 4 理事のうち 1 名の専務理事を置くことができる。また副会長と専務理事は兼任できない。
- 5 会長を除くすべての理事を法人法第 91 条第 1 項第 2 号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第 21 条 理事及び監事は、社員総会の決議により選任する。

- 2 会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。この場合において、理事会は、正会員に会長候補者を付議した上で、その決議の結果を参考にすることができる。
- 3 副会長及び専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 4 理事のうち、理事のいずれか 1 名とその配偶者又は 3 親等内の親族その他法令で定める特別の関係にある者の合計数は、理事総数の 3 分の 1 を超えてはならない。監事についても、同様とする。

(理事の職務及び権限)

第 22 条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより職務を執行する。

- 2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 会長及び業務執行理事は、毎事業年度に 4 箇月を超える間隔で年に 2 回以上、自己の職務の執行の状況を、理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第 23 条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況を調査することができる。

(役員任期)

第 24 条 理事及び監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結時までとし、再任を妨げない。

- 2 前項に関わらず、会長は重任できない。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了するときまでとする。
- 4 理事又は監事は、第 20 条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了、又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第 25 条 理事及び監事は、社員総会の決議によって解任することができる。

(報酬等)

第 26 条 理事及び監事は、無報酬とする。

(役員法人に対する損害賠償及び損害賠償責任の一部免除)

第 27 条 理事または監事は、その任務を怠ったときは、この法人に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負い、法人法第 112 条の規定にかかわらず、この責任は、すべての正会員の同意がなければ、免除することができない。

## 第 6 章 理事会

(構成)

第 28 条 この法人に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第 29 条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長及び専務理事の選定及び解職
- (4) その他法令又はこの法人の定款に定められた事項

(招集)

第30条 理事会は、会長が招集するものとする。

2 会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第31条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

2 会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、出席した理事の中から議長を選出する。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べた場合は除く。

(議事録)

第33条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2 理事会に出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第7章 資産及び会計

(財産の種別)

第34条 この法人の財産は、基本財産及びその他の財産の2種類とする。

2 基本財産は、この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産として理事会で定めたものとする。

3 その他の財産は、基本財産以外の財産とする。

4 前第2項、第3項の財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。基本財産を処分するときは、予め理事会及び社員総会の承認を要する。

(事業年度)

第35条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第36条 この法人の事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も同様とする。

2 会長又は副会長は、前項の承認を得た後、最初に開かれる社員総会においてこれを報告しなければならない。

3 第1項の書類については、主たる事務所及び従たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第37条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時社員総会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書(正味財産増減計算書)

(5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の書類については、毎事業年度終了後3ヶ月以内に行政庁に提出しなければならない。

3 第1項の規定により承認を受けた書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間、従たる事務所に3年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所及び従たる事務所に、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事の名簿

(3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第38条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

## 第8章 定款の変更および解散

(定款の変更)

第39条 この定款は、社員総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第40条 この法人は、社員総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取り消し等に伴う贈与)

第41条 この法人が公益認定の取り消しの処分を受けた場合、又は合併により法人が消滅する場合であって、この法人の権利義務を承継する法人が公益法人でない場合には、社員総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取り消しの日、又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第42条 この法人が解散する場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国に贈与するものとする。

## 第9章 公告の方法

(公告の方法)

第43条 この法人の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報へ掲載して行う。

## 第10章 委員会

(委員会)

第44条 この法人の事業を遂行するため必要があるときは、理事会の議決により委員会を置くことができる。

2 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

## 第11章 事務局

(事務局)

第45条 この法人は、事務を処理するために、事務局を置く。

2 事務局には、事務局長その他の職員を置く。

3 事務局長は、理事会の承認を得て会長が任免し、その他の職員は会長が任免する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により、会長が別に定める。

## 第12章 規則

(規則)

第46条 本定款施行に必要な事項のうち、以下の各号に示すものは、理事会の議決により別に定め、社員総会に報告する。

(1) 一般規則

(2) 会員規則

(3) 財産管理運用規則

(4) 総会規則

(5) 理事会規則

(規程)

第47条 本定款及び前条で定める規則以外で、当法人の運営に必要な事項は規程として理事会の議決により別に定める。

(法令の準拠)

第48条 本定款に定めのない事項は、すべて法人法に関する法律及びその他法令に従う。

## 第13章 補則

(委任)

第49条 この定款に定めるもののほか、この定款の施行について必要な事項は、理事会の決議を経て、会長が別に定める。

## 附則

1) この定款は、内閣総理大臣による公益認定を受けた日から施行される。

2) 公益認定を受けた日は、2013年5月1日である。

3) この定款の変更は2016年6月1日から施行する。

## 6. 2 公益社団法人日本地震工学会 一般規則

2012年12月7日制定

2016年4月19日改定

### 第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は公益社団法人日本地震工学会（以下、「この法人」とする。）定款第46条に基づき、この法人の運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

### 第2章 事業

(出版物、ニュース等)

第2条 この法人は、次に掲げる定期出版物を発行するほか、委員会の研究成果その他で、目的達成のため必要と認められたものを出版する。

- (1) 日本地震工学会誌
- (2) 日本地震工学会論文集
- (3) JAEE NEWS メール配信
- (4) JAEE NEWSLETTER

(電子広報、講演会等)

第3条 この法人は、定款第4条に掲げる地震工学および地震防災に関する学術・技術・教育の進歩発展をはかり、地震災害の軽減に貢献するため、次の事業を行う。

- (1) ホームページの運営
- (2) 調査研究とその振興
- (3) 講演会・講習会・展覧会・見学会等の開催
- (4) 国内外との学術・技術の交流
- (5) 次に掲げる業績の表彰
  - イ) 論文集における論文賞、論文奨励賞
  - ロ) 大会における優秀発表賞
  - ハ) 功績賞、功労賞
  - ニ) 感謝状
- (6) 地震災害対応活動
- (7) スペシャルアドバイザーの委嘱
- (8) その他、理事会が必要と認めた事業  
(大会、日本地震工学シンポジウムの開催)

第4条 この法人は、原則として、毎年1回以上、全国より会員の参集を求めて大会を開催し、会員の研究発表その他目的達成に必要な行事を行う。但し、日本地震工学シンポジウムを催す年はこの限りではない。

2 この法人は、原則として、4年に1回、日本地震工学シンポジウムを他学会と共催する。

### 第3章 委員会

(委員会の設置)

第5条 この法人は、法人の運営ならびに定款第4条の事業遂行のために必要あるときは、理事会はその議決により、委員会を設置することができる。

(委員会の統括)

第6条 各委員会のもとに、下位の委員会等を設ける場合には、上位の委員会がこれを統括し、必要に応じて理事会に報告、審議付与する。

(委員会の組織・設置場所)

第7条 委員会は、会員をもって組織する。ただし、特に必要ある場合は、会員外の専門家を委員に加えることができる。

2 委員会は、必要の地に置く。

3 委員会は、委員長および幹事を委員の互選によって決める。委員長および幹事は正会員でなければならない。

4 委員長は、委員会を統括し、幹事は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(委員の任期)

第8条 委員の任期は、2年以内とする。ただし、委員会が2年以上継続する場合には、その重任は妨げない。

(委員の委嘱)

第9条 委員は、理事会の承認を経て、会長が委嘱する。

(委員会の報告事項)

第10条 委員会は、毎年3月末、その年度の事業概要報告を、また委嘱事項終了のときは、その経過ならびに成案に関する報告を会長に提出しなければならない。

(委員会の運営規程)

第11条 委員会は、理事会または上位の委員会の承認を経て、運営規程を定める。

2 運営規程には、次の事項のほか必要な事項を定める。

(1) 目的・事業

(2) 存置期間

(3) 組織・構成

(4) 委員の任期

(5) 運営方法

3 運営規程は、原則として第5条から第9条までの各項に則って定めるものとするが、特別の理由がある場合にはこの限りではない。

(委員会の意見の対外発表)

第12条 委員会としての意見を外部に発表する場合には、理事会に報告しなければならない。

2 委員会としての意見を本会の意見として外部に発表する場合には、理事会の承認を経なければならない。

## 第4章 事務局

(事務局の業務)

第13条 事務局は、理事から事務局に付された代行業務を執行する。

2 事務局は監事からの請求があるときは、事務局の業務執行状況を速やかに報告しなければならない。

(事務局長)

第14条 理事会の事務局に理事会が選任した事務局長をおく。

2 理事会は以下の場合、事務局長を解任することができる。

(1) 事務局長が辞職を申し出た場合

(2) 事務局長の雇用契約の終了期限に達した場合

(3) 事務局長がこの法人に多大な損害を与えた場合

3 事務局長は、事務局の業務が適切に遂行されるように事務局を統括する。

4 事務局長の職務権限は理事会が決定・変更することができる。

(事務局の体制)

第 15 条 事務局の体制は、会長が定め、理事会に報告する。

(労働協約)

第 16 条 事務局の職員との労働協約の締結は、会長が行い理事会に報告する。

(事務局の備え付け帳簿と書類)

第 17 条 事務所には、常に次に掲げる帳簿および書類を備え置かなければならない。

- (1) 定款
- (2) 会員名簿（および会員の異動に関する書類）
- (3) 理事および監事の名簿
- (4) 登記に関する書類
- (5) 社員総会および理事会の議事に関する書類
- (6) 財産目録
- (7) 事業計画書および収支予算書
- (8) 事業報告書および計算書類等
- (9) 監査報告書
- (10) その他法令で定める帳簿および書類

2 前項各号の帳簿および書類等の閲覧については、法令の定めによるほか、別に定める情報公開規程による。

## 第 5 章 その他

(情報公開)

第 18 条 この法人は情報公開を積極的に行うものとする。

2 情報公開に関する必要な事項は、理事会の議決により情報公開規程に定める。

(個人情報の保護)

第 19 条 この法人は業務上知り得た個人情報の保護に万全を期すものとする。

2 個人情報の保護に関する必要な事項は、理事会の議決により個人情報保護方針に定める。

(改廃)

第 20 条 この規則の改廃は、理事会の決議をもって行い、社員総会に報告する。

## 附則

- 1) この規則は、内閣総理大臣による公益認定を受けた日から施行される。
- 2) 公益認定を受けた日は、2013 年 5 月 1 日である。
- 3) この規則の変更は 2016 年 4 月 19 日から施行する。

## 6. 3 公益社団法人日本地震工学会 会員規則

2013年3月29日制定

2014年3月13日改定

2017年5月19日改定

### 第1章 総則

#### (目的)

第1条 この規則は、定款第2章の目的及び事業、並びに第12章の規則に基づき、この法人の会員の入会及び退会、並びに、入会金及び会費の納入に関して必要な事項を定めるものとする。

### 第2章 入会及び退会

#### (入会基準及び手続)

第2条 この法人の会員として入会しようとする個人又は団体（法人）に対しては、別表に掲げる事項を主たる内容とし、理事会の議を経て定める入会申込書の提出を求めることとする。

2 前項の入会申し込みに対しては、別紙の基準により、理事会において入会の可否を決定し、これを申込者に通知する。

#### (会員名簿及び個人会員に関する情報の取扱い)

第3条 入会者は、会員の種別毎に、この法人の管理する会員名簿に登録する。

2 前項の入会申込書に記載した主要事項に変更があった場合は、当該会員から、理事会が別に定める変更届の提出を求める。

3 会員名簿に登録された個人会員に関する情報については、その公開の可否及び公開の範囲について、本人の意向を十分尊重し、慎重に取り扱わねばならない。

#### (退会事由及び手続)

第4条 理事会が別に定める退会届を提出して、会員は、会費を完納したうえ、任意に退会することができる。

2 定款第10条の定めにより、退会以外の事由により、会員の資格を喪失した場合は、退会と同じく会員名簿の登録を抹消する。

3 前各号により会員資格を喪失した場合、既納の入会金及び会費、その他の拠出金は返還しない。

#### (再入会)

第5条 前条の規定により会員資格を喪失した者が再入会を希望する場合には、その理由を記した説明書と共に、改めて第2条に定める入会申込書の提出を求めることとする。

2 前項の再入会申込に対しては、第2条に定める基準により、理事会において再入会の可否を決定し、これを申込者に通知する。

ただし、未納の入会金及び会費がある場合には、第14条に定める特典を受けた期間の当該未納分を支払わない限り、再入会は認めない。また、除名により会員資格を喪失した者は、資格喪失後、3年間は、再入会を認めないこととする。

### 第3章 入会金及び会費

#### (入会金)

第6条 会員は、次の入会金を納入しなければならない。

- (1) 正会員 1,000 円
- (2) 法人会員 なし
- (3) 学生会員 なし

#### (入会金の納期)

第7条 入会金は、この法人から入会承認の通知を受けた日から90日以内に納入しなければならない。

(会費)

第8条 会員は、次の会費（年額）を納入しなければならない。

- (1) 正会員 10,000 円
- (2) 法人会員 特級 200,000 円  
A級 100,000 円  
B級 50,000 円  
C級 20,000 円
- (3) 学生会員 3,000 円

2 海外在住の会員は、会費のほかに、配布する出版物の送料として理事会で適当と認めた金額を納入しなければならない。

3 学生会員が引き続いて正会員になる場合は、正会員 1 年目の会費を 3,000 円とする。

(会費の納期)

第9条 会費は、毎事業年度、原則として3月31日までに、会費年額の全額を納付しなければならない。

2 会費滞納に対する催告及び懲戒手続きについては、別に理事会において定める。

(中途入会の会費及び納期)

第10条 事業年度の中途に入会した正会員の当該事業年度の会費は、入会申込日が3月から5月までの場合は年額の全額、6月から8月までの場合は年額の75%、9月から11月までの場合は年額の50%、12月から2月までの場合は年額の25%とする。

2 法人会員および学生会員は年度途中入会でも年額の全額を納付する。

3 前項の会費の納入は、この法人から入会承認の通知を受けた日から原則として30日以内とする。

(入会金及び会費の免除)

第11条 理事会は、次のいずれかに該当する個人会員については、第6条及び第8条の規定にかかわらず、入会金及び会費のいずれか一方又は双方の免除を議決することができる。この場合、該当する個人会員に対しては、届出書の提出を求めることとする。なお、会費の免除については届けがなされた当該年度（単年度）の会費の免除に限定する。

- (1) 特に多額の会費を納入する団体（法人）会員に所属する正会員又は学生会員について、当該団体（法人）会員から入会金又は会費若しくは入会金及び会費の免除申請があった場合
- (2) 別紙に示すように免除すべき相当の事由があると認める正会員又は学生会員
- (3) 名誉会員

(会費の用途)

第12条 会費はその50%を、定款第4条に示す地震工学および地震防災に関する学術・技術・教育の進歩発展をはかり、地震災害の軽減に貢献する事業のように公益事業に使用し、残りの50%は本学会の管理運営に使用する。

## 第4章 会員の権利と特典

(会員の権利)

第13条 定款第3章第5条第4項に記載の権利を持つ。

(会員の特典)

第14条 会員は別に定める特典を受けることができる。

(会員資格喪失に伴う権利および義務)

第15条 会員が会員資格を喪失したときは、この法人に対する権利を失い、義務を免れる。ただし、未履行の義務は、これを免れることはできない。

## 第5章 雑則

(改 廃)

第16条 この規則の改廃は、理事会の決議をもって行い、社員総会に報告する。

### 附則

- 1) この規則は、内閣総理大臣による公益認定を受けた日から施行される。
- 2) 公益認定を受けた日は、2013年5月1日である。
- 3) この規則の変更は2017年5月19日より施行する。

## 6. 4 公益社団法人日本地震工学会 財産管理運用規則

2012年12月7日制定

2014年6月26日改定

2016年8月9日改定

### 第1章 総則

#### (目的)

第1条 この規則は、公益社団法人日本地震工学会定款第7章に基づき、財産管理運用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

#### (適用範囲)

第2条 この規則は、本会の会計業務のすべてについて適用する。

#### (会計の原則)

第3条 本会の会計は法令、定款及びこの規程の定めによるほか、公益法人会計基準に準拠して処理しなければならない。

#### (会計年度)

第4条 本会の会計年度は定款に定めるところにより、毎年4月1日より翌年3月31日とする。

#### (規則の変更)

第5条 この規則の変更は、理事会の議決により総会に報告するものとする。

### 第2章 勘定及び帳簿

#### (勘定科目)

第6条 本会の一切の取引は、別に定める勘定科目により処理する。

#### (帳簿等)

第7条 会計帳簿は次のとおりとする。

#### 1. 主要帳簿

- (1) 総勘定元帳
- (2) 仕分帳（又は会計伝票）

#### 2. 補助帳簿

- (1) 現金出納帳
- (2) 預金出納帳
- (3) 収支予算の管理に必要な帳簿
- (4) 固定資産台帳
- (5) 基本財産台帳
- (6) 特定資産台帳
- (7) 会費台帳

2 会計台帳は、公正な会計慣行の様式により作成すること。

#### (会計責任者)

第8条 会計責任者は会計理事（以下、「会計責任者」という。）とする。

#### (帳簿書類の保存)

第9条 帳簿、伝票、書類の保存期間は、会計理事中1名の検印を受けて、10年保存しなければならない。

2 前項の期間は、決算日の翌日から起算し、処分する場合は会計責任者の承認を受けて行うものとする。

### 第3章 予算

#### (目的)

第10条 予算は明確な事業計画に基づいて、資金との調整を図って作成し、事業活動の円滑な運営に資することを目的とする。

#### (予算の承認)

第11条 本会の事業計画と収支予算、資金調達及び設備投資見込みを記載した書類を毎事業年度開始前に作成した上で理事会にて決議し、最初に開かれる社員総会に報告する。

2 前項の規則にかかわらず、年度当初の予算執行については、理事会の承認を得た日から予算に準じ業務を執行することができる。

#### (予算の執行)

第12条 予算の執行者は会長とし、その執行に当たっては、会長の委任を受けて会計責任者が行うものとする。

#### (予備費の計上)

第13条 予算しがたい支出に充てるため、相当額以上の予備費を計上することができる。

#### (予算の流用)

第14条 予算の執行に当たり、中科目相互間の資金の流用を行う必要が生じた場合、理事会の承認を得るものとする。

#### (予備費の使用)

第15条 予備費を支出する必要があるときは、理事会の承認を得なければならない。

#### (予算の補正)

第16条 予算の補正を必要とするときは、補正予算を作成し、理事会の承認を得なければならない。

### 第4章 出納

#### (金銭の範囲)

第17条 この規則において、金銭とは、現金及び貯預金をいう。

2 現金とは、通貨のほか、小切手、郵便為替証書等の随時に通貨と引き換えることができる証書をいう。

3 手形及び有価証券は金銭に準じて扱う。

#### (出納責任者)

第18条 金銭の出納、保管に関しては、出納責任者を置くものとする。

2 出納責任者は会計責任者が任命する。

#### (金銭の出納)

第19条 金銭を収納したときは、日々銀行に預け入れ、支出に充ててはならない。

2 領収書は出納責任者が発行する。但し、会計責任者の判断が必要とされる場合は、会計責任者の承認を得て発行する。

3 支払は、原則として銀行振込によることとし、ただし、少額の支払い、その他これによりがたい場合には、現金払いによることができる。

#### (現金及び公印管理)

第20条 預金の名義人は会長とする。

2 出納に使用する印鑑は、出納責任者が保管し、押印するものとする。

3 金融関係との取引を開始し、又は廃止するときは、会長の承認を受けなければならない。

#### (手許現金)

第21条 出納責任者は、日々の現金支払に充てるため、必要最小限の手許現金を置くことができる。

#### (残高照合)

第22条 出納責任者は、現金残高を毎日出納簿の残高と照合しなければならない。

- 2 貯預金については、年度末のほか、必要に応じて残高証明書の残高と帳簿残高を照合しなければならない。
- 3 前2項の場合において、差額のあるときは、速やかに会計責任者に報告し、その指示を受けるものとする。

## 第5章 固定資産

(定義)

第23条 固定資産とは、耐用年数1年以上で、かつ取得価額10万円以上の有形固定資産及びその他の固定資産をいう。

(取得価額)

第24条 固定資産の取得価額は、次による。

- (1) 購入に係るものは、その取得価額及びその付帯費用
- (2) 贈与によるものは、そのときの適正な評価額

(固定資産の管理)

第25条 固定資産は、台帳を備え、その保全状況及び異動について記録し、異動、毀損、滅失のあった場合は会計責任者に報告しなければならない。

## 第6章 物品

(定義)

第26条 物品とは、取得価額10万円未満の有形固定資産をいう。

(物品の管理)

第27条 物品の管理のための台帳を備え、その管理は第25条による。

## 第7章 決算

(計算書類の作成)

第28条 本会は、毎事業年度終了後、速やかに次の財務表並びに収支計算書を作成し、監事の監査及び総会の承認を得て、事業報告書とともにホームページ上に公開しなければならない。

- (1) 貸借対照表
- (2) 正味財産増減計算書または損益計算書
- (3) 財産目録

2 特別会計を設けている場合は、個々の書類の他に総括表を作成するものとする。

## 第8章 雑則

(規則の改廃)

第29条 本規則を改廃する場合は、理事会の承認を得て行うものとする。

## 附則

- 1) この規則は、内閣総理大臣による公益認定を受けた日から施行される。
- 2) 公益認定を受けた日は、2013年5月1日である。
- 3) この規則の変更は2016年8月9日から施行する。

## 6. 5 公益社団法人日本地震工学会 総会規則

2012年12月7日制定

2014年6月26日改定

2016年8月9日改定

### 第1章 総則

#### (目的)

第1条 この規則は公益社団法人日本地震工学会定款第46条に基づき、社員総会（以下、この規則では「総会」と略す）の運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

#### (議決事項)

第2条 総会では、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）に規定する事項および次の事項を決議する。

- (1) 会員の除名
  - (2) 理事及び監事の選任及び解任
  - (3) 各事業年度の事業報告及び収支決算の承認
  - (4) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認
  - (5) 定款の変更
  - (6) 解散及び残余財産の処分
  - (7) 基本財産の処分
  - (8) 役員報酬等に関する規程
  - (9) 理事会が必要と認めた事項
  - (10) 正会員および法人会員の代表者（以下、この規則では「社員」と称する）の総数の10分の1以上から総会開催日30日以前に、あらかじめ議題として提出された事項
- 2 前項にかかわらず、個々の総会においては、第5条の通知に記載した総会の目的である事項以外の事項は、決議することができない。

### 第2章 総会の招集の手続等

#### (招集の手続)

第3条 総会を招集する場合には、理事会の決議によって、次の事項を定める。

- (1) 総会の日時及び場所
- (2) 総会の目的である事項
- (3) 書面もしくは電磁的方法によって、議決権の行使を委任することができる旨
- (4) 次に掲げる事項
  - イ 総会参考書類に記載すべき事項
  - ロ 書面による議決権行使の委任については、委任状を開催日の前日までに提出すべき旨
  - ハ 電磁的方法による議決権行使の委任については、開催日の前日までにすべき旨
  - ニ 書面もしくは電磁的方法による議決権行使の委任の方法
- (5) 次に掲げる事項が総会の目的である事項であるときは、当該事項に係る議案の概要
  - イ 役員等の選任
  - ロ 役員等の報酬等
  - ハ 事業の全部の譲渡
  - ニ 定款の変更
  - ホ 合併

(臨時総会の招集)

第4条 会長は定款第13条で定めた臨時総会の開催にあたっては、その請求ののち30日以内に臨時総会を招集しなければならない。

(招集の通知)

第5条 総会を招集するには、会長は、総会の開催日の2週間前までに、社員に対して書面または電磁的方法でその通知を発しなければならない。

2 前項の通知には、前条各号に掲げる事項を記載するとともに、総会参考書類及び議決権行使の委任状その外必要な書類を同封しなければならない。

(議決権行使に関する基準日)

第6条 総会招集を決議した理事会の終了時点における社員を、当該総会に関して議決権を有する社員とする。

### 第3章 総会の開催

(会場の設営等)

第7条 総会の開催の際には会場を設営し議事運営に必要な職員等を配置する。

(社員の出席)

第8条 総会に出席する社員は、会場の受付において、会員証の提出等によりその資格を明らかにしなければならない。

(代理出席)

第9条 定款第18条による議決権の代理行使の委任状を提出した社員は出席として扱う。

(社員以外の者の出席)

第10条 理事及び監事は、やむを得ない事由がある場合を除き、総会に出席しなければならない。

2 会計監査人は、法令の定めがある場合のほか、議長の許可を得て総会に出席することができる。

3 この法人の職員及び弁護士等は、議長、理事又は監事を補助するために、議長の許可を得て総会に出席することができる。

### 第4章 総会の議事

(議長の権限)

第11条 議長は、総会の秩序を維持し、議事を整理する。

2 議長は、議事を円滑に進めるために必要と判断するときは、次の者に対して退場を命じることができる。

(1) 社員として出席した者であって、その資格を有しないことが判明した者

(2) 議長の指示に従わない者

(3) 総会の秩序を乱した者

3 議長は、議長の指示に従わない発言、議題に関係しない発言、他人の名誉を棄損し又は侮辱する発言、総会の品位を汚す発言その他議事を妨害し又は議場を混乱させる発言に対し必要な注意を与え、制限し又はその発言を中止させることができる。

(定足数の確認)

第12条 議長は、総会の開会に際し、事務局に出席者数を確認させ、会場に報告させなければならない。

(開会の宣言)

第13条 開会の予定時刻が到来したときは、議長は議場に開会を宣言する。

(開会時刻の繰り下げ)

第14条 議長は、やむを得ない事由がある場合には、開会時刻を繰り下げることができる。この場合、すでに入場している社員に対して遅滞なく繰り下げられた時刻を通知しなければならない。

(議題の付議の宣言)

第 15 条 議長は、各議事に入るに当たり、その議題を付議することを宣言する。

2 議長は、予め招集通知に示された順序に従い議題を付議する。ただし、理由を述べてその順序を変更することができる。

3 議長は、複数の議題を一括して付議することができる。

(理事等の報告又は説明)

第 16 条 議長は、議題付議の宣告後、必要と認めるときは、理事及び監事に対しその議題に関する事項の報告又は説明を求めることができる。この場合理事又は監事は、議長の許可を得て、補助者に報告又は説明をさせることができる。

2 社員が理事又は監事に対し特定の事項について説明を求めるときは、議長は理事又は監事に対し説明を求めなければならない。ただし、当該事項が当該総会の目的である事項に関しないものである場合、又はその説明をすることが社員の共同の利益を著しく害する場合その他正当な理由があると議長が認める場合はこの限りではない。

3 法人法第 43 条、第 44 条又は第 49 条第 3 項の規定により社員から提案があった場合、議長はその社員に議題の説明を求め、また、理事又は監事に対してこれに係る意見を述べさせることができる。

(議題の審議)

第 17 条 議題について発言するときは、議長の許可を受けなければならない。

2 発言の順序は、議長が決定する。

3 発言は、簡潔明瞭であることを要し、議長は、議事の進行上必要があると認めるときは、発言時間を制限することができる。

(議事進行動議)

第 18 条 社員は、総会の議事進行に関して、動議を提出することができる。

2 前項の動議については、議長は速やかに採決しなければならない。

3 議長は、第 1 項の動議が、総会の議事を妨害する手段として提出されたとき、不適法又は権利の濫用にあたる時、その他動議に合理的な理由のないことが明らかなきときは直ちに却下することができる。

(議長不信任動議)

第 19 条 議長不信任動議が提出されたときは、議長は速やかに採決しなければならない。

2 前項の動議が決議されたときは、事務局が仮議長となり、その総会の議長を出席社員の中から選出する。

(採決)

第 20 条 議長は、議題について質疑及び討論が尽くされたと認められるときは、審議終了を宣言し、採決することができる。

2 議長は、一括して審議した議題については、一括して採決することができる。

3 議長は、議題原案に対して修正案が提出された場合には、原案に先立ち修正案の採決を行う。

4 複数の修正案が提出された場合は、原案から遠いものから順次採決を行う。ただし、多数の修正案が提出された場合には、前項の定めにかかわらず、原案を修正案に先立ち採決することができる。

5 議長は、採決について、賛否を確認できるいかなる方法によることもできる。

6 議長は採決に先立って、議題及び自己の議決権の行使に関するいかなる意見も述べることはできない。

(出席した社員の議決権の数)

第 21 条 総会の決議については定款第 17 条に基づくが、次の数の合計を出席社員の議決権の数とする。ただし、第 2 項に該当する数は議決権の数に加えない。

(1) 出席した社員本人の議決権の数

(2) 議決権行使書の委任状を開催日の前日までに提出した社員の議決権の数

(3) 電磁的方法により開催日の前日までに議決権行使の委任をした社員の議決権の数  
2 書面または電磁的方法により他の社員に委任された議決権で、委任された社員が出席していない議決権は、議決権の数には加えない。

(議長の議決権)

第 22 条 議長は出席した社員とするが、議長個人としての議決権をもたない。ただし、賛否同数の場合のみ 1 個の議決権を有する。

2 書面または電磁的方法により他の社員に委任された議決権で、委任する社員が記されていない場合、もしくは社員以外が記されている場合は議長に委任された議決権として扱う。

3 前第 1 項に関わらず、議長に委任された議決権は議決権の数に加え、議長が議決権を行使する。  
(採決結果の宣言)

第 23 条 議長は、採決が終了した場合には、その結果並びにその議題の決議に必要な賛成数を充足しているか否かを宣言する。

(休憩)

第 24 条 議長は、必要と認めるときは、再開時刻を定めて、休憩を宣言することができる。

(延期又は続行)

第 25 条 総会を延期又は続行する場合は、総会の決議による。

2 前項の場合、延会又は継続会の日時及び場所についても決議しなければならない。ただし、その決定を議長に一任することもできる。

3 前項ただし書きの場合、議長は、決定した日時及び場所を速やかに社員に通知しなければならない。

4 延会又は継続会の日は、当初の総会の日より 2 週間以内の日としなければならない。

(閉会)

第 26 条 議長は、すべての議事が終了した場合又は延期もしくは続行が決議された場合には、閉会を宣言する。

(議事録)

第 27 条 総会の議事については、書面又は電磁的記録をもって議事録を作成しなければならない。

2 議長及び出席した理事のうち定款第 19 条第 2 項によって議事録署名人として指定された理事 2 名はこれに記名押印しなければならない。

(議事の経過及びその結果の報告)

第 28 条 議長は、欠席した社員に対して、書面又は電磁的記録をもって議事の経過及びその結果の概要を遅滞なく報告するものとする。

2 代表理事は、総会の議事の経過及びその結果の概要を、会誌とホームページに掲載するものとする。

## 第 5 章 事務局

(事務局)

第 29 条 総会の事務局には、総務理事および事務局員がこれに当たる。

## 第 6 章 雑則

(改廃)

第 30 条 この規則の改廃は、理事会の決議を経て行い、総会にて報告する。

## 附則

1) この規則は、内閣総理大臣による公益認定を受けた日から施行される。

2) 公益認定を受けた日は、2013 年 5 月 1 日である。

3) この規則の変更は 2016 年 8 月 9 日から施行する。

## 6. 6 公益社団法人日本地震工学会 理事会規則

2012年12月7日制定

2014年9月18日改定

2015年4月17日改定

2016年4月19日改定

2016年8月9日改定

### 第1章 総則

#### (目的)

第1条 この規則は公益社団法人日本地震工学会（以下、「この法人」という。）の定款第46条に基づき、この法人の理事会に関する事項について規定し、その適法かつ円滑適切な運営を図ることを目的とする。

#### (理事会の種類)

第2条 理事会は通常理事会と臨時理事会とし、通常理事会は年4回以上開催する。

2 臨時理事会は次の各号の一に該当する場合に開催する。

(1) 会長が必要と認めたとき

(2) 会長以外の監事および理事から会長に招集の請求があったとき。ただし、請求は会議の目的である事項を明示して行う。

(3) 前号の請求があったときから5日以内に、その日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合に、定款30条第2項に基づき、会長に事故があると見なし、副会長、理事、監事が招集したとき。

3 前項第2号の臨時理事会の招集の請求は書面または電磁的記録をもって行う。

#### (理事会の構成)

第3条 理事会はすべての理事をもって組織する。

### 第2章 理事会の招集

#### (招集者)

第4条 理事会は会長が招集する。ただし、定款30条第2項の定めに従い、各理事が招集する場合を除く。

2 会長は第2条第2項第2号に該当する場合は、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする臨時理事会を招集しなければならない。

3 理事全員改選直後の理事会は各理事がこれを招集することができる。

#### (招集通知)

第5条 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面または電磁的記録をもって、開催日の1週間前までに各理事および各監事に対して通知しなければならない。

2 前項の規定に係らず、理事会は理事および監事の全員の同意があるときは招集の手続きを経ることなく開催することができる。

### 第3章 理事会の議事

#### (理事会の議長)

第6条 理事会の議長は会長がこれに当たる。

2 前項に係らず、会長が欠席した場合または会長が第8条第1項の議決に加われない理事に該当する場合ならびに理事全員改選直後の理事会における議長は、出席した理事の中から互選された者がこれに当たる。

(定足数)

第7条 理事会の定足数は理事の過半数とする。

(理事会の決議方法)

第8条 理事会に付議された事項は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって決し、可否同数のときは議長の裁決するところによる。

2 前項の場合において議長は理事として表決に加わることはできない。

(決議の省略)(メール審議の制限)

第9条 定款第32条第2項に基づき理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、理事の全員が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の議決があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときはその限りではない。

(報告の省略)(メール審議の利用)

第10条 理事または監事が理事および監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を書面または電磁的記録により通知した場合には、その事項を理事会で報告することを要しない。

2 前項の規定は第19条第1項の規定による報告には適用しない。

(監事の出席)

第11条 監事は理事会に出席し、必要な場合は意見を述べることができる。

2 やむを得ず監事が理事会を欠席する場合、監事は議事録の写しおよび資料により、議事の経過およびその結果を確認し、必要な場合は意見を書面または電磁的記録により理事および監事の全員に通知することができる。

(オブザーバー)

第12条 会長が必要と認めるときは議事に関係を有する者の出席を求めて、その意見を徴することができる。

(議事録と署名)

第13条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 理事会に出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

(議事録の配布)

第14条 議長は欠席した理事および監事に対して、議事録の写しおよび資料を配布して議事の経過およびその結果を遅滞なく報告するものとする。

2 議事録の保管と閲覧は一般規則第17条による。

#### 第4章 理事会の権限

(権限)

第15条 この理事会は次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長、専務理事の選定および解職

(決議事項)

第16条 理事会が決議すべき事項は、次のとおりとする。

ア 法令に定める事項

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 代表理事(会長)、副会長、専務理事の選定・解職
- (3) 社員総会の日時および場所ならびに議事に付すべき事項の決定
- (4) 社員総会の招集の決定および臨時総会の開催の決定
- (5) 重要な財産の処分および譲受、および多額の借入

- (6) 事務局長等の重要な使用人の選任・解任
- (7) 従たる事務所、その他重要な組織の設置、変更、および廃止
- (8) 特別の利害関係を有する理事に関する事項
- (9) 事業計画書および収支予算書等の承認
- (10) 事業報告および収支決算ならびに財産目録の承認
- (11) 定款の変更およびこの法人の解散
- (12) その他法令に定める事項
- イ 定款に定める事項
  - (1) 規則・規程類の制定、変更、および廃止
    - ①一般規則
    - ②会員規則
    - ③財産管理運用規則
    - ④総会規則
    - ⑤理事会規則
  - (2) 入会の可否の決定
  - (3) 会費不納の会員の権利一部停止
  - (4) その他定款に定める事項
- ウ その他重要な業務執行に関する事項
  - (1) 理事会の運営に関する事項
  - (2) 下記の規程の制定、変更および廃止
    - ①委員会運営規程
    - ②地震災害対応体制に関する諸規程
    - ③特定費用準備資金取扱規程
    - ④情報公開規程
    - ⑤個人情報保護方針
    - ⑥その他本会の運営に必要な規程
  - (3) 役員等の職務権限の決定
  - (4) 委員会の設置および廃止ならびに委員の委嘱および解嘱
  - (5) 会員の資格喪失の決定
  - (6) 会計に関する事項
    - ①予算の流用および積立金取り崩し
    - ②固定資産の購入と廃却
    - ③一時借入金の借入と返済
    - ④その他会計に関する重要な事項
  - (7) 表彰に関する事項の決定
  - (8) 国際連携および学際連携に関する事項の決定
  - (9) 地震災害対応に関する事項の処理
  - (10) 学会としての対外的意見の表明およびそれに伴う行動
  - (11) 重要な事業その他の契約の締結、解除、変更
    - ①大会・講演会等の開催企画の承認
    - ②調査研究受託の諾否決定と実施体制の決定
    - ③図書の刊行等の決定
    - ④その他重要な契約等
  - (12) 重要な事業その他の争訟の処理
  - (13) その他理事会が必要と認める事項の処理

- ①各委員会から申し出があった事項
- ②各理事から申し出があった事項
- 2 理事会は次の事項を定時総会への付議事項とする。
  - (1) 本年度事業報告と収支報告
  - (2) 次期役員の見直し
  - (3) 次年度事業計画と収支予算の報告
  - (4) 定款の変更提案および規則の変更報告
  - (5) その他定款および規則・規程に定める事項の報告
  - (6) その他この法人にとって重要と認められる事項の報告

第 17 条 理事およびその関係者がこの学会と取引をしようとする場合は、次の事項を明示して理事会の承認を得るものとする。

- (1) 取引する理由
  - (2) 取引の内容
  - (3) 取引の相手方・金額・時期・場所
  - (4) 取引が正当であることを示す参考資料
  - (5) その他必要事項
- 2 前項に示した事項について変更する場合は、事前に理事会の承認を得るものとする。  
(責任の免除)

第 18 条 理事会は役員的一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）

第 111 条第 1 項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には法令に従った手続きを経て賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

(報告事項)

第 19 条 会長および業務執行理事は毎事業年度に 4 ヶ月を超える間隔で、2 回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

- 2 監事は、理事が不正の行為をし、もしくはその行為をする恐れがあると認めるとき、または法令もしくは定款に違反する事実もしくは著しく不当な事実があると認めるときは、これを理事会に報告しなければならない。
- 3 理事が第 17 条に規定する取引をしたときは、その取引の重要な事実を遅滞なく、理事会に報告しなければならない。

## 第 5 章 役員を選出

(選挙の実施)

第 20 条 理事会が第 16 条第 2 項第 2 号に規定する次期役員の見直しをするに当たり、会長および監事については事前に総正会員による選挙を行って会員の多数意思を確認するものとし、会長候補者選挙の当選人を理事候補に含め、かつ監事候補者選挙の当選人を監事候補として提案する。ただし、各当選人に事故あるときはこの限りではない。

- 2 前項の定めに関わらず、監事候補については監事候補者の同意を得なければ、総会の議案とすることができない。
- 3 選挙権と被選挙権は正会員のみが有するものとし、正会員 1 名につき 1 個とする。
- 4 選挙の実施については理事会が別に定める選挙規程に従うものとする。
- 5 選挙規程の制定および変更ならびに廃止は総会への報告事項とする。

(代表理事)

第 21 条 理事会は代表理事を選出する。

- 2 前項の代表理事の選出にあたって、前条の選挙結果を参考にするものとする。
- 3 代表理事は会長に就任する。
- 4 理事会は代表理事を解職することができる。後任の代表理事は前2項によらず、理事の中から選出する。

(業務執行理事)

第22条 定款第20条第5項により、代表理事を除くすべての理事を業務執行理事とする。

(副会長、専務理事、担当理事の指名)

第23条 会長は理事の中から2ないし3名を副会長に指名し、理事会で選出する。

- 2 会長は必要に応じて副会長以外の理事から1名を専務理事に指名し、理事会で選出することができる。
- 3 この法人の各事業を担当する理事の候補者は、理事が推薦し、理事会において選考する。
- 4 理事会は副会長および専務理事ならびに担当理事の職を解くことができる。

(役員任期・任期の開始日・就任日)

第24条 役員任期の開始日は、その役員が選任された総会が終了したときからとする。ただし、役員としての職務を開始する期日は理事会で定める。

- 2 役員任期の満了は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。
- 3 役員任期の満了以降も、新たな役員が就任するまで役員の職務を継続する。役員任期途中で辞任した場合は新たな補欠の役員が就任するまでとする。ただし、役員を補充しない場合は理事会で役員職務の終了日を定める。
- 4 会長以外の理事の重任および監事の再任を認める。ただし、専務理事を除き、連続する就任年数が4年を越えないように重任または再任の任期を定めるように理事会は努める。専務理事は連続する就任年数の制限を設けない。
- 5 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 6 定時社員総会で選出された理事は直ちに臨時理事会を開催して以下を行い、社員に速やかに公表する。
  - (1) 会長の任期が満了する場合、次期の会長を選出。
  - (2) 副会長の任期が満了する場合、次期の副会長を選出。
  - (3) 専務理事の任期が満了し、次期も専務理事を置く場合、次期の専務理事を選出。
  - (4) 次期の理事が担当する事業の指名。
- 7 理事、監事または代表理事の変更に伴って2週間以内に変更の登記を行う。

(会長に事故あるときの対応)

第25条 会長に事故あるとき、または欠けたときは、定款30条第2項に基づき各理事が速やかに臨時理事会を招集し、後任の代表理事を理事の中から選出する。

- 2 後任の代表理事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

## 第6章 理事および監事の業務

(会長の業務)

第26条 会長は、次の職務を行う。

- (1) 会長は本会を代表し、この法人の業務の執行を指揮する。
- (2) 総会を招集し、総会の議長となる。
- (3) 理事会を招集し、理事会の議長となる。
- (4) この法人の財産を管理・運用する。
- (5) この法人の収支決算を作成する。
- (6) 事務局長以外の事務局の重要な使用人を任免する。
- (7) 事務局の組織・運営について必要な事項を定める。
- (8) 表彰委員会、功績賞選考委員会、功労賞選考委員会、名誉会員選考委員会の委員長となること。

(副会長の業務)

第 27 条 副会長は、次の職務を行う。

- (1) 会長を補佐し、会長から委任された特定の業務について会長代理として業務を執行する。ただし、会長の代表権に係る職務は除く。
- (2) 次の事業の執行を統括し、必要に応じて部門間の調整を行う。
  - ① 総務・会計・会員
  - ② 情報・学術(国際)・事業(大会)
  - ③ 調査研究・学術(論文)・事業(企画)
- (3) その他定款第 3 条に示される目的を達成するために必要となる事業を執行するための委員会の委員長もしくは委員となること。
- (4) 総務・会計・会員を統括する副会長は、将来構想委員会の委員長となること。また地震災害対応委員会の委員長もしくは委員となること。
- (5) 調査研究・学術(論文)・事業(企画)を統括する副会長は、研究統括委員会と論文賞選考委員会の委員長となること。
- (6) 功績賞選考委員会、功労賞選考委員会、名誉会員選考委員会の委員となること。

(専務理事の業務)

第 28 条 専務理事は、次の職務を行う。

- (1) 会長の命を受け、会長および副会長を補佐し、会務全般の運営をつかさどるとともに、理事会から委任された事項の会務を処理すること。
- (2) 会長、副会長、理事、監事からの特別依頼事項を処理すること。
- (3) 事務局長を通じて事務局を統率すること。
- (4) 対外関係機関との関連事項について協議交流をはかること。

(理事の業務)

第 29 条 会長以外の理事の業務分掌は理事会で定める。

- 2 会長を含む理事の職務権限は理事会で定める。
- 3 業務分掌と職務権限は理事が改選された場合、理事会で速やかに定めるものとする。
- 4 業務分掌と職務権限は必要に応じて理事会の議決により変更できる。
- 5 理事は、会長の裁決を経て、事務局に自己の業務の一部を代行させ、および自己の権限を委譲することができる。
- 6 標準的な業務分掌と職務権限を理事会議決により定めておき、実際の業務分掌と職務権限の策定に資するものとする。
- 7 会長を除く理事は、業務執行理事として第 27 条第 2 項に示す事業を執行するための委員会の委員長もしくは委員となること。

(個別事項)

第 30 条 総務理事、会計理事、会員理事、学術理事、情報理事、事業理事、調査研究理事は各項に示す業務を行うものとする。

- 2 総務理事は、諸会議および本学会の企画・運営、諸規程に関する事項、渉外事項、その他の理事の分掌に属さない事項を行う。功績賞選考委員会、名誉会員選考委員会の委員となること。
- 3 会計理事は、収支予算および決算、財産の管理および処分、出納および会計の管理、この会に対する寄付行為、その他会計に関する一般的事項を行う。財産管理運用規則第 8 条に示す会計責任者となること。論文賞選考委員会の委員となること。
- 4 会員理事は、会員の身分、入会および退会、スペシャルアドバイザー制度、会員名簿の整備、その他会員に関する事項を行う。功績賞選考委員会、名誉会員選考委員会の委員となること。

- 5 学術理事は、学術・技術の進歩発展のための施策、学術交流、国際対応、技術指導、委託研究、研究補助、その他研究に関する事項を行う。論文集を発行する。国際委員会、論文集編集委員会、論文奨励賞選考委員会の委員長、論文賞選考委員会の委員となること。
- 6 情報理事は、会員に地震工学およびその周辺の学術や技術等に関する情報提供を行ってコミュニケーションを促進させること、本学会の活動を広く一般に公表することを行う。学会誌の発行、JAEE NEWSLETTER の発行、JAEE ニュースの配信、Web の管理を行う。広報部会の部会長、会誌編集委員会、情報コミュニケーション委員会の委員長、論文賞選考委員会の委員となること。
- 7 事業理事は、大会、講習会に関する事項、地震工学の普及のための刊行事業、その他地震工学に関する啓発活動を行う。事業企画委員会、優秀発表賞選考委員会の委員長、大会実行委員会の委員長と副委員長となること。
- 8 調査研究理事は、地震工学分野の調査・研究を進展させ、調査・研究を広く国内外に還元して社会の地震防災性向上に貢献する事項を行う。研究委員会を設立し、研究委員会が初期の目的を達成できるように活動の評価、助言、指導、研究成果の普及のための刊行事業を行う。研究統括委員会、論文賞選考委員会の委員となること。
- 9 理事は、その他定款第3条に示される目的を達成するために設置される委員会の委員長や委員となること。

(監事の業務、権限)

第31条 監事は次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成すること。
  - (2) この法人の業務および財産を監査すること
  - (3) 総会および理事会に出席し、必要に応じて意見を述べること
  - (4) 理事が不正な行為をし、もしくはその恐れがあると認める場合、または法令もしくはこの定款に違反する事実または著しく不当な事実があると認めるときは、これを理事会に報告すること
  - (5) 前号の報告をするため必要がある場合は、会長に理事会の招集を請求すること。ただし、その請求があった日から5日以内に、2週間以内の日を理事会とする招集通知が発せられない場合は、直接理事会を招集すること
  - (6) 理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査し、法令もしくは定款に違反し、または著しく不当な事項があると認めるときは、その調査結果を総会に報告すること
  - (7) 理事がこの法人の目的の範囲外の行為その他法令もしくは定款に違反する行為をし、またはこれらの行為をする恐れがある場合において、その行為によってこの法人に著しい損害が生ずる恐れがあるときは、その理事に対し、その行為をやめることを請求すること。
  - (8) その他監事に認められた法令上の権限を行使すること。
- 2 監事は次に掲げる権限を持つ
- (1) 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。
  - (2) 監事の選任等に関する法令上の権限

## 第7章 雑則

(電磁的記録)

第32条 この規則において電磁的記録とは法人法第89条に定めるものとする。

(改 廃)

第33条 この規則の改廃は理事会の議決によるものとし、総会に報告する。

## 附則

- 1) この規則は、内閣総理大臣による公益認定を受けた日から施行される。

- 2) 公益認定を受けた日は、2013年5月1日である。
- 3) この規則の変更は2016年8月9日から施行する。

## 7. 日本地震工学会の出版物・発行物など

出版物在庫状況・頒布価格一覧（2020年10月20日現在）を示す[1]。

[1] 日本地震工学会：出版物在庫状況・頒布価格一覧，日本地震工学会ホームページ  
<https://www.jaee.gr.jp/wp-content/uploads/2012/02/HP%E7%94%A8%E5%87%BA%E7%89%88%E7%89%A9%E5%9C%A8%E5%BA%AB%E7%8A%B6%E6%B3%81%E9%A0%92%E5%B8%83%E4%BE%A1%E9%A1%8D-2020.10.20%E6%9B%B4%E6%96%B0.pdf>

表 7-1 刊行図書

刊行日	題目	在庫	頒布価格（税込み）		
			会員・法人 登録会員	非会員	学生会員
2006.06.20	性能規定型耐震設計現状と課題 （性能規定型耐震設計研究委員会編/鹿島出版会）	○	¥3,520	¥3,520	¥3,520
2014.03.01	東日本大震災合同調査報告 共通編 1 地震・地震動 （日本地震工学会発行/丸善出版発売）	○	¥6,600	¥8,800	¥6,600
2015.01.15	東日本大震災合同調査報告 原子力編 （日本地震工学会発行/丸善出版発売）	○	¥7,700	¥9,900	¥7,700

在庫説明：○在庫有り △在庫僅か

表 7-2 資料集・報告書

刊行日	題目	在庫	頒布価格（税込み）		
			会員・法人 登録会員	非会員	学生会員
2001.05.29	エルサルバドル地震・インド西部地震講演会	△	¥1,000	¥1,500	¥1,000
2003.01.31	第7回震災対策技術展 「地震調査研究の地震防災への活用」	○	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2003.02.07	第7回震災対策技術展 「第2回国土セイフティネットシンポジウム -広域・高密度リアルタイム地震ネット構築へ向けて」	○	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2005.04.04	2004年12月26日スマトラ島沖地震報告会梗概集	△	¥1,000	¥1,500	¥1,000
2007.03.01	地震工学系実験施設の現状と課題 平成18年度報告書	○	¥3,000	¥4,000	¥2,000
2007.10.26	基礎-地盤系の動的応答と耐震設計法に関する 研究委員会報告「基礎と地盤の動的相互作用を 考慮した耐震設計ガイドライン」(案)	△	¥2,000	¥3,000	¥1,000
2007.11.20	実例で示す木造建物の耐震補強と維持管理	○	¥2,000	¥3,000	¥1,000
2008.04.11	セミナー強震動予測レシピ 「新潟県中越沖地震や能登半島地震などに学ぶ」資料	○	¥2,000	¥3,000	¥1,000

2008.04.22	セミナー地震発生確率-理論から実践まで-	○	¥2,000	¥3,000	¥1,000
2008.05.31	津波災害の軽減方策に関する研究委員会報告書 (平成20年5月)	○	¥2,000	¥3,000	¥1,000
2009.02.23	セミナー(第2回) 「実務で使う地盤の地震応答解析」資料	△	¥2,000	¥3,000	¥1,000
2009.04.14	セミナー ー構造物の地震リスクマネジメントー	△	¥2,000	¥3,000	¥1,000
2011.10.21	講演会「東日本大震災の津波被害の教訓」	○	¥2,000	¥3,000	¥1,000
2011.12.14	「原子力発電所の地震安全問題に関する調査委員会」 報告書	○	¥8,000	¥10,000	¥8,000
2012.03.04	One Year after the 2011 Great East Japan Earthquake	○	¥3,000	¥3,000	¥1,500
2012.11.08	Proceedings of the first International Symposium on Earthquake Engineering	○	¥6,000	¥10,000	¥6,000
2013.01.24	東日本大震災と南海トラフの巨大地震	○	¥2,000	¥3,000	¥1,000
2013.02.15	東北地方太平洋沖地震の地震動と地盤に関する 国内ワークショップ	○	¥2,000	¥3,000	¥1,000
2013.10.23	システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性 評価研究委員会報告書	○	¥2,000	¥3,000	¥1,000
2014.03.20	原子力安全のための耐津波工学に関する シンポジウム	△	¥3,000	¥4,000	¥2,000
2014.07.31	津波対策とその指針に関する研究委員会報告書	△	¥5,000	¥7,000	¥3,000
2015.03.31	原子力安全のための耐津波工学 ー地震・津波防御の総合技術体系を目指してー	○	¥10,000	¥12,000	¥10,000
2015.05.15	2014年長野県北部の地震に関する調査団報告	○	¥3,000	¥5,000	¥1,500
2016.03.31	「首都圏における地震・水害等による複合災害への 対応に関する委員会」最終報告書	○	¥3,000	¥5,000	¥1,500
2016.03.31	津波などの突発大災害からの避難の課題と対策に 関する研究委員会報告書	○	¥3,000	¥5,000	¥1,500
2017.02.03	第7回震災予防講演会 「熊本地震に学ぶ首都圏の地震防災」	○	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2017.03.07	システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性 評価(Phase2)研究委員会報告書	○	¥3,000	¥4,000	¥1,000
2017.11.11	「強震動評価の為に表層地盤モデル化手法」講演会	○	¥7,000	¥10,000	¥3,000
2018.02.09	第8回震災予防講演会 過去の大震災の復興から学ぶ地震防災	○	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2018.03.19	シンポジウム 南海トラフ巨大地震の広域被災に 備える減災活動の現状と将来	○	¥5,000	¥7,000	¥2,000
2018.03.30	地域の災害レジリエンス評価に関する研究最終 報告書	○	¥3,000	¥4,000	¥1,000

2019.02.08	第9回震災予防講演会 近年の豪雨災害の教訓と震災予防	○	¥1,000	¥1,000	¥1,000
2019.03.04	シンポジウム 現代都市の複合システムにおける 性能設計と耐震性能評価	○	¥5,000	¥7,000	¥2,000
2019.06.27	日本地震工学会セミナー 「実務で使う地盤の地震応答解析」	○	¥8,000	¥12,000	¥2,000
2019.09.30	原子力発電所の地震安全の原則～地震安全の基本的 な考え方とその実践による継続的安全性向上～	○	¥5,000	¥7,000	¥3,000
2019.10.21	平成28年(2016年) 熊本地震とESG研究シンポジウム資料	○	¥6,000	¥9,000	¥3,000

在庫説明：○在庫有り △在庫僅か

表 7-3 定期刊行物

刊行日	題目	在庫	頒布価格(税込み)		
			会員・法人 登録会員	非会員	学生会員
2010.11.17	第13回日本地震工学シンポジウム(DVD版)	○	¥5,000	¥10,000	¥3,000
2014.12.06	第14回日本地震工学シンポジウム(DVD版)	○	¥5,000	¥10,000	¥3,000
2018.12.06	第15回日本地震工学シンポジウム(USB版)	○	¥5,000	¥10,000	¥3,000
2005.11.21	日本地震工学会大会-2005 梗概集 第4回	○	¥6,000	¥10,000	¥2,000
2008.11.03	日本地震工学会大会-2008 梗概集 第6回	○	¥5,000	¥10,000	¥2,000
2009.11.12	日本地震工学会大会-2009 梗概集 第7回	○	¥5,000	¥10,000	¥2,000
2011.11.10	日本地震工学会大会-2011 梗概集 第8回	○	¥5,000	¥10,000	¥2,000
2012.12.01	日本地震工学会大会-2012 梗概集 第9回	○	¥5,000	¥10,000	¥2,000
2013.11.12	日本地震工学会大会-2013 梗概集 第10回	○	¥5,000	¥10,000	¥2,000
2015.11.19	日本地震工学会大会-2015 梗概集 第11回	○	¥5,000	¥10,000	¥2,000
2017.11.13	日本地震工学会大会-2017 梗概集 第13回	○	¥5,000	¥10,000	¥2,000
2019.09.19	日本地震工学会大会-2019 梗概集 第14回	○	¥5,000	¥10,000	¥2,000
2017.06.30	日本地震工学会誌 No.31 特集： 地震リスクの評価・コンサルティング損害保険業界に おける実務のトレンド	○	¥2,000	¥3,000	¥2,000
2017.10.31	日本地震工学会誌 No.32 特集： 地震観測と構造物のヘルスマニタリング	○	¥2,000	¥3,000	¥2,000
2018.02.28	日本地震工学会誌 No.33 特集：ここまで見える！ リモートセンシングが拓く防災の新たな地平	○	¥2,000	¥3,000	¥2,000

2018.06.29	日本地震工学会誌 No.34 特集：南海トラフ地震対策 何が見直されたのか、どう備えるか	○	¥2,000	¥3,000	¥2,000
2018.10.31	日本地震工学会誌 No.35 特集： 首都直下地震 1.何が起きるのか	○	¥2,000	¥3,000	¥2,000
2019.02.28	日本地震工学会誌 No.36 特集： 首都直下地震 2.被害をどう把握するのか	△	¥2,000	¥3,000	¥2,000
2019.06.30	日本地震工学会誌 No.37 特集： 首都直下地震 3.被害にどう対応できるのか	△	¥2,000	¥3,000	¥2,000
2019.10.31	日本地震工学会誌 No.38 特集： 平成の地震工学を振り返る	△	¥2,000	¥3,000	¥2,000
2020.2.29	日本地震工学会誌 No.39 特集： 歴代会長にきく	○	¥2,000	¥3,000	¥2,000

在庫説明：○在庫有り △在庫僅か

## 8. 日本地震工学会の年表

2011年度から2019年度の各年度で行われた主要会務の年表を示す[1]。

- [1] 日本地震工学会：事業報告書，日本地震工学会ホームページ  
<https://www.jaee.gr.jp/jp/general/management/>

表 8-1 2011 年度（会長：川島 一彦）

04 月 01 日（金）	・平成 23 年度会費請求発送（正会員、学生会員、法人会員）
04 月 06 日（水）	・JAEE NEWS No.228 配信
04 月 07 日（木）	・拡大正副会長会議 久保会長、東畑副会長、中村総務理事、澤本総務理事、高田会計理事、東会計理事 鳴原事務局長
04 月 08 日（金）	・日本学術会議：東北関東（東日本）大震災総合対応に関する学協会連絡会（仮称）実務担当者連絡会（第 1 回）開催
04 月 14 日（木）	・会計税理士（涌井税務会計事務所）1 月～3 月定期監査実施及び平成 22 年度決算書作成
04 月 15 日（金）	・JAEE NEWS No.229 配信
04 月 19 日（火）	・会誌編集委員会開催 境理事・委員長、芝幹事他
04 月 20 日（水）	・事業企画委員会開催 木全理事・委員長他
04 月 27 日（水）	・監事監査会 井上監事、中村総務理事、澤本総務理事、高田会計理事、東会計理事、鳴原事務局長
05 月 02 日（月）	・JAEE NEWS No.230 配信
05 月 09 日（月）	・東日本大震災総合対応学協会連絡会実務担当者会議開催（第 2 回）
05 月 10 日（火）	・第 7 回理事会開催 久保会長、東畑副会長、運上副会長他
05 月 13 日（金）	・会計税理士監査（涌井税務会計事務所）4 月定期監査実施及び平成 22 年度決算に伴う税務関係書類作成
05 月 17 日（火）	・JAEE NEWS No.231 配信
05 月 19 日（木）	・第 2 回東北地方太平洋沖地震被害調査連絡会（6 学協会）開催 川島委員長・久保会長、高田理事他
05 月 20 日（金）	・システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長・理事、中村幹事・理事他
05 月 23 日（月）	・JAEE 臨時 NEWS 配信（第 2 回社員総会並びに講演会開催案内）
05 月 27 日（金）	・平成 23 年度 第 2 回社員総会及び講演会開催 日時：2011 年 5 月 27 日（金）13：30～19：00 場所：建築会館ホール（東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号） <input type="checkbox"/> 論文奨励賞授与式ならびに記念講演（13：30～13：45） 山田真澄氏（京都大学） 即時被害予測のための建物内地震動増幅度の簡易推定手法 <input type="checkbox"/> 社員総会（13：45～15：00） 1. 議案 第 1 号議案 平成 22 年度事業報告 第 2 号議案 平成 22 年度収支決算報告・平成 22 年度監査報告 第 3 号議案 平成 23 年度理事・監事の選任 第 4 号議案 平成 23 年度選挙管理委員会委員の選任 第 5 号議案 平成 23 年度事業計画 第 6 号議案 平成 23 年度収支予算 第 7 号議案 名誉会員の推挙 2. 名誉会員推挙式 <input type="checkbox"/> 講演会「東日本大震災の教訓」（15：15～17：15） 1. 「東日本大震災にどのように対応するのか」濱田政則（早稲田大学教授） 2. 「東日本大震災について―被災者・建築構造の立場から―」井上範夫（東北大学教授） 3. 「東日本大震災における都市ガスの被害状況と東京ガスで観測された地震データ」岸野洋也（東京ガス防災供給部長付） 4. 「JR 東日本における地震対策」荒井 稔（JR 東日本㈱総合企画本部技術企画部長兼 研究開発センター所長） <input type="checkbox"/> 懇親会：（17：30～19：00） <input type="checkbox"/> 出席者：総社員総数 1,184 名、出席社員数 703 名 出席代表理事（会長）久保哲夫氏、新代表理事（会長）川島一彦氏
06 月 01 日（水）	・JAEE NEWS No.232 配信

06月09日(木)	・会長関係理事打合せ 川島会長、芳村副会長、澤本理事、矢部理事、久保前会長、東畑前副会長、鳴原事務局長
06月14日(火)	・第8回理事会開催 川島会長、運上副会長、若松副会長、芳村副会長他
06月15日(水)	・JAEE NEWS No.233 配信
06月17日(金)	・事業企画委員会(第1回)開催 木全理事・委員長他
06月19日(火)	・第3回東北地方太平洋沖地震被害調査連絡会(6学協会)開催 川島委員長(本会会長)・若松委員(本会副会長)他関連学会委員
06月22日(水)	・研究統括委員会 若松副会長・委員長、研究委員会平成23年度新規 研究委員会募集について(メール審議)
06月27日(月)	・地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会 (第1回)山中理事・委員長他
06月28日(火)	・会計税理士監査(涌井税務会計事務所)5月定期監査実施
06月29日(水)	・論文集編集委員会開催 高橋理事・委員長他
07月01日(金)	・研究統括委員会 若松副会長・委員長、研究委員会 HP 更新とコンテンツの充実について (メール審議)
07月08日(金)	・会員理事打合せ 佐藤会員理事、渡壁会員理事、鳴原事務局長
07月12日(火)	・会誌編集委員会開催 齊藤理事・委員長他
07月15日(金)	・JAEE NEWS No.234 配信
07月20日(水)	・拡大正副会長会議 川島会長、運上副会長、若松副会長、芳村副会長他
07月21日(木)	・川島会長、日本建築学会和田会長、同災害委員会平田委員長、同真木専務理事、 鳴原事務局長 国際シンポジウム開催等について打合せ
07月26日(火)	・会計部会打合せ 東理事・部会長、大谷会計理事、澤本総務理事、鳴原事務局長、 江口氏(トーヨー企画)
07月27日(水)	・JAEE NEWS No.235 配信
08月01日(月)	・会誌編集委員会開催 齊藤理事・委員長他
08月09日(火)	・会計税理士監査(涌井税務会計事務所)6月定期監査実施
08月19日(金)	・事業企画委員会震災予防講演会企画部会開催(第1回)武村部会長、木全理事他
08月20日(土)	・第9回理事会開催 川島会長、運上副会長、若松副会長、芳村副会長他
08月24日(水)	・研究統括委員会 若松副会長・委員長、平成23年度研究委員会の募集締切延長について (メール審議)
08月27日(水)	・JAEE NEWS No.236 配信
08月30日(火)	・第4回東北地方太平洋沖地震被害調査連絡会(6学会)開催 川島委員長(本会会長)・若松委員(本会副会長)他関連学会委員
09月01日(木)	・会誌「震災特集号」No.15号 有識者による会誌座談会開催 司会本会：川島会長、対談：川島一彦会長・東京工業大学教授(本会・土木)若松 副会長・関東学院大学教授(地盤)、今村文彦東北大学教授(津波)、島崎邦彦東京大学 名誉教授(地震)、和田章東京工業大学名誉教授(建築)本会会誌編集委員会齊藤委員長、 同委員会千葉幹事 鳴原事務局長
09月09日(金)	・川島会長、和田章日本建築学会会長、国土交通省住宅局建築指導課長 井上勝徳氏訪問、 環境省水・大気環境局長鷺坂長美氏訪問 東日本大震災国際シンポジウム開催趣旨説明、 鳴原事務局長同行
09月12日(月)	・第1回広域・システム災害対応特別調査研究委員会開催 東畑委員長(前副会長)、 中村幹事(前総務理事)他
09月15日(木)	・津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会開催 松富委員長他
09月17日(土)	・東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会実務担当者連絡会(第3回)開催 中畑理事・鳴原事務局長
09月20日(火)	・システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長、 中村幹事他
09月24日(土)	・事業企画委員会震災予防講演会企画部会開催(第2回)武村部会長、木全理事他
09月27日(水)	・JAEE NEWS No.237 配信
09月30日(火)	・HP・サーバー更新に関する打合せ 澤本理事、矢部理事、鳴原事務局長
10月03日(金)	・研究統括委員会 若松副会長・委員長、新規委員会設置の承認(メール審議)

09月14日(水)	・会計税理士監査(涌井税務会計事務所)7・8月定期監査実施・上期会計書類及びデータ 検査実施
09月15日(木)	・JAEE NEWS No.238 配信 ・第5回東北地方太平洋沖地震被害調査連絡会(6学会)開催 川島委員長(本会会長)・若松委員(本会副会長)他関連学会委員
09月16日(金)	・澤本理事 本会規程類整理作業
09月20日(火)	・川島会長 東日本大震災国際シンポジウム打合せ
09月19日(月)	・カリフォルニア大学バークレイ校 Joseph Penzien 名誉教授逝去
09月22日(木)	・地震災害対応委員会開催 運上副会長・委員長、鹿嶋理事他 ・会員理事打合せ 佐藤理事、渡壁理事
09月27日(火)	・東日本大震災国際シンポジウム実行部会(第1回)開催 川島委員長(本会会長)、 若松委員(本会副会長) 関連学会実行部会委員
09月28日(水)	・第2回広域・システム災害対応特別調査研究委員会開催 東畑委員長(前副会長)、 中村幹事(前総務理事) 他 ・会誌編集委員会開催 齊藤理事・委員長他
09月29日(木)	・将来構想委員会開催 運上副会長他 ・第10回理事会開催 川島会長、運上副会長、若松副会長他
10月03日(月)	・JAEE NEWS No.239 配信
10月04日(火)	・事業企画委員会震災予防講演企画部会開催(第3回) 武村部会長他
10月07日(金)	・E-ディフェンス振動台実験見学会開催(企画:事業企画委員会) 岡崎幹事 場所:独立行政法人防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター(実験棟) ー長周期地震動による被害軽減対策ー 日時:平成23年10月7日(金)、13:45~16:30 参加者:50名
10月12日(水)	・Web化に関する打合せ 矢部総務理事、嶋原事務局長 ・大会若手論文発表優秀賞について打合せ 佐藤会員理事、渡壁会員理事
10月14日(金)	・会計税理士監査(涌井税務会計事務所)9月定期監査実施
10月17日(月)	・大会若手論文発表優秀賞について打合せ 佐藤会員理事、渡壁会員理事 ・JAEE NEWS No.240 配信
10月21日(金)	・事業企画委員会(第2回)開催 木全理事・委員長他 ・講演会「東日本大震災の津波被害の教訓」開催(企画:事業企画委員会) 日時:平成23年10月21日(金)、13:10~18:00 場所:建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20) 講師:松富英夫(秋田大学)、有川太郎(港湾空港技術研究所)、藤間功司(防衛大学)、 庄司学(筑波大学)、奥田泰雄(建築研究所)、中埜良昭(東京大学生産技術研究所) 参加者:160名
10月23日(日)	・トルコ地震発生
10月24日(月)	・本会トルコ地震「地震災害対応本部」設置 川島会長 ・会誌編集委員会開催 齊藤理事・委員長他
10月25日(火)	・Web化に関する業者ヒアリング(3社) 運上副会長、若松副会長、鹿嶋理事、矢部理事、 澤本理事、高橋理事、嶋原事務局長3業者
10月26日(水)	・大会若手論文発表優秀賞について打合せ 佐藤会員理事、渡壁会員理事
10月27日(木)	・大会実行委員会代々木青少年総合センター現地打合せ 鈴木大会実行委員他 嶋原事務局長 ・東日本大震災国際シンポジウム実行部会(第2回)開催 川島委員長(本会会長)、若松委員(本会副会長) 関連学会実行部会委員
11月01日(火)	・JAEE NEWS No.241 配信
11月04日(金)	・関東大震災講演会と追悼碑巡り開催(企画:事業企画委員会) 日時:平成23年11月4日(金) 13:30~16:45 場所:国際ファッションセンタービル10階 KFCHall ROOM 112(墨田区) 講演会:「現代東京に生きる関東大震災」 見学会:「震災慰霊碑巡り」 講師:武村雅之(小堀鐸二研究所)

<p>11月10日(木)</p>	<p>参加者：20名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会創立10周年記念式典開催       <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日時：2011年11月10日(木) 午前10:30～午後12:30</li> <li>2. 場所：東京・国立オリンピック記念青少年総合センター(センター棟)</li> <li>3. 式次第           <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶 日本地震工学会長 川島一彦(東京工業大学教授)</li> <li>歴代会長挨拶(東日本大震災を踏まえ、日本地震工学会の進むべき方向に対するご意見)</li> <li>青山博之元会長(東京大学名誉教授・日本建築学会)</li> <li>入倉孝次郎元会長(京都大学名誉教授・日本地震学会)</li> <li>鈴木浩平元会長(首都大学東京名誉教授・日本機械学会)</li> <li>土岐憲三元会長(京都大学名誉教授・土木学会)</li> </ul> </li> <li>4. 日本地震工学会功労賞 贈呈</li> </ol> </li> <li>・2011年日本地震工学会大会開催 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター(10日～12日) 大会実行委員会山中理事・委員長他</li> </ul>
<p>11月11日(金)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副会長会議開催 川島会長、運上副会長、若松副会長、芳村副会長、澤本理事、矢部理事</li> <li>・第11回理事会開催 川島会長、運上副会長、芳村副会長、若松副会長他</li> </ul>
<p>11月15日(火)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.242 配信</li> <li>・東日本大震災国際シンポジウム実行部会(第3回)開催 川島委員長(本会会長)、若松委員(本会副会長) 関連学会実行部会委員</li> </ul>
<p>11月21日(月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計税理士監査(涌井税務会計事務所)10月定期監査実施</li> <li>・Web化に関する打合せ 矢部理事、鹿嶋理事、Web選定業者</li> </ul>
<p>11月22日(火)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会論文集投稿規定改正について電子メール審議(理事会)(発議 若松副会長、高橋理事)</li> </ul>
<p>11月23日(水)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災国際シンポジウム実行部会(第4回)開催 川島委員長(本会会長)、若松委員(本会副会長) 関連学会実行部会委員</li> <li>・本会「トルコ地震の第2次調査団派遣団」検討開始を打診</li> </ul>
<p>11月24日(木)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川島会長、トルコ地震の第2次調査団派遣の調整開始を了承</li> <li>・トルコ地震の第2次調査団派遣団員募集メール発信</li> <li>・システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長、中村幹事他</li> </ul>
<p>11月25日(金)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌編集委員会開催 斉藤理事・委員長他</li> <li>・JAEE 臨時ニュース(日本地震工学会会誌 No.15 発行のお知らせ)</li> </ul>
<p>11月28日(月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トルコ地震の第2次調査団派遣団及び調査日程</li> </ul>
<p>11月29日(火)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築学会の調査団との協力体制の調整       <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調査派遣者           <ul style="list-style-type: none"> <li>沼田宗純氏(東京大学生産技術研究所助教)</li> </ul> </li> <li>2. 調査行程           <ul style="list-style-type: none"> <li>12月21日(水) 日本発</li> <li>12月22日(木)～12月25日(日) Van市を中心に現地調査</li> <li>12月26日(月) 現地発</li> <li>12月27日(火) 帰国</li> </ul> </li> <li>3. 日本建築学会の調査団との協力           <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の日本建築学会から派遣される調査団及びトルコ側と協力行動をとり、調査を実施する。</li> <li>・日本建築学会の調査団               <ul style="list-style-type: none"> <li>楠浩一氏(横浜国立大学工学部准教授)</li> <li>田才晃氏(横浜国立大学工学部教授)</li> <li>日比野陽氏(東京工業大学応用セラミックス研究所助教)</li> <li>渡邊秀和氏(広島大学工学研究院助教)</li> </ul> </li> <li>・トルコ側調査団</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul>

	<p>Alper Ilki 氏 (Istanbul 工科大学教授)  Kutay Orakcal 氏 (Bogazici 大学准教授)  Mucip Tapan 氏 (Yil 大学准教授)  Cem Demir 氏 (Istanbul 工科大学研究助手)  Mustafa Comert 氏 (Istanbul 工科大学研究助手)</p>
11月30日(水)	・大会若手論文発表優秀賞について打合せ 佐藤会員理事、渡壁会員理事
12月01日(木)	・JAEE 臨時ニュース (論文募集のお知らせ・「2011年東日本大震災」特集号)
12月02日(金)	・JAEE NEWS No.243 配信
12月03日(土)	・研究統括委員会 若松副会長・委員長 研究委員会関係規程精査 (メール審議)
	・東日本大震災国際シンポジウム実行部会 (第5回) 開催 川島委員長 (本会会長)、若松委員 (本会副会長) 関連学会実行部会委員
12月05日(月)	・会費未納者請求書発送 (正会員 83名 学生会員 42名)
12月12日(月)	・Web 打合せ 矢部理事、鹿嶋理事、業務委託業者
	・会計税理士監査 (涌井税務会計事務所) 11月定期監査実施
12月14日(水)	・JAEE 微動利用技術講習会開催 (企画: 事業企画委員会、微動利用技術研究 委員会研究成果報告 平成23年5月終了) 日時: 平成23年12月14日(水) 13:00~17:00 場所: 東京工業大学 大岡山キャンパス 本館1階 H112 講義室 講師: 森伸一郎 (愛媛大学)、盛川仁 (東京工業大学)、新井洋 (国土技術政策総合研究所)、長郁夫 (産業技術総合研究所)
	・JAEE NEWS No.244 配信
12月15日(木)	・研究統括委員会 若松副会長・委員長 研究統括委員会関係の運用規定細則の改定 (メール審議)
	・地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会 山中委員長、東理事・幹事他
12月21日(水)	
12月22日(木)	・第12回理事会開催 川島会長、運上副会長、芳村副会長、若松副会長他
12月26日(月)	・Web 打合せ 矢部理事、鹿嶋理事、業務委託業者
12月27日(火)	・津波対策とその指針に関する研究委員会開催 松富委員長他
12月28日(水)	・事務所御用納め
01月06日(金)	・事務所仕事始め
01月10日(火)	・2012年度大会会場代々木青少年センター会議室予約
01月16日(月)	・JAEE NEWS No.245 配信
	・会誌編集委員会開催 齊藤理事・委員長他
01月18日(水)	・東日本大震災国際シンポジウム実行部会 (第6回) 開催 川島委員長 (本会会長)、若松委員 (本会副会長)、運上委員 (本会副会長) 関連学会実行部会委員
01月27日(金)	・広域・システム災害対応特別調査研究委員会開催 東畑委員長他
01月31日(火)	・JAEE NEWS 臨時 (日本地震工学会表彰規定等の充実について)
02月01日(水)	・JAEE NEWS No.246 配信
02月02日(木)	・第16回震災対策技術展開催 式典、開会挨拶 若松副会長、木全理事出席、嶋原事務局長 (横浜コンベンションホール)
02月03日(金)	・第16回震災対策技術展展示出展 企画: 事業企画委員会 砂田事業企画委員会幹事、洞委員担当 (会期: 2月2日~3日)
	・東日本大震災国際シンポジウム実行部会 (第6回) 開催 川島委員長 (本会会長)、若松委員 (本会副会長)、運上委員 (本会副会長) 関連学会実行部会委員
	・第2回震災予防講演会開催 企画: 事業企画委員会開催 開会挨拶、川島会長、趣旨説明、木全理事他事業企画委員会委員 会場: パシフィコ横浜・アネックスホール2階203会場 司会 磯打千雅子 (講演会企画部会・日本シキヤ(株)) 開会挨拶 川島一彦 (日本地震工学会会長・東京工業大学) “ふりかえり”の重要性: 東日本大震災と関東大震災 武村雅之 (小堀鐸二研究所) 「東京湾における津波の経験と予測: 今後の津波対策に向けて」

	<p>柴山知也（早稲田大学理工学術院）  「横浜の関東大震災—その時、市民は？」  吉田律人（横浜市史資料室）  参加者：200名</p>
02月07日（火）	・会計税理士監査（涌井税務会計事務所）12月、01月 定期監査実施
02月16日（月）	・JAEE NEWS No.247 配信
02月20日（月）	・東日本大震災国際シンポジウム実行部会（第7回）開催 川島委員長（本会会長）、若松委員（本会副会長）、運上委員（本会副会長）関連学会実行部会委員
02月21日（火）	・原子力発電所の地震安全問題に関する調査委員会報告会開催 開会挨拶、川島会長、亀田弘行委員長他講師10名
02月22日（水）	・事業企画委員会開催 木全理事・委員長他 ・公益法人認定に関するヒアリング（公益）日本地震学会との開催 澤本総務理事、矢部総務理事、東会計理事、大谷会計理事、鳴原事務局長、日本地震学会理事、古村東大地震研究所教授、工藤事務局長
02月27日（月）	・会誌編集委員会開催 齊藤理事・委員長他 ・東日本大震災国際シンポジウム実行部会（第7回）開催 川島委員長（本会会長）、若松委員（本会副会長）、運上委員（本会副会長）関連学会実行部会委員
03月01日（木）	・JAEE NEWS No.248 配信
～	・東日本大震災国際シンポジウム開催（6学会主催）
03月04日（日）	川島実行委員長（本会会長）他主催学会代表委員
03月05日（月）	・16WCEE 打ち合わせ 川島会長、運上副会長、芳村副会長若松副会長、鳴原事務局長他 ・第13回理事会開催 川島会長、運上副会長、芳村副会長、若松副会長他
03月08日（木）	・Web 打合せ 矢部理事、鹿嶋理事、澤本理事、東理事、大谷理事、鳴原事務局長、業務委託業者
03月11日（日）	・研究統括委員会 若松副会長・委員長、研究統括委員会関係の規程および運用細則の改定について（メール審議）
03月14日（水）	・システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長、中村幹事他
03月15日（木）	・JAEE NEWS No.249 配信
03月16日（金）	・会誌編集委員会開催 齊藤理事・委員長他 ・津波対策とその指針に関する研究委員会開催 松富委員長他
03月21日（水）	・研究統括委員会 若松副会長・委員長、H23年度活動報告、H24年度活動計画について（メール審議）
03月22日（木）	・地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会 山中委員長、東理事・幹事他
03月23日（金）	・16WCEE 関係者打ち合わせ 川島会長、運上副会長、若松副課長、芳村副会長、鳴原事務局長、日本コンベンション(株)
03月28日（水）	・会計部会・総務部会合同開催 平成23年度決算案・平成24年度予算案審議東会計理事、大谷会計理事、澤本総務理事、矢部総務理事、鳴原事務局長 ・東日本大震災国際シンポジウム実行部会（第8回）開催 川島委員長（本会会長）、若松委員（本会副会長）、運上委員（本会副会長）関連学会実行部会委員
03月29日（木）	・7学会（第2回）東日本大震災合同調査報告書編集委員会開催 和田章委員長、川島本会会長他各関連学会代表委員 ・論文賞選考委員会開催 若松副委員長・委員長他関係理事
03月30日（金）	・会計税理士監査（涌井税務会計事務所）2月定期監査実施
03月31日（土）	・新サーバー切り替え実施他

表 8-2 2012 年度 (会長：川島 一彦)

04 月 02 日 (月)	・ JAEE NEWS No.250 配信
04 月 03 日 (火)	・ 日本学術会議・東日本大震災の総合対応に関する 24 学協会連絡会 開催 鳴原事務局長 (日本学術会議 6 階 6C 会議室 10 時 00 分～12 時 00 分)
04 月 05 日 (木)	・ 拡大正副会長会議開催 川島会長、運上副会長、芳村副会長、若松副会長、澤本、 矢部総務理事、東、大谷会計理事
04 月 06 日 (金)	・ 平成 23 年度日本地震工学会「論文賞受賞候補者」メール審議発信
04 月 09 日 (月)	・ 日本地震工学会提言に関する打ち合わせ 川島会長、東畑委員長他関係理事
04 月 11 日 (水)	・ 平成 23 年度日本地震工学会論文賞受賞者メール審議承認
04 月 16 日 (月)	・ 拡大正副会長会議開催 川島会長、運上副会長、若松副会長、澤本、矢部総務理事、東、 大谷会計理事
04 月 17 日 (火)	・ JAEE NEWS No.251 配信
04 月 25 日 (水)	・ 会誌編集委員会開催 齊藤理事・委員長他
04 月 26 日 (木)	・ 事業企画委員会開催 木全理事・委員長他 同清水建設技術研究所見学会実施
04 月 27 日 (金)	・ 第 1 回 16WCEE 誘致委員会開催 川島会長 (本会幹事学会) 他関係理事及び各団体関係 委員 ・ 平成 23 年度監事監査会開催 河村監事、翠川監事、東会計理事、大谷会計理事、 澤本総務理事、矢部総務理事、鳴原事務局長
05 月 01 日 (火)	・ 7 学会 (第 3 回) 東日本大震災合同調査報告書編集委員会開催 和田章委員長、川島本会会長他各関連学会代表委員
05 月 02 日 (水)	・ JAEE NEWS No.252 配信 ・ JAEE 臨時 NEWS 配信 (オンラインによる会員登録情報の更新開始お願い)
05 月 10 日 (木)	・ 第 14 回理事会開催第 川島会長、運上副会長、芳村副会長、若松副会長他
05 月 10 日 (木)	・ 第 14 回理事会開催 川島会長、運上副会長、芳村副会長、若松副会長他
05 月 14 日 (月)	・ 16WCEE 誘致委員会 (第 2 回) 開催 川島会長 他関係学会委員
05 月 14 日 (月)	・ 一般社団法人日本地震工学会第 3 回定時社員総会ならびに講演会 (通知) ・ 日本地震工学会提言打合せ 川島会長、東畑委員長 他関係委員
05 月 15 日 (火)	・ JAEE NEWS No.253 配信
05 月 15 日 (月)	・ 日本地震工学会提言「地震被害の軽減と復興に向けた提言－東日本大震災を受けて－」 メール審議発議
05 月 17 日 (火)	・ 日本地震工学会提言「地震被害の軽減と復興に向けた提言－東日本大震災を受けて－」 メール審議承認 (河村監事、翠川監事)
05 月 21 日 (月)	・ 日本地震工学会提言「地震被害の軽減と復興に向けた提言－東日本大震災を受けて－」 メール審議承認 (河村監事、翠川監事)
05 月 22 日 (火)	・ 平成 23 年度決算書類、税務計算書類、法人税申告業務について説明及び報告 涌井税務会計事務所 涌井茂氏、鳴原事務局長
05 月 24 日 (木)	・ 一般社団法人日本地震工学会 第 3 回社員総会ならびに講演会 日時：2012 年 5 月 24 日 (木) 13：30～19：00 場所：建築会館ホール (東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号) □講演会ならびに贈呈式 (13：30～15：30) 1. 基調講演 (13：30～14：00) 「今後懸念される巨大地震」阿部勝征 (東京大学名誉教授) 2. 功績賞贈呈式 (14：00～14：10) 正 会 員：武村雅之 (名古屋大学) 法人会員：(独) 防災科学技術研究所 3. 功労賞贈呈式 (14：10～14：20) 正 会 員：中村孝明 (篠塚研究所)、鹿嶋俊英 (建築研究所)、盛川仁 (東京工業大学) 4. 感謝状贈呈式 (14：20～14：30) 法人会員：東京電力(株)、東北電力(株)、中部電力(株)、日本原子力発電(株) 5. スペシャルアドバイザー委嘱式 (14：30～14：40) 名誉会員：小谷俊介 (東京大学名誉教授)、後藤洋三 (開発虎ノ門コンサルタント 特別技術顧問) 正 会 員：瀬尾和大 (東京工業大学名誉教授)、岩楯敏広 (首都大学東京名誉教授)、

	<p>田蔵隆（富山県立大学客員教授）、北浦勝（金沢大学名誉教授）、小川雄二郎（防災インターナショナル代表）、泉博允（成和コンサルタント(株)技師長）、佐伯光昭（(株)エイト日本技術開発最高顧問）、中山学（神戸学院大学・経営学部学際教育機構）、中田慎介（高知工科大学教授）、尾上篤生（興亜開発(株)技術顧問）</p> <p>6. 論文賞および論文奨励賞の贈呈式（14：40～14：45）</p> <p>7. 論文賞および論文奨励賞の記念講演</p> <p>〔論文奨励賞〕（14：45～15：10）</p> <p>□「経験的サイト増幅・位相特性を考慮した2008年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞地点での地震動の評価」 ：正会員 秦吉弥（日本工営(株)）</p> <p>□「2008年岩手・宮城内陸地震における一迫、衣川震度観測点のフーリエスペクトルと応答スペクトルの推定」 ：正会員 西川隼人（舞鶴工業高等専門学校）</p> <p>〔論文賞〕（15：10～15：30）</p> <p>□「確率的地震動予測図の検証」 ：正会員 石川裕（清水建設(株)）、正会員 奥村俊彦（清水建設(株)）、 正会員 藤川智（清水建設(株)）、正会員 宮腰淳一（清水建設(株)）、 正会員 藤原広行（(独)防災科学技術研究所）、 正会員 森川信之（(独)防災科学技術研究所）、正会員 能島暢呂（岐阜大学）</p> <p>□社員総会（15：40～17：40）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>開会</li> <li>会長挨拶</li> <li>議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1号議案 平成23年度事業報告</li> <li>第2号議案 平成23年度収支決算報告</li> <li>平成23年度監査報告</li> <li>第3号議案 平成24年度理事の選任</li> <li>第4号議案 平成24年度選挙管理委員会委員の選任</li> <li>第5号議案 平成24年度役員候補推薦委員会委員の選任</li> <li>第6号議案 平成24年度事業計画</li> <li>第7号議案 平成24年度収支予算</li> <li>第8号議案 公益社団法人への移行について</li> <li>第9号議案 名誉会員の推挙</li> </ul> </li> <li>名誉会員推挙式</li> <li>「東日本大震災を受けての日本地震工学会の提言」発表</li> </ol> <p>□懇親会（17：40～19：00）</p>
05月28日（月）	・本会業務委託に関する説明及び報告、松原亜由美氏と面談、矢部総務理事、鹿嶋理事、鳴原事務局長
05月29日（火）	・システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長、中村幹事他
05月30日（水）	・15WCEE 寄付に関するメール審議発議
06月01日（金）	・15WCEE 寄付に関するメール審議承認（河村監事、翠川監事） ・JAEE NEWS No.254 配信
06月05日（火）	・総務理事打合せ 矢部理事、福喜多理事、鳴原事務局長
06月08日（金）	・日本地震工学会、「原子力施設の被害編（仮称）」の編集委員会立上げによる打合せ 川島会長、若松副会長、亀田弘行（本会、前原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会委員長）和田章（日本建築学会会長）日本原子学会より高田毅士（東京大学）、野村進吾（原子力安全基盤機構）、蛭沢勝三（原子力安全基盤機構）、平野光将（東京都市大学）
06月11日（月）	・16WCEE 誘致委員会幹事打合せ 笠井委員 他関係委員 ・東日本大震災合同震災報告書編集委員会（第4回）開催 川島会長、若松副会長、他各学会関係委員

06月12日(火)	・16WCEE 誘致委員会(第3回)開催 川島会長 他関係学会委員
06月13日(水)	・電子広報委員会(第1回)開催 富田理事・委員長、他委員 矢部理事 ・会計税理士監査(涌井税務会計事務所)4,5月定期監査実施
06月14日(木)	・会誌編集委員会開催 斉藤理事・委員長他
06月15日(金)	・選挙管理委員会開催 渡壁理事、矢部理事 他委員 ・論文集編集委員会開催 高橋理事・委員長、若松副会長、永野理事 他委員 ・研究統括委員会メール審議(新規研究委員会企画書2件の審議・承認)
06月26日(火)	・事業企画委員会開催(第1回) 松田理事・委員長 他委員 ・第15回理事会開催 川島会長、芳村副会長、若松副会長、当麻副会長 他理事
07月03日(火)	・JAEE NEWS No.256 配信
07月09日(月)	・16WCEE 誘致委員会 WG 開催 小檜山委員 他関係学会委員 ・電子広報委員会開催 富田理事・委員長、矢部総務理事他
07月11日(水)	・日本地震学会・日本地震工学会 会長懇談会 出席：日本地震学会 加藤照之会長、岡元太郎常務理事、 日本地震工学会 川島会長、当麻副会長、矢部総務理事、福喜多総務理事、 鳴原毅事務局長
07月12日(木)	・役員候補推薦委員会開催 矢部理事・委員長他
07月13日(金)	・事業企画委員会講演会企画部会(第1回)開催 武村委員長、松田理事他 ・会誌編集委員会開催 斉藤理事・委員長他
07月17日(火)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査6月
07月19日(木)	・講習会「リモートセンシング技術の基礎と災害評価への応用」の開催 日時：平成24年7月19日(木)9:50~17:00 場所：キャンパスイノベーションセンター東京・田町1階国際会議室 講師：山崎文雄教授(千葉大学) 他リモートセンシング委員会松岡委員長他 参加者：45名
07月20日(金)	・将来構想委員会 当麻副会長・委員長、福喜多理事、大谷理事、鳴原事務局長 ・国際委員会開催 中埜理事・委員長、福喜多理事、岡崎委員、鳴原事務局長
07月24日(火)	・選挙管理委員会開催 渡壁理事・委員長他 ・第16回理事会開催 川島会長、芳村副会長、若松副会長、当麻副会長 他理事
07月27日(金)	・16WCEE 誘致委員会 WG 開催 川島会長他関係委員
07月30日(月)	・16WCEE 誘致委員会(第5回)開催 川島会長他関係学会委員
08月01日(水)	・津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会 (第1回) 後藤委員長他各委員 ・東日本大震災合同報告書作成委員会 原子力発電所の被害と復旧編 報告書作成委員会(第1回) 平野委員長、高田副委員長他委員
08月02日(木)	・会員部会開催 渡壁会員理事、加藤会員理事、鳴原事務局長
08月07日(火)	・公益社団法人化推進委員会開催 当麻副会長・委員長、矢部・福喜多総務理事、 大谷・矢代会計理事、東委員、澤本委員
08月22日(水)	・研究統括委員会 若松副会長・委員長 メール審議発議 議案：津波等の突発大災害からの 避難の課題と対策に関する研究委員会内規審議
08月26日(日)	・研究統括委員会「津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会内規」 メール審議決議 ・研究委員会運営規程の改定 若松副会長・委員長 メール審議発議
08月27日(月)	・研究委員会運営規程の改定 メール審議決議
08月28日(火)	・システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会 高田委員長他委員
08月29日(水)	・津波対策とその指針に関する研究委員会 松富委員長他委員
08月31日(金)	・E-ディフェンス 超高層建物加振実験見学会 兵庫耐震工学研究センター企画：事業企画委員会 参加者50名
09月03日(月)	・16WCEE 誘致委員会 WG 開催 川島会長他関係委員
09月04日(火)	・会誌編集委員会開催 斉藤理事・委員長他委員 ・会計部会 公益法人会計に関する打合せ 当麻副会長、大谷理事、矢代理事、鳴原事務局長
09月07日(金)	・選挙管理委員会開催 渡壁理事・委員長他

09月06日(木)	・地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会
09月10日(月)	・JAEE NEWS No.257 配信 ・16WCEE 誘致委員会(第6回)開催 川島会長他関係学会委員 ・第17回理事会開催 川島会長、芳村副会長、若松副会長、当麻副会長 他理事予定 ・事業企画委員会講演会企画部会開催 武村委員長他委員
09月11日(火)	・川島会長メール審議発議 議案:IAEE 支援委員会(仮称)の設置について
09月12日(水)	・JAEE NEWS 臨時配信 中国内陸部の雲南省地震について
09月14日(金)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 8月
09月19日(水)	・メール審議 議案:IAEE 支援委員会(仮称)の設置について決議
09月20日(木)	・第18回 震災対策技術展、本会出展等に関する事務局担当者との打合せ 鳴原事務局長
09月24日(月)	・第15回世界地震工学会議(15WCEE)開幕(24日~28日 Lisbon-Portugal)
09月26日(水)	・JAEE NEWSLETTER 創刊(第1号) ・JAEE NEWS 臨時配信(JAEE NEWSLETTER 創刊のお知らせ)
10月01日(月)	・平成24年度役員選挙告示(会長、監事)に伴う役員選挙実施 (選挙規程第5条による「正会員」9月30日付資格者1141名、投票依頼状発送) ・JAEE NEWS No.258 配信
10月02日(火)	・平成24年度会員名簿掲載(ホームページ会員限定)
10月03日(水)	・会誌編集委員会開催 齊藤理事・委員長他委員
10月05日(金)	・公益法人化会計に関する税理士との打合せ 税理士 涌井茂氏、当麻副会長、大谷会計理事、矢部総務理事、福喜多総務理事、鳴原事務局長
10月10日(水)	・第2回 東日本大震災合同報告書作成委員会 (原子力発電所の被害と復旧編) 平野委員長、高田幹事他関係委員 ・2012年度大会実行委員会開催 五十田理事・委員長他委員
10月16日(火)	・第2回 津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会開催 後藤委員長他関係委員
10月18日(木)	・移行申請に関する基礎的研修会開催 内閣府公益認定等委員会事務局主催 鳴原事務局長出席
10月22日(月)	・国際シンポジウム開催 清野理事・委員長打合せ
10月23日(火)	・メール審議「JAEE 大会2012の講演プログラム承認について」発議
10月25日(木)	・臨時社員総会開催案内(Web発信)(正会員・法人会員)
10月30日(火)	・メール審議承認「JAEE 大会2012の講演プログラム承認について」
10月31日(水)	・平成24年度役員選挙投票締切(会長候補、監事候補)
11月01日(木)	・メール審議 地震工学者の役割について意見表明(2009年イタリア・ラクイラ地震に関連した科学技術者に対する有罪判決について) 川島会長発議 ・JAEE NEWS No.259 配信
11月05日(月)	・選挙管理委員会開催 渡壁理事・委員長他委員
11月08日開幕 ~	・2012年日本地震工学会大会開催 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター (8日~10日)大会実行委員会五十田理事・委員長他
11月10日閉幕	・第1回国際シンポジウム開催 (京・国立オリンピック記念青少年総合センター(8日~10日))
11月09日(木)	・臨時社員総会開催 日時:平成24年11月9日(金) 場所:国立オリンピック記念青少年総合センター(センター棟会議室) 議案:公益認定申請に伴う定款の改定
11月10日(土)	・正副会長会議 川島会長、芳村副会長、若松副会長、当麻副会長他 ・第18回理事会開催 川島会長、芳村副会長、若松副会長、当麻副会長他 ・ラクイラ地震裁判に対するJAEEの意見表明(英語版)メール審議承認
11月13日(火)	・平成24年度役員選挙(会長、監事)結果報告及びHP告示 ・東日本大震災合同震災報告編集委員会(第6回)開催 本会川島会長、若松副会長他各団体委員 ・「震災対策技術展」について意見照会 川島会長発議
11月20日(火)	・【メール審議】国際会議「確率論的安全評価と管理に関するトピカル会議の後援について

11月21日(水)	<p>発信：福喜多総務理事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「西大阪における津波・高潮対策施設見学会」実施 企画：事業企画委員会 参加者 20名 (場所：JR 大阪環状線 尻無川アーチ型水門，尻無川鉄扉，津波・高潮ステーション)</li> <li>・【メール審議】WEB アンケートにかかる費用負担について</li> </ul>
11月28日(水)	<p>発信：福喜多総務理事 同 11月22日付メール審議承認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震災対策技術展事務局と本会との打合せ 川島会長、矢部総務理事、福喜多総務理事、嶋原事務局長、震災対策技術展事務局、井手氏、山城氏、田屋氏、東條氏</li> <li>・システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長他委員</li> <li>・公益社団法人化推進委員会開催 当麻副会長、矢部総務理事、福喜多総務理事、大谷会計理事、嶋原事務局長</li> </ul>
11月29日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本学術会議主催学術フォーラム(第8回)「巨大災害から生命と国土を護る—三十学会からの発信—」開催 本会代表川島会長、記録、福喜多理事、嶋原事務局長</li> </ul>
11月30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16WCEE 誘致委員会開催 川島会長、他委員</li> </ul>
12月03日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web カード決済によるシステム構築打合せ 矢代会計理事、嶋原事務局長、江口氏(トヨコ企画代表)</li> <li>・JAEE NEWS No.260 配信</li> </ul>
12月04日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会功績賞・功労賞選考委員会開催 □功績賞選考委員会委員(川島会長、若松副会長、芳村副会長、当麻副会長、矢部理事、渡壁理事、加藤理事) □功労賞選考委員会委員(川島会長、若松副会長、芳村副会長、当麻副会長)</li> </ul>
12月06日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会(第1回)開催 亀田委員長、他委員</li> <li>・津波対策とその指針に関する研究委員会開催 松富委員長、他委員</li> <li>・東日本大震災によるライフライン被害データベース検討委員会開催 楢田委員長 他委員</li> </ul>
12月07日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益法人申請に伴う会計書類精査 涌井税理士、嶋原事務局長</li> <li>・公益社団法人化推進委員会 公益法人申請書類最終確認及び電子申請実行 当麻副会長・委員長</li> <li>・第19回理事会開催 川島会長、若松副会長、当麻副会長他</li> </ul>
12月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画委員会開催 松田理事・委員長 他委員</li> </ul>
12月18日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【メール審議】国際会議「確率論的安全評価と管理に関するトピカル 会議：福島第一原子力発電所事故について(Tokyo PSAM2013) 後援について 発議：当麻副会長</li> <li>・第17回震災対策技術展開催に伴う協定書打合せ 矢部理事、嶋原事務局長、震災対策技術展事務局 山城氏、東條氏</li> </ul>
12月19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回 津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会開催後藤委員長 他委員</li> </ul>
12月20日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回 東日本大震災合同報告書作成委員会開催 (原子力発電所の被害と復旧編) 平野委員長、高田幹事他関係委員</li> </ul>
12月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌編集委員会開催 斉藤理事・委員長 他委員</li> </ul>
12月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌第18号 座談会「東日本大震災から次の巨大地震へ」 和田章 先生(東京工業大学名誉教授) 瀧藤一起先生(東京大学地震研究所教授) 安田進 先生(東京電機大学教授) 高橋重雄理事長((独)港湾空港技術研究所理事長) 川島一彦先生(本会会長 東京工業大学教授) 司会 斉藤大樹(本会理事・会誌編集委員会委員長)</li> </ul>
12月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会(第2回)開催 亀田委員長、他委員</li> </ul>
12月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所御用納め</li> </ul>
01月09日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災対策技術展と本会との協力協定書締結 川島会長、矢部総務理事、福喜多総務理事、</li> </ul>

01月10日(木)	<p>鳴原事務局長、震災対策技術展事務局、井手氏、山城氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災合同震災報告編集委員会(第7回)開催 本会川島会長、若松副会長他各団体委員</li> </ul>
01月11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.261 配信</li> </ul>
01月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌編集委員会開催 齊藤理事・委員長 他委員</li> </ul>
01月21日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人化推進委員会 公益法人修正申請書類作成及び電子申請実行 当麻副会長・委員長他委員</li> </ul>
01月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災と南海トラフの巨大地震講習会開催 (企画:事業企画委員会) 講師 庄司学(筑波大)他9名 会場 建築会館ホール 13時~17時30分 参加者 110名</li> <li>・日本地震工学シンポジウム開催方向について打合せ 川島会長、若松副会長、山崎千葉大学教授</li> </ul>
02月01日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.262 配信</li> </ul>
02月07日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第17回震災対策技術展開催 川島会長開会挨拶</li> <li>・第17回震災対策技術展本会展示出展07日~08日</li> </ul>
02月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学シンポジウム剰余金会計処理に関する打ち合わせ 涌井税理士、矢部総務理事、大谷会計理事、鳴原事務局長</li> <li>・会誌編集委員会開催 齊藤理事・委員長他委員</li> </ul>
02月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール審議:全国地質調査業協会連合会より 協議会設立 「(仮称)地質・地盤情報活用協議会設立依頼について」決議</li> </ul>
02月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の進め方について 安田次期会長、矢部総務理事、福喜多総務理事、鳴原事務局長</li> </ul>
03月04日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益法人修正申請通知受領 内閣府公益等認定委員会担当官より 公益社団法人化推進委員会当麻副会長、矢部総務理事、大谷会計理事対応</li> <li>・JAEE NEWS No.263 配信</li> </ul>
03月06日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益法人申請修正作業 大谷理事、鳴原事務局長</li> <li>・システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長他委員</li> </ul>
03月11日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学シンポジウム会計処理について 川島会長、安田次期会長、矢部総務理事、大谷会計理事 鳴原事務局長</li> </ul>
03月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画委員会開催 松田理事・委員長 他委員</li> </ul>
03月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災合同震災報告編集委員会(第8回)開催 本会川島会長、若松副会長他各団体委員</li> </ul>
03月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文賞選考委員会開催 若松副会長・委員長他委員</li> </ul>
03月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌編集委員会開催 齊藤理事・委員長他委員</li> </ul>
03月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波対策とその指針に関する研究委員会 松富委員長他委員</li> </ul>
03月29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会 (第3回)開催 亀田委員長、他委員</li> <li>・第20回理事会開催 川島会長、芳村副会長、若松副会長、当麻副会長他理事</li> </ul>

表 8-3 2013 年度（会長：安田 進）

04 月 05 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査（3 月）及び平成 24 年度決算書監査</li> <li>・情報コミュニケーション委員会開催 富田理事・委員長他委員</li> </ul>
04 月 10 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務・会計合同部会開催</li> <li>平成 24 年度事業報告・収支決算、平成 25 年度事業計画・収支予算について</li> <li>矢部理事、福喜多理事、大谷理事、矢代理事、嶋原事務局長</li> </ul>
04 月 11 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報コミュニケーション委員会開催 富田理事・委員長他委員</li> <li>・正副会長会議開催 川島会長、芳村副会長、若松副会長、当麻副会長、安田次期会長、矢部理事、福喜多理事、大谷理事、矢代理事</li> </ul>
04 月 13 日（土）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・淡路島付近を震源とするマグニチュード 6.3（暫定値）の地震発生</li> </ul>
04 月 16 日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イランとパキスタンの国境付近での地震発生</li> </ul>
04 月 17 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益法人認可に伴うホームページ対応について 矢部理事、福喜多理事、ホームページ委託業者 ソフトコミュニケーションズ（株） 柄澤氏、嶋原事務局長</li> <li>・JAEE NEWS No.264 配信</li> </ul>
04 月 18 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 21 回理事会開催 川島会長、芳村副会長、若松副会長、当麻副会長他理事</li> </ul>
04 月 19 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会開催 山中委員長他委員</li> </ul>
04 月 25 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年度監事監査会 開催</li> </ul>
04 月 26 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府公益認定等委員会 一般社団法人日本地震工学会申請の公益社団法人日本地震工学会移行の諮問を認定、内閣総理大臣に答申</li> </ul>
05 月 01 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府公益認定等委員会事務局にて内閣府担当官より認定書交付</li> <li>・日本地震工学会全会員に公益社団法人移行へのニュース配信</li> <li>・日本地震工学会ホームページ公益社団法人への表記全面変更、告知表示</li> <li>・公益社団法人日本地震工学会の登記申請（法務局）</li> <li>・JAEE NEWS No.265 配信</li> </ul>
05 月 09 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回日本地震工学シンポジウム運営委員会開催</li> <li>山崎委員長、共催団体推薦委員、本会若松副会長、福喜多理事、安田次期会長</li> <li>・第 1 回公益社団法人日本地震工学会理事会開催 川島会長、若松副会長、当麻副会長他</li> </ul>
05 月 14 日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌編集委員会開催 斉藤理事・委員長他委員</li> </ul>
05 月 16 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査（4 月）及び平成 25 年 4 月分決算書監査</li> <li>・原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会（第 3 回）開催 亀田委員長他委員</li> </ul>
05 月 23 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会確認、事務局体制について打合せ 矢部理事、福喜多理事、嶋原事務局長</li> </ul>
05 月 24 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回公益社団法人日本地震工学会社員総会開催</li> <li>日時：2013 年 5 月 24 日（金）10:30～19:00</li> <li>場所：建築会館ホール（東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号）</li> </ul>
05 月 30 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局後任体制と今後について</li> <li>安田会長、矢部総務理事、大谷会計理事、福喜多総務理事、矢代会計理事、嶋原事務局長</li> </ul>
06 月 03 日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.266 配信</li> </ul>
06 月 04 日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25 年度代表理事、新任理事登記</li> </ul>
06 月 05 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局後任体制打合せ 福喜多理事、新海理事、嶋原事務局長、吹野臨時職員</li> </ul>
06 月 06 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査（5 月）</li> </ul>
06 月 09 日（日）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副会長会議 安田会長、当麻副会長、山崎副会長、福和副会長、福喜多総務理事、新海総務理事、嶋原事務局長</li> </ul>
06 月 12 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会（第 4 回）開催 亀田委員長他委員</li> </ul>
06 月 14 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画打合せ 福喜多総務理事、鳥井事業理事、境事業理事 嶋原事務局長</li> </ul>
06 月 17 日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌編集委員会開催 久田理事・委員長他委員</li> </ul>
06 月 20 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会 山中委員長他委員</li> </ul>
06 月 21 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災合同震災報告編集委員会（第 9 回）開催</li> <li>和田章委員長、川島一彦副委員長、他各団体委員</li> </ul>

06月26日(水)	・論文集編集委員会開催 久田理事・委員長他委員
06月27日(木)	・第2回公益社団法人日本地震工学会理事会開催 安田会長、当麻副会長、山崎副会長、福和副会長他理事
	・涌井税務会計事務所 平成25年4月分決算処理監査
06月28日(金)	・JAEE NEWSLETTER 第4号発行(2013年6月28日発行)
07月01日(月)	・第2回日本地震工学シンポジウム運営委員会開催 山崎副会長・委員長、塚本理事・委員他各団体委員
07月02日(火)	・インドネシアスマトラ島アチェ州地震発生 地震災害対応委員会 田村理事対応 全会員にニュース配信
	・JAEE NEWS No.267 配信
07月05日(金)	・会誌編集打合せ 久田理事・委員長、南雲幹事他
07月10日(水)	・大会実行委員会(第1回)開催 古屋理事・委員長、清田理事・副委員長他委員
07月12日(金)	・東日本大震災合同調査報告書委員会(原子力編)開催 平野委員長、高田幹事他
	・選挙管理委員会開催 加藤理事他委員
07月13日(土)	・本会共催事業「ジョン・ミルン」特別イベント講演&トークショー開催 講師:本会名誉会員柴田明德先生他
07月16日(火)	・東日本大震災によるライフライン被害データベース検討委員会開催 鎌田委員長他委員
	・会誌編集委員会開催 久田理事・委員長他委員
07月18日(水)	・役員候補推薦委員会開催 福喜多理事他委員
07月19日(金)	・事務パート面接 嶋原事務局長
07月22日(月)	・第6回耐津波工学委員会開催 亀田委員長他委員
	・大会実行委員会総務部会開催 境部会長他
	・会計監査 涌井税務会計事務所 6月定期監査
	・中国内陸部の甘粛省発生 地震災害対応委員会 田村理事・委員長対応
07月24日(水)	・事業企画に関する打ち合わせ 当麻副会長、福和副会長、鳥井理事、境理事、福喜多理事、新海理事
	・東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会幹事会、連絡会実務担当者開催
07月25日(木)	・情報コミュニケーション委員会開催(IC委員会) 富田理事・委員長他委員
07月29日(月)	・事務パート面接 嶋原事務局長
07月30日(火)	・地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会 (ESG研究委員会)開催 山中委員長他委員
08月01日(木)	・JAEE NEWS No.268 配信
	・第3回公益社団法人日本地震工学会理事会開催 安田会長、当麻副会長、山崎副会長、福和副会長他理事
08月02日(金)	・津波対策とその指針に関する研究委員会 松富委員長他委員
	・事務パート面接 嶋原事務局長
08月09日(金)	・2013年度 日本地震学会・日本地震工学会会長懇談会
08月14日(水)	・東日本大震災合同震災報告編集委員会(第10回)開催 和田章委員長、川島一彦副委員長、他各団体委員
08月20日(火)	・役員候補推薦委員会開催 福喜多理事他委員
08月26日(月)	・「E-ディフェンス 免震建物加振実験見学会」開催 本会主催 (於 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター) 参加者36名
08月27日(火)	・関東地震90周年記念シンポジウム～過去に学び未来に備える～開催 共催 本会、日本地震学会 講師安田会長他、福喜多理事他理事出席
09月02日(月)	・日本地震工学シンポジウム学術部会開催
09月05日(木)	・地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会 山中委員長他委員
09月06日(金)	・会計監査 涌井税務会計事務所 7月、8月定期監査
	・原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会開催 亀田委員長他委員
	・JAEE NEWS No.269 配信
09月09日(月)	・第3回日本地震工学シンポジウム運営委員会開催 山崎副会長・委員長、塚本理事・委員他各団体委員

09月11日(水)	・会誌編集委員会開催 久田理事・委員長他委員
09月17日(火)	・日本学術会議 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会実務担当者会議開催 和田章委員長、本会当麻副会長、福喜多総務理事、嶋原事務局長
09月18日(水)	・第4回公益社団法人日本地震工学会理事会開催 安田会長、当麻副会長、山崎副会長、福和副会長他理事
09月20日(金)	・第3回役員候補推薦委員会開催 若松委員長、福喜多理事他委員
09月24日(火)	・「表層地盤が強震動に及ぼす影響に関する国際ワークショップ」開催 本会主催 (於 政策研究大学院大学(六本木)) 山中浩明委員長他委員 参加者 53名 ・JAEE-ESG/IWSMRR 合同交流会 (18時00分～20時00分) 参加者 35名 ・パキスタン南部でマグニチュード7.7の地震発生 地震災害対応委員会 田村理事対応 全会員にニュース配信
09月25日(水)	・「10th IWSMRR Second Circular」開催 本会共催 (於 政策研究大学院大学(六本木)) 横井理事他 参加者 40名
09月30日(月)	・JAEE NEWSLETTER 2013年9月号 (Vol.2 No.3) 刊行
10月01日(火)	・正会員 スペシャルアドバイザー 佐伯光昭氏逝去、葬儀(10月4日) 安田会長弔電 ・JAEE NEWS No.270 配信
10月11日(金)	・2013年日本地震工学会役員選挙 立候補受付開始
10月15日(火)	・将来構想委員会開催 当麻副会長、各関係担当理事 ・理論応用力学講演会コンタクト委員に関するメール審議発議 ・「システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会」セミナー (10月23日) 開催についてメール審議発議
10月18日(金)	・フィリピン中部のボホール島でマグニチュード7.1の地震が発生 地震災害対応委員会 田村理事対応 全会員にニュース配信
10月21日(月)	・会誌編集委員会開催 久田理事・委員長他委員 ・情報コミュニケーション委員会開催 (IC委員会) 富田理事・委員長他委員 ・理論応用力学講演会コンタクト委員に関するメール審議承認 (五十嵐監事、田蔵監事) ・「システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会」に関するセミナー (10月23日) の開催についてメール審議承認 (五十嵐監事、田蔵監事)
10月22日(火)	・2013年度大会実行委員会開催 古屋理事・委員長他委員
10月23日(水)	・「システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価に関するセミナー」開催 本会主催 高田一委員長、幹事 中村孝明他 参加者 45名
10月25日(金)	・第1回2020年WCEE日本誘致に関する懇談会 中島誘致委員長他 ・2013年度大会実行委員会開催 古屋理事・委員長他委員
10月28日(月)	・総務理事打合せ 福喜多理事、新海理事、嶋原事務局長
10月29日(火)	・ESG調査委員会開催 山中委員長、横井理事他委員 ・震災予防講演会WG開催 宮腰主査他委員
10月31日(木)	・耐津波工学委員会開催 亀田委員長、東喜三郎幹事他 ・2013年日本地震工学会役員選挙 立候補受付締切
11月01日(金)	・JAEE NEWS No.271 配信
11月05日(火)	・第2回2020年WCEE日本誘致に関する懇談会 中島誘委員長、安田会長、山崎副会長他
11月06日(水)	・第4回日本地震工学シンポジウム運営委員会開催 山崎副会長・委員長、塚本理事・委員他各団体委員 ・事業企画委員会開催 鳥井理事・委員長、福和副会長、境理事他委員 ・第3回選挙管理委員会 加藤理事・委員長他委員 ・学会財政について打ち合わせ 当麻副会長、矢代会計理事、和泉会計理事、福喜多総務理事、新海総務理事
11月11日(月)	・震災対策技術展実行委員会開催 安田会長、濱田委員長他
11月11日(月) ～	・第13回日本地震工学シンポジウム開催(於 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター) 大会実行委員会 古屋理事・委員長他
11月12日(火)	・第2回国際シンポジウム開催(於東京・国立オリンピック記念青少年総合センター) 国際 研究発表会実施委員会 清野理事・委員長他
11月13日(水)	・第5回公益社団法人日本地震工学会理事会開催

11月14日(木)	安田会長、当麻副会長、山崎副会長、福和副会長他理事 ・第7回東日本大震災によるライフライン被害データベース検討委員会開催 鎌田委員長 他委員
11月18日(月)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査(9月、10月)
11月22日(金)	・日本地震工学会論文集 第13巻第5号 刊行
12月01日(日)	・次期会長(2015年6月から2年間の任期)役員選挙実施(「正会員」11月30日付資格者 1160名、投票依頼状発送)
12月02日(月)	・「南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか」シンポジウム開催 本会共催 日本学術会議 主催(於 日本学術会議講堂(六本木)) 当麻副会長、福喜多理事 他
12月03日(火)	・JAEE NEWS No.272 配信
12月06日(金)	・会長・総務理事打合せ 安田会長、福喜多理事、新海理事、嶋原事務局長 ・第6回会誌編集委員会開催 久田理事・委員長他委員
12月09日(月)	・原子力安全のための耐津波工学委員会開催 亀田委員長他 ・総務理事打合せ 新海理事、嶋原事務局長
12月10日(火)	・日本地震工学会・東日本大震災合同報告書編集委員会開催 川島委員長他
12月11日(水)	・第3回大会実行委員会開催 古屋理事・委員長他委員
12月13日(金)	・丸善出版株式会社と本会が発行する出版物の販売契約を締結 ・「次期 会長候補選挙の投票についてのお願い」メール配信
12月18日(水)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査(11月) ・第6回公益社団法人日本地震工学会理事会開催 安田会長、当麻副会長、山崎副会長、福和副会長他理事
12月19日(木)	・第9回耐原子力安全のための耐津波工学委員会開催 亀田委員長他 ・第11回東日本大震災合同報告書編集委員会開催 和田委員長他
12月26日(木)	・第2回津波対策とその指針に関する研究委員会開催 松富委員長他
12月27日(金)	・JAEE NEWSLETTER 2013年12月号(Vol.2 No.4) 刊行
01月06日(月)	・JAEE NEWS No.273 配信
01月07日(火)	・予算に関する打合せ 安田会長、当麻副会長、福喜多理事、新海理事、矢代理事
01月10日(金)	・選挙管理委員会開催 加藤理事・委員長他委員 ・第2回事業企画委員会開催 鳥井理事・委員長、境理事他委員
01月14日(火)	・平成26年度会長選挙結果報告及びHP 告示
01月15日(水)	・第2回日本地震工学会・東日本大震災調査報告書編集委員会 川島委員長他委員
01月17日(金)	・IAEE 事務局支援委員会打合せ 芳村委員長ほか
01月20日(月)	・第1回17WCEE 招致委員会開催 安田会長、山崎副会長他委員
01月22日(水)	・監事 田蔵隆氏 逝去、葬儀(2月25日) 安田会長弔電 ・東日本大震災合同報告書編集委員会 原子力編打ち合わせ 川島委員長他
01月24日(金)	・東日本大震災によるライフライン被害データベース検討委員会 鎌田委員長他
01月30日(木)	・【メール審議】寄附制度の設置について発議
02月03日(月)	・予算に関する打合せ 矢代理事、和泉理事、福喜多理事、新海理事
02月04日(火)	・JAEE NEWS No.274 配信
02月06日(木)	・日本地震工学会論文集 第14巻第1号 刊行 ・第18回震災対策技術展開催 安田会長開会式参列
02月07日(金)	・命を守る避難の課題 講演会開催 主催：本会 日時：2013年2月8日(金) 10:30～12:00 場所：パシフィコ横浜・アネックスホール2階203会場 講師：後藤洋三(津波などの突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会 委員長)、久田理事他 参加者：180名 ・第4回震災予防講演会開催「人と自然歴史に学ぶ防災論」 主催：本会 後援：日本地震学会他 日時：2013年2月8日(金) 13:00～16:30

	<p>場所：パシフィコ横浜・アネックスホール 2 階 203 会場  講師：武村雅之（名古屋大学減災連携研究センター教授）他  参加者：170 名</p>
02 月 10 日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄附制度の設置についてのメール審議承認（五十嵐監事）</li> </ul>
02 月 12 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 功績賞・功労賞選考委員会開催  安田会長、当麻副会長、山崎副会長、福喜多理事、加藤理事、松田理事</li> </ul>
02 月 14 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 6 回会誌編集委員会開催 久田理事・委員長他</li> </ul>
02 月 18 日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算に関する打合せ 福喜多理事、新海理事、矢代理事、和泉理事</li> </ul>
02 月 20 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東日本大震災合同報告書の販売に関する打合せ 丸善出版（株）大石氏、鳴原事務局長他</li> </ul>
02 月 24 日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子力安全のための耐津波工学委員会開催 亀田委員長他</li> </ul>
02 月 26 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 14 回日本地震工学シンポジウム 第 1 回幹事会開催  山崎副会長・委員長、塚本理事 他委員</li> </ul>
02 月 27 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 回拡大正副会長会議 安田会長、山崎副会長、当麻副会長、福和副会長、福喜多理事、新海理事、矢代理事、和泉理事</li> </ul>
02 月 28 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本地震工学会誌 No.21（2014 年 2 月）刊行</li> </ul>
03 月 01 日（土）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東日本大震災合同調査報告 &lt;共通編 1 地震・地震動&gt; 刊行  編集：東日本大震災合同調査報告書編集委員会  発行：日本地震工学会（発行部数 1,000 部）  販売：丸善出版株式会社</li> </ul>
03 月 10 日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「避難の研究委員会」ワークショップ 2014 開催  主催：日本地震工学会「津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会」  場所：工学院大学 20 階 第 6 会議室  講師：関本義秀（東京大学）久田嘉章、他  参加者：50 名</li> </ul>
03 月 12 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 回 WCEE 招致委員会開催 中島委員長、安田会長、山崎副副会長、福和副会長他</li> </ul>
03 月 13 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 7 回会誌編集委員会開催 久田理事・委員長他委員</li> </ul>
03 月 13 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 7 回理事会開催 安田会長、当麻副会長、山崎副会長、福和副会長他理事</li> </ul>
03 月 20 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子力安全のための耐津波工学に関するシンポジウム開催  場所：建築会館ホール  講師：亀田弘之、宮野廣、成宮祥介、高田毅士、今村文彦、佐藤慎司ほか  参加者：110 名</li> </ul>
03 月 26 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 1～2 月</li> </ul>
03 月 27 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論文賞選考委員会開催 福和副会長・委員長他委員</li> </ul>
03 月 28 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JAEE NEWSLETTER 2014 年 3 月号 (Vol.3 No.1) 刊行</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 3 回津波対策とその指針に関する研究委員会 松富委員長他委員</li> </ul>

表 8-4 2014 年度（会長：安田 進）

04 月 01 日（火）	・ JAEE NEWS No.276 配信
04 月 02 日（水）	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 3 月 ・ 震災対策技術展第 2 回実行委員会 安田会長出席
04 月 03 日（木）	・ 第 1 回事業企画委員会開催 福和副会長、鳥井理事・委員長、境理事 他委員
04 月 15 日（火）	・ 第 4 回正副会長会議 安田会長、当麻副会長、山崎副会長、福和副会長、福喜多総務理事、新海総務理事 他 ・ 会誌編集委員会 久田理事・委員長他委員
04 月 18 日（金）	・ 耐津波工学委員会第 16 回幹事会開催 亀田委員長他
04 月 18 日（金）	・ 第 8 回理事会開催 安田会長、当麻副会長、山崎副会長、福和副会長他理事
04 月 23 日（水）	・ 第 12 回東日本大震災合同調査報告書編集委員会開催 和田委員長他 各関連学会代表委員
04 月 30 日（水）	・ 平成 25 年度監事監査会開催 五十嵐監事、矢代会計理事、福喜多総務理事、新海総務理事
05 月 07 日（水）	・ JAEE NEWS No.277 配信 ・ 平成 25 年度決算書類作成および法人税申告業務についての説明 涌井会計事務所涌井茂氏、本会事務局
05 月 08 日（木）	・ 会長・総務理事打合せ 安田会長、福喜多理事、新海理事
05 月 09 日（金）	・ 第 11 回原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会開催
05 月 12 日（月）	・ 第 14 回日本地震工学シンポジウム幹事会開催 山崎委員長・副会長 他委員
05 月 12 日（月）	・ 第 9 回理事会開催 安田会長、当麻副会長、山崎副会長、福和副会長 他理事
05 月 14 日（水）	・ 日本学術会議 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会 第 11 回実務担当者連絡会開催 福喜多理事・鳴原事務局長出席
05 月 22 日（木）	・ 公益社団法人日本地震工学会 第 2 回社員総会ならびに講演会 日時：2014 年 5 月 22 日（木） 14：00～19：00 場所：建築会館ホール（東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号） □社員総会（14：00～15：30） 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議案 第 1 号議案 平成 25 年度事業報告 第 2 号議案 平成 25 年度収支決算報告 平成 25 年度監査報告 第 3 号議案 平成 26 年度監事の選任 第 4 号議案 平成 26 年度理事の選任 第 5 号議案 平成 26 年度選挙管理委員会委員の選任 第 6 号議案 平成 26 年度役員候補推薦委員会委員の選任 4. 報告 第 1 号報告 平成 26 年度事業計画 第 2 号報告 平成 26 年度収支予算 5. 閉会 □講演会ならびに贈呈式（15：30～16：00） 1. 功績賞贈呈式 正 会 員：若松加寿江 正 会 員：松岡昌志 法人会員：東京ガス株式会社 2. 功労賞贈呈式 正 会 員：矢部正明 職 員：鳴原 毅(日本地震工学会事務局) 3. 論文賞および論文奨励賞の贈呈式 〔論文賞〕 正 会 員：杉野英治 正 会 員：蛭沢勝三 呉長江、是永真理子、根本信、岩淵洋子

	<p>〔論文奨励賞〕  正 会 員：岩城麻子  正 会 員：長岡修</p> <p>4. 論文賞および論文奨励賞の記念講演（16：00～17：15）  「原子力サイトにおける2011年東北地震津波の検証」：杉野英治  「低周波数地震動の情報を用いた高周波数地震動合成の試み  －関東地域における検討－」：岩城麻子  「等価線形化法による木造住宅の地震時応答推定とその精度」：長岡修</p> <p>5. 特別講演（16：45～17：15）  「地震工学と機械工学のはざままで」  鈴木浩平氏（名誉会員、首都大学東京名誉教授）</p> <p>□交流会（17：30～19：00）</p>
5月23日（金）	・日本地震工学会論文集 Vol.14 (2014) No.2 刊行
5月29日（木）	・原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会 第17回幹事会開催 亀田委員長他幹事
5月30日（金）	・総務部会開催 新海理事、副島理事、福喜多前理事 ・情報コミュニケーション委員会開催 富田前理事・委員長、他委員
6月03日（火）	・JAEE NEWS No.278 配信
6月12日（木）	・税理士監査（4月定期監査）・公益法人定期提出書類精査実施 涌井税務会計事務所
6月13日（金）	・「東日本大震災合同報告 共通編3編」 刊行記念シンポジウム 「地震災害再考. ファンダメンタルをふまえて」開催 日時：6月13日（金）10時00分～16時30分 場所：専売会館ホール（東京都港区芝5丁目） 講師：本田利器（東京大学）他5名 参加者：137名
06月17日（火）	・第2回会誌編集委員会 久田理事・委員長他委員 ・第1回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究 委員会開催 高田委員長、中村幹事他
06月18日（水）	・第1回震災対策技術展（大阪）併設セミナー「命を守る避難の課題」 －巨大地震災害に大阪はどう立ち向かうか－ 開催 日時：6月18日（水）13時00分～16時15分 場所：コングレコンベンションセンターA会場（大阪） 講師：関澤愛（東京理科大学）他5名
06月26日（木）	・第10回理事会開催 安田会長、山崎副会長、志波副会長他理事
06月27日（金）	・日本地震工学会論文集 Vol.14 (2014) No.3 「英文号」刊行
06月30日（月）	・日本地震工学会誌 No.22 刊行
07月01日（火）	・JAEE NEWS No.279 配信 ・日本地震工学シンポジウム 総務部会打合せ 末富幹事他委員
07月02日（水）	・第1回情報コミュニケーション委員会開催 小檜山理事・委員長 他委員
07月09日（水）	・第3回会誌編集委員会開催 久田理事・委員長他委員
07月11日（金）	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査5月・6月
07月17日（木）	・第1回地震災害対応委員会開催 志波副会長・委員長、横井理事、片岡理事
07月28日（月）	・第1回事業企画委員会 震災予防講演会 WG 開催 宮腰主査他委員
07月30日（水）	・JAEE NEWSLETTER Vol.3 No.2（7月号）刊行
08月01日（金）	・JAEE NEWS No.280 配信
08月04日（月）	・総務部会開催 新海理事、副島理事、志波副会長
08月06日（水）	・第1回メディア交流会＜東西超高層ビル対決＞開催 日時：8月6日（水）17時00分～19時00分 場所：安藤ハザマ会議室（東京都港区赤坂） 講師：木村征也（日建設計） 企画：事業企画委員会 参加者：15名

08月07日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回「震災対策技術展」宮城 併設セミナー「次の津波からどう逃げるか～渋滞リスクを減らす作戦を考える～」開催 日時：8月7日(木) 14時45分～16時15分 場所：AER ビルD 会場(仙台市青葉区中央1丁目3番1号) 講師：瀬尾和大(宮城教育大学)、村上ひとみ(山口大学) 主催：本会 津波などの突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会 参加者：55名</li> </ul>
08月08日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回選挙管理委員会開催 藤川理事・委員長他委員</li> </ul>
08月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査及び内閣府への提出書類の精査実施 涌井税務会計事務所 定期監査7月</li> <li>・メール審議 発議 議案：新入会員の承認について(平成26年7月分) 発議：藤川理事 決議：2014年8月26日</li> </ul>
08月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回会員部会開催 藤川理事、片岡理事、志波副会長</li> </ul>
08月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回役員候補者推薦委員会開催 若松委員長他委員</li> </ul>
08月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14JEES 学術部会及び第3回幹事会開催 山崎副会長・運営委員長、塚本理事、他委員</li> </ul>
08月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会論文集 Vol.14(2014)No.4 刊行</li> <li>・第1回会計部会開催 和泉理事、佐藤理事、志波副会長、吹野事務局</li> </ul>
08月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール審議 発議 議案：委託研究の受託について(日本ガス協会) 発議：新海理事 決議：2014年9月2日</li> </ul>
08月29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長、中村幹事他委員</li> </ul>
09月01日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.281 配信</li> </ul>
09月04日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回将来構想委員会開催 志波副会長・委員長、藤原理事・幹事、古屋理事、副島理事他委員</li> </ul>
09月08日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査8月</li> </ul>
09月11日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回役員候補者推薦委員会開催 若松委員長 他委員</li> <li>・E-ディフェンス震動台見学会 開催 日時：9月11日(木) 11時00分～14時30分 場所：防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター 企画：事業企画委員会 参加者：18名</li> </ul>
09月16日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回 事業企画委員会開催 鳥井理事・委員長、境理事 他委員</li> </ul>
09月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第12回 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会 開催 志波副会長出席</li> </ul>
09月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11回 理事会開催予定 安田会長、福和副会長、志波副会長他理事</li> </ul>
09月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 活断層による地盤の大変形に関する基礎的検討委員会 開催 堀宗朗委員長 他委員</li> </ul>
09月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第12回 原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会 開催 亀田委員長 他委員</li> <li>・第4回 東日本大震災調査報告書(原子力編) 編集委員会開催 平野主査他委員</li> </ul>
09月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回 会誌編集委員会開催 久田理事・委員長 他委員</li> </ul>
09月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回 事業企画委員会 震災予防講演会 WG 開催 宮腰主査 他委員</li> </ul>
09月30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWSLETTER Vol.3 No.3 (9月号) 刊行</li> </ul>
10月01日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.282 配信</li> </ul>
10月03日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第19回「震災対策技術展」横浜実行委員会開催 安田会長出席</li> </ul>
10月03日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回 情報コミュニケーション委員会開催 小檜山理事・委員長他委員</li> </ul>
10月06日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会開催 後藤委員長他委員</li> </ul>
10月08日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年度 日本地震学会・日本地震工学会 会長懇談会 議題：阪神・淡路大震災20年シンポジウムについて、今後の連携について他 出席：日本地震学会 加藤会長、古村副会長、今西常務理事、中西事務局 日本地震工学会 安田会長、志波副会長、副島総務理事、吹野事務局</li> </ul>

10月09日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災合同調査報告書作成委員会(原子力編)開催 高田副主査ほか関係委員</li> <li>・第13回 東日本大震災合同調査報告編集委員会 開催 和田章委員長、川島一彦副委員長、他各団体委員</li> <li>・第1回 強震動評価のための表層地盤モデル化手法研究委員会 開催 東委員長</li> </ul>
10月14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査9月</li> <li>・第5回会誌編集委員会開催 久田理事・委員長 他委員</li> </ul>
10月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回選挙管理委員会開催 藤川理事・委員長他委員</li> </ul>
10月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回会計部会開催 和泉理事、佐藤理事、吹野事務局</li> </ul>
10月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災合同調査報告書作成委員会(原子力編)開催 高田副主査ほか関係委員</li> </ul>
10月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回正副会長会議 安田会長、山崎副会長、福和副会長、志波副会長、新海総務理事、副島総務理事 他</li> <li>・第12回理事会開催 安田会長、山崎副会長、福和副会長、志波副会長他理事</li> </ul>
10月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回事業企画委員会 震災予防講演会 WG 開催 宮腰主査他委員</li> </ul>
10月31日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会誌 No.23 刊行</li> </ul>
11月04日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.283 配信</li> </ul>
11月07日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会論文集 Vol.14(2014)No.5 刊行</li> </ul>
11月10日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第14回日本地震工学シンポジウム運営委員会開催 山崎委員長・副会長、塚本幹事長・理事他委員</li> <li>・第3回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長、中村幹事他委員</li> </ul>
11月14日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査10月</li> </ul>
11月20日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回事業企画委員会開催 鳥井理事・委員長、境理事 他委員</li> </ul>
11月22日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県北部の神城断層の一部が活動し、M6.7の地震が発生(22時08分頃)</li> </ul>
11月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県北部地震の地震災害対応本部設置 安田会長(本部長)、志波副会長・地震災害対応委員会委員長(本部員)ほか10名</li> </ul>
11月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災調査報告書(原子力編)丸善出版との打合せ 高田主査他委員</li> </ul>
12月01日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.284 配信</li> </ul>
12月03日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回選挙管理委員会 藤川理事・委員長他委員</li> </ul>
12月04日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第14回日本地震工学シンポジウム開催</li> </ul>
～	日時:12月4日(木)～6日(土)
12月06日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所:幕張メッセ国際会議場(千葉県美浜区中瀬2-1)</li> <li>プログラム:オーガナイズドセッション、論文口頭発表、論文ポスター発表、技術展示、懇親会</li> <li>主催:日本地震工学会、地盤工学会、土木学会、日本機械学会、日本建築学会、日本地震学会、地域安全学会、日本活断層学会、日本災害復興学会、日本自然災害学会</li> <li>参加者:約700名</li> </ul>
12月08日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会 津波荷重評価の最前線ー何がわかり、何が課題かー開催</li> <li>日時:12月8日(月)13時30分～16時30分</li> <li>場所:東京工業大学キャンパスイノベーションセンター2階 多目的室2(東京都港区芝浦3-3-6)</li> <li>企画:津波対策とその指針に関する研究委員会</li> <li>参加者:56名</li> </ul>
12月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第13回理事会開催 安田会長、山崎副会長、福和副会長、志波副会長 他理事</li> </ul>
12月12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回強震動評価のための表層地盤モデル化手法研究委員会 開催 東委員長他委員</li> <li>・将来構想委員会主催若手座談会開催 志波副会長・委員長、藤原理事・幹事ほか</li> </ul>
12月16日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査11月</li> </ul>
12月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第13回原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会 開催 亀田委員長 他委員</li> </ul>
12月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWSLETTER 2014年12月号(Vol.3 No.4)発行</li> </ul>
01月05日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.285 配信</li> <li>・次期監事(2015年6月から2年間の任期)役員選挙実施</li> </ul>

	(「正会員」12月31日付資格者1152名に投票依頼状発送)
01月14日(水)	・会長・総務理事 震災対策技術展についての打合せ 安田会長、新海理事、副島理事
01月20日(火)	・第6回会誌編集委員会開催 久田理事・委員長 他委員
01月22日(木)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査12月
01月24日(土)	・シンポジウム「地震被害の軽減に向けた研究者たちのメッセージ ー阪神・淡路大震災20年：地震関連科学の到達点と新たな決意ー」開催 日時：1月24日(土)9時30分～16時45分 場所：兵庫県私学会館(神戸市中央区) 主催：日本地震学会(幹事学会)、日本活断層学会、本会
01月29日(木)	・第14回東日本大震災合同調査報告編集委員会開催 和田章委員長、川島一彦副委員長、他各団体委員
01月30日(金)	・目黒次期会長・総務理事打合せ 目黒次期会長、志波副会長、副島理事
02月02日(月)	・JAEE NEWS No.286 配信
02月04日(水)	・総務会計部会開催 志波副会長、新海総務理事、副島総務理事、和泉会計理事、
02月05日(木)	・第19回震災対策技術展開催 開会式 安田会長開会挨拶 本会展示出展 02月05日～02月06日
02月06日(金)	・第5回震災予防講演会開催 「豪雨災害の歴史と日本人ー水害・土砂災害との共存を目指すためにー」 主催：本会 後援：日本地震学会他 日時：2015年2月6日(金)13:00～16:30 場所：パシフィコ横浜・アネックスホール2階203会場 講師：武村雅之(名古屋大学減災連携研究センター教授)他 参加者：135名
02月10日(火)	・選挙管理委員会開催 藤川理事・委員長他委員 ・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査1月 ・長野地震被害報告書検討委員会開催 山中浩明調査団長他 団員 ・論文賞選考委員会開催 福和副会長・委員長他委員
02月12日(木)	・次期監事選挙結果報告及びウェブページ告示
02月12日(木)	・東日本大震災合同調査報告書 販売に関する打ち合わせ 川島一彦副委員長 他各団体事務局
02月13日(金)	・第7回会誌編集委員会開催 久田理事・委員長 他委員 ・東日本大震災合同調査報告「原子力編」 刊行記念合同報告会 開催 主催：本会、日本原子力学会、土木学会、日本機械学会、 日本都市計画学会、日本建築学会、日本地震学会、地盤工学会 日時：2015年2月13日(金)13:30～17:00 場所：建築会館ホール 参加者：137名
02月17日(火)	・第3回情報コミュニケーション委員会開催 小檜山理事・理事・委員長 他委員
02月20日(金)	・第6回事業企画委員会開催 鳥井理事・委員長、境理事 他委員 ・長野地震被害報告書の作成と報告会開催に関する打合せ 山中浩明調査団長、志波副会長・委員長
02月24日(火)	・大会実行委員会開催 古屋理事・委員長他委員
02月26日(木)	・日本地震工学会論文集 Vol.15(2015)No.1 刊行
02月27日(金)	・日本地震工学会誌 No.24 刊行
03月02日(月)	・JAEE NEWS No.287 配信
03月02日(月)	・第6回拡大正副会長会議開催 安田会長、当麻副会長、山崎副会長、福和副会長、 新海理事、副島理事 他
03月04日(水)	・JEES運営委員会開催 山崎副会長・委員長、塚本理事・幹事 他委員
03月05日(木)	・第4回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催
03月07日(土)	・将来構想委員会開催 志波副会長・委員長、藤原理事・幹事他委員
03月12日(木)	・第14回原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会 開催 亀田委員長

	他委員
03月12日(木)	・第14回理事会開催 安田会長、山崎副会長、福和副会長、志波副会長他理事
03月17日(火)	・第2回会員部会開催 藤川理事、片岡理事
	・第3回強震動評価のための表層地盤モデル化手法研究委員会開催 東委員長 他委員
03月23日(月)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査2月

表 8-5 2015 年度（会長：目黒 公郎）

04 月 01 日（月）	・ JAEE NEWS No.288 配信
04 月 06 日（月）	・ 第 15 回東日本大震災合同調査報告編集委員会 和田章委員長、川島一彦副委員長、他各団体委員
04 月 09 日（木）	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 3 月
04 月 10 日（金）	・ 平成 26 年度決算書類作成および法人税申告業務についての説明 涌井会計事務所涌井茂氏、本会事務局
04 月 14 日（火）	・ 第 1 回地域の災害レジリエンスの評価指標開発と政策シミュレーション研究委員会（会長特別委員会）開催 目黒公郎委員長他委員
04 月 15 日（水）	・ 原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会報告会 開催 主催：本会（原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会研究委員会） 協賛：日本原子力学会、土木学会 日時：2015 年 4 月 15 日（水） 9：30～17：30 場所：東京大学弥生講堂 一条ホール（東京都文京区弥生 1-1-1） 参加者：135 名
04 月 17 日（金）	・ 第 15 回理事会開催 安田会長、山崎副会長、志波副会長他理事
04 月 22 日（水）	・ 震災対策技術展第 2 回実行委員会 安田会長出席
04 月 23 日（木）	・ 事業企画委員会開催 鳥井理事・委員長、境理事・副委員長他委員
04 月 25 日（土）	・ ネパール連邦民主共和国の中部で現地時間 4 月 25 日午前 11 時 56 分（日本時間 同日午後 3 時 11 分）頃、大地震が発生
04 月 27 日（月）	・ 平成 26 年度監事監査会開催 五十嵐監事、小林監事、和泉会計理事、佐藤会計理事、新海総務理事、副島総務理事
04 月 28 日（火）	・ ネパール大地震への対応本部設置 安田会長（本部長 5 月社員総会まで）、目黒次期会長（本部長 5 月社員総会から）、志波副会長・地震災害対応委員会委員長（本部長）ほか 5 名
04 月 30 日（木）	・ 第 8 回会誌編集委員会開催 久田理事・委員長 他委員 ・ JAEE NEWSLETTER 2015 年 4 月号 (Vol.4 No.1) 発行
05 月 01 日（金）	・ JAEE NEWS No.289 配信
05 月 15 日（金）	・ 2014 年長野県北部の地震に関する調査団報告会 開催 主催：本会 協賛：土木学会・日本機械学会・日本建築学会・日本地震学会・地盤工学会 日時：2015 年 5 月 15 日（金） 13：30～17：45 場所：東京大学 地震研究所 2 号館 第一会議室 参加者：90 名
05 月 22 日（金）	・ 公益社団法人日本地震工学会 第 3 回社員総会ならびに講演会 日時：2015 年 5 月 22 日（金） 14：00～19：00 場所：建築会館ホール（東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号） □社員総会（14：00～15：15） 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議案 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告 第 2 号議案 平成 2 年度収支決算報告 平成 26 年度監査報告 第 3 号議案 平成 27 年度理事及び監事の選任 第 4 号議案 平成 27 年度選挙管理委員会委員の選任 第 5 号議案 平成 27 年度役員候補推薦委員会委員の選任 第 6 号議案 平成 27 年度名誉会員の推挙 4. 報告 第 1 号報告 平成 27 年度事業計画 第 2 号報告 平成 27 年度収支予算 5. 閉会

	<p>□臨時理事会（15：15～15：20）</p> <p>□臨時理事会の報告（15：30～15：40）</p> <p>□名誉会員推挙式・各賞贈呈式・受賞記念講演ならびに特別講演会</p> <p>1. 名誉会員推挙式 正 会 員：久保哲夫（東京大学 名誉教授） 正 会 員：川島一彦（東京工業大学 名誉教授）</p> <p>2. 功績賞贈呈式 名誉会員：入倉孝次郎（京都大学 名誉教授） 国立研究開発法人 建築研究所</p> <p>3. 功労賞贈呈式 正 会 員：福喜多輝（清水建設株式会社）</p> <p>4. 論文賞贈呈式 正 会 員：他谷周一（東海旅客鉄道株式会社） 正 会 員：翠川三郎（東京工業大学 教授）</p> <p>5. 論文奨励賞贈呈式 正 会 員：奥野峻也（株式会社 構造計画研究所） 正 会 員：加藤一紀（元 早稲田大学大学院 現（株） 大林組）</p> <p>6. 受賞記念講演</p> <p>7. 特別講演会 土岐憲三氏（名誉会員、立命館大学 教授） 演題：地震の活動期 ―日本地震工学会の役割―</p> <p>□交流会（17：30～19：00）</p>
05月25日（月）	・日本地震工学会論文集 Vol.15 (2015) No.2 刊行
06月01日（月）	・JAEE NEWS No.290 配信
06月03日（水）	・第16回理事会開催 目黒会長、志波副会長、中埜副会長、倉本副会長他理事 ・大会実行委員会開催 中埜副会長・委員長、澤田理事・副委員長、 甲斐理事・副委員長他委員
06月05日（金）	・日本学術会議 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会 第13回実務担当者連絡会開催 志波副会長出席 ・第2回震災対策技術展（大阪）併設セミナー 「命を守る避難の課題」―大阪地下街の安全対策は？―開催 日時：6月5日（金）13時00分～16時30分 場所：コングレコンベンションセンターA会場（大阪） 講師：谷口与史也氏（大阪市立大学）他5名
06月08日（月）	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査4月及び内閣府への提出書類の精査実施 ・第1回会員部会開催 藤川理事、室野理事
06月09日（火）	・会長特別委員会「首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する委員会」 研究報告会開催
06月11日（木）	・第4回強震動評価のための表層地盤モデル化手法研究委員会開催 東委員長他委員 ・第1回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員 ・メール審議 発議 議案：年次大会の参加費および収支予算案について 発議：中埜副会長 決議：2015年7月8日
06月18日（木）	・第1回情報コミュニケーション委員会開催 小檜山理事・委員長、 中村いづみ理事・副委員長他委員
06月22日（月）	・論文集編集委員会開催 大堀理事・委員長他委員
06月23日（火）	・日本地震工学会論文集 Vol.15 (2015) No.3 刊行
06月24日（水）	・拡大総務部会開催 志波副会長、副島理事、吉見理事他元総務理事 ・第5回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田一委員長他委員
06月26日（水）	・第1回事業企画委員会開催 倉本事業企画担当副会長、中村友紀子理事・委員長、

	片岡理事・副委員長他委員
06月28日(金)	・日本地震工学会誌 No.25 刊行
07月01日(水)	・JAEE NEWS No.291 配信
	・第2回地域の災害レジリエンスの評価指標開発と政策シミュレーション研究委員会(会長特別委員会)開催 日黒公郎委員長他委員
07月06日(月)	・土木学会・地盤工学会・日本地震工学会合同 2015年ネパール地震災害調査団地震被害調査結果報告会 開催 日時：平成27年7月6日(月) 13時00分～17時50分 主催：土木学会・地盤工学会・日本地震工学会 場所：土木学会 2階講堂(東京都新宿区)
07月10日(金)	・第2回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員
	・第1回選挙管理委員会開催 藤川理事・委員長他委員
07月14日(火)	・論文集編集委員会幹事会開催 大堀理事・委員長他幹事
	・大会実行委員会開催 中埜副会長・委員長、澤田理事・副委員長、甲斐理事・副委員長 他委員
07月16日(木)	・事業企画委員会/総務打合せ 中村友紀子理事・委員長、片岡理事・副委員長、副島理事、吉見理事
	・第1回地震災害対応委員会開催 楠理事・委員長、志波副会長・副委員長、片岡理事
07月23日(木)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査5月・6月
	・公益法人の運営等に関する相談会及びピアラーニング(公益法人協会主催) 副島理事、吉見理事、佐藤理事、原田理事出席
07月24日(金)	・メール審議 発議 議案：新入会員の承認について(平成27年7月分) 発議：藤川理事 決議：2015年8月6日
07月29日(水)	・会員部会開催 藤川理事、室野理事
08月03日(月)	・JAEE NEWS No.292 配信
08月04日(火)	・2015年度 日本地震学会・日本地震工学会 会長懇談会 目黒会長、志波副会長、吉見理事、事務局出席
08月06日(木)	・第6回「震災対策技術展」宮城 併設セミナー 「命を守る津波避難のシミュレーション」開催 日時：8月6日(木) 14時15分～15時45分 場所：AERビルD会場(仙台市青葉区中央1丁目3番1号) 講師：堀宗朗(東京大学地震研究所)ほか2名
08月24日(月)	・日本地震工学会論文集 Vol.15(2015) No.4 刊行
08月28日(金)	・第5回強震動評価のための表層地盤モデル化手法研究委員会 開催 東委員長 他委員
08月31日(月)	・第17回理事会開催 目黒会長、志波副会長、中埜副会長、倉本副会長他理事
	・第2回地震災害対応委員会開催 楠理事・委員長、志波副会長・委員、片岡理事・委員
	・JAEE Newsletter 2015年8月号(Vol.4, No.2, 通算第12号)発行
09月01日(火)	・JAEE NEWS No.293 配信
09月03日(木)	・第1回各種構造物の津波荷重の体系化に関する研究委員会開催 有川委員長 他委員
09月04日(木)	・総務部会開催 副島理事、吉見理事、事務局
09月04日(木)	・メール審議 発議 議案：セミナー「実務で使う地盤の地震応答解析」の予算案について 発議：中村友紀子理事 決議：2015年9月16日
09月10日(木)	・会長特別委員会「地域の災害レジリエンスの評価指標開発と政策シミュレーション研究委員会」開催 日黒公郎委員長他委員
	・事業企画委員会 震災予防講演会 WG 開催 宮腰主査他委員
09月14日(月)	・日本学術会議 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会 第14回実務担当者連絡会開催 志波副会長出席
09月16日(水)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査8月

09月17日(木)	・事業企画委員会開催 中村友紀子理事・委員長、片岡理事・副委員長 他委員
09月25日(金)	・第3回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員
10月01日(木)	・第3回地震災害対応委員会開催 楠理事・委員長、志波副会長・委員、片岡理事・委員
10月02日(金)	・JAEE NEWS No.294 配信
10月06日(火)	・会長・総務打合せ 目黒会長、副島理事、事務局
10月07日(水)	・大会実行委員会開催 中埜副会長・委員長、澤田理事・副委員長、甲斐理事・副委員長 他委員
10月13日(火)	・第6回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長他委員
10月14日(水)	・第4回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員
10月19日(月)	・第7回正副会長会議開催 目黒会長、志波副会長、中埜副会長、倉本副会長、副島理事、吉見理事 他
10月21日(水)	・第18回理事会開催 目黒会長、志波副会長、中埜副会長、倉本副会長他理事
10月28日(水)	・第2回情報コミュニケーション委員会開催 小檜山理事・委員長、中村いずみ理事・副委員長他委員
10月30日(金)	・メール審議 発議 議案：2016年度日本地震工学会大会の会場および会期 発議：甲斐芳郎理事 決議：2015年10月31日
10月30日(金)	・日本地震工学会論文集 Vol.15 (2015) No.5 刊行
10月30日(金)	・メール審議 発議 議案：2016年震災対策技術展（横浜）におけるセミナー「命を守る津波避難のシミュレーション」主催について 発議：中村友紀子理事 決議：2015年11月18日
11月02日(月)	・日本地震工学会誌 No.26 刊行
11月02日(月)	・第16回東日本大震災合同調査報告編集委員会 開催 和田章委員長、川島一彦副委員長、他各団体委員
11月09日(月)	・JAEE NEWS No.295 配信
11月09日(月)	・メール審議 発議 議案：地震工学会大会に関する規程類の改定 発議：澤田純男理事 決議：2015年11月10日
11月10日(火)	・会長特別委員会「地域の災害レジリエンスの評価指標開発と政策シミュレーション研究委員会」第4回開催 目黒一郎委員長他委員
11月10日(火)	・事業企画委員会 震災予防講演会 WG 開催 宮腰主査他委員
11月17日(火)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 10月
11月19日(木)	・第11回日本地震工学会・大会-2015 開催
11月20日(金)	日時：11月19日(木)～20日(金) 場所：東京大学生産技術研究所 An棟2階 コンベンションホール・ホワイエ (東京都目黒区駒場4-6-1) プログラム：基調講演、横断セッション (International Session、SIPセッション他)、ポスターセッション、技術展示、懇親会 主催：日本地震工学会
11月20日(金)	・第4回地震災害対応委員会開催 楠理事・委員長、志波副会長・委員、片岡理事・委員
11月25日(水)	・事業企画委員会開催 中村友紀子理事・委員長、片岡理事・副委員長 他委員
11月27日(金)	・大会実行委員会開催 中埜副会長・委員長、澤田理事・副委員長、甲斐理事・副委員長 他委員
11月27日(金)	・日本地震工学会論文集 Vol.15 (2015) No.6 刊行
11月27日(金)	・セミナー「実務で使う地盤の地震応答解析」開催 日時：11月27日(金)10時00分～18時00分 場所：東大地震研2号館5F 第一会議室

	<p>講師：吉田望氏（東北学院大学）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メール審議 発議</li> <li>議案：新入会員の承認について（H27年11月分）</li> <li>発議：藤川智理事</li> <li>決議：2015年12月14日</li> </ul>
11月30日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回正副会長会議開催 目黒会長、志波副会長、中埜副会長、倉本副会長、副島理事、吉見理事 他</li> </ul>
12月01日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.296 配信</li> </ul>
12月03日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール審議 発議</li> <li>議案：第6回震災予防講演会の実施について</li> <li>発議：中村友紀子理事</li> <li>決議：2015年12月15日</li> </ul>
12月11日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回各種構造物の津波荷重の体系化に関する研究委員会開催 有川委員長 他委員</li> <li>・「E-ディフェンス 10層RC造骨組みの加振実験見学会」開催</li> <li>日時：12月11日（金）13時00分～</li> <li>場所：国立研究開発法人 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター（兵庫県三木市）</li> </ul>
12月15日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回地震被害調査関連学会連絡会開催 楠理事、志波副会長 他学会委員</li> </ul>
12月21日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会開催 目黒会長、吹野事務局長出席</li> <li>・第7回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長 他委員</li> </ul>
12月22日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 11月</li> </ul>
12月24日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本学術会議 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会開催 志波副会長、室野理事、楠理事出席</li> </ul>
12月25日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE Newsletter 2015年12月号 (Vol. 4, No. 3, 通算第13号) 発行</li> <li>・日本地震工学会論文集 Vol.15 (2015) No.7 刊行</li> <li>・会長特別委員会「地域の災害レジリエンスの評価指標開発と政策シミュレーション研究委員会」第5回開催 目黒公郎委員長他委員</li> </ul>
2016年	
01月04日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.297 配信</li> </ul>
01月06日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第19回理事会開催 目黒会長、志波副会長、中埜副会長、倉本副会長他理事</li> </ul>
01月15日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会実行委員会打合せ 中埜副会長・委員長、甲斐理事・次期委員長 他</li> </ul>
01月21日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員</li> </ul>
01月22日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画委員会開催 中村友紀子理事・委員長、片岡理事・副委員長 他委員</li> <li>・メール審議 発議</li> <li>議案：原子力総合シンポジウム2016の共催について</li> <li>発議：志波副会長</li> <li>決議：2016年2月10日</li> </ul>
01月28日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会論文集 Vol.16 (2016) No.1 刊行</li> </ul>
02月01日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.298 配信</li> </ul>
02月04日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第20回震災対策技術展開催（02月04日～02月05日） 本会展示出展</li> </ul>
02月05日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第20回震災対策技術展セミナー「命を守る避難の課題－災害時の交通モニタリングと避難シミュレーションの最前線－」</li> <li>主催：本会</li> <li>後援：国土交通省関東地方整備局他</li> <li>日時：2016年2月5日（金）10:30～12:00</li> <li>場所：パシフィコ横浜・アネックスホール2階203会場</li> <li>講師：桑原雅夫（東北大学教授） 他</li> <li>・第6回震災予防講演会開催「箱根火山を考える－自然の恵みと災害のはざまで－」</li> <li>主催：本会</li> <li>後援：日本地震学会他</li> <li>日時：2016年2月5日（金）13:00～16:30</li> <li>場所：パシフィコ横浜・アネックスホール2階203会場</li> </ul>

02月06日(土)	講師：武村雅之（名古屋大学減災連携研究センター教授）他
02月08日(月)	・台湾南部を中心に現地時間2月6日午前3時57分頃マグニチュード6.4の地震が発生 ・論文賞選考委員会開催 倉本副会長・委員長 他委員 ・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査12月及び1月 ・会長特別委員会「地域の災害レジリエンスの評価指標開発と政策シミュレーション研究委員会」開催 目黒公郎委員長 他委員 ・メール審議 発議 議案：新入会員の承認について（平成28年2月分） 発議：藤川理事 決議：2016年2月21日
02月12日(金)	・第6回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員
02月19日(金)	・第2回選挙管理委員会開催 藤川理事・委員長 他委員 ・大会実行委員会開催 甲斐理事・次期委員長 他委員 ・2016年2月6日に発生した台湾南部の地震に対し「台湾南部地震対応本部」を設置（本部長：目黒公郎会長、本部員：志波副会長、倉本副会長、楠理事ほか）
02月24日(水)	・情報コミュニケーション委員会開催 小檜山理事・委員長、中村いずみ理事・副委員長 他委員
02月25日(木)	・日本地震工学会論文集 Vol.16 (2016) No.2 刊行
02月29日(月)	・総務会計部会開催 志波副会長、副島総務理事、吉見総務理事、佐藤会計理事、原田会計理事
03月01日(火)	・JAEE NEWS No.299 配信
03月02日(水)	・第9回拡大正副会長会議開催 目黒会長、志波副会長、中埜副会長、倉本副会長、副島理事、吉見理事 他
03月03日(木)	・会長特別委員会「首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する委員会」研究報告会開催
03月09日(水)	・「台湾・美濃地震災害調査団」速報会 開催 主催：建築学会 共催：本会 日時：2016年3月9日（水）14：00～17：00 場所：東京大学 地震研究所 2号館 第一会議室
03月09日(水)	・第8回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長 他委員
03月10日(木)	・日本地震工学会論文集 Vol.16 (2016) No.3 刊行
03月11日(金)	・第1回役員候補者推薦委員会開催 委員長 他委員
03月15日(火)	・第20回理事会開催 目黒会長、志波副会長、中埜副会長、倉本副会長他理事 ・第2回大会実行委員会開催 甲斐理事・次期委員長 他委員
03月19日(土)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査2月
03月22日(火)	・第2回役員候補者推薦委員会開催 清野委員長 他委員
03月29日(火)	・会長特別委員会「地域の災害レジリエンスの評価指標開発と政策シミュレーション研究委員会」開催 目黒公郎会長・委員長 他委員
03月31日(木)	・事業企画委員会開催 中村友紀子理事・委員長、片岡理事・副委員長 他委員 ・日本地震工学会論文集 Vol.16 (2016) No.4 刊行

表 8-6 2016 年度（会長：目黒 公郎）

04 月 01 日（金）	・ JAEE NEWS No.300 配信
04 月 06 日（水）	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 3 月及び決算報告書精査実施
04 月 12 日（火）	・ 第 6 回 強震動評価のための表層地盤モデル化手法研究委員会 開催 東委員長他委員 ・ 17WCEE 招致委員会開催 目黒会長、中埜副会長ほか委員
04 月 13 日（水）	・ 平成 27 年度監事監査会開催 勝俣監事、中村監事、志波副会長、佐藤会計理事、 室野会計理事、副島総務理事、吉見総務理事 ・ 17WCEE 招致に関する懇談会開催 目黒会長、中埜副会長ほか関係者
04 月 14 日（木）	・ 熊本県熊本地方で M6.4 の地震が発生（21 時 26 分頃 最大震度 7） 熊本地震の地震災害対策本部設置（本部長 目黒会長）
04 月 18 日（月）	・ 震災対策技術展実行委員会開催 目黒会長出席 ・ 防災学術連携体主催熊本地震緊急共同記者会見 目黒会長出席
04 月 19 日（火）	・ 大会実行委員会打合せ 甲斐理事・次期委員長ほか
04 月 19 日（火）	・ 第 21 回理事会開催 目黒会長、志波副会長、中埜副会長、倉本副会長他理事
04 月 22 日（金）	・ 第 1 回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員
04 月 25 日（月）	・ 日本地震工学会論文集 Vol.16 (2016) No.5 刊行
04 月 28 日（木）	・ JAEE Newsletter 2016 年 4 月号 (Vol. 5, No. 1, 通算第 14 号) 発行
05 月 02 日（月）	・ JAEE NEWS No.301 配信
05 月 10 日（火）	・ 津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会報告会開催 主催：本会（津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会） 日時：2016 年 5 月 10 日（火） 13:30～17:15 会 場：工学院大学新宿キャンパス 28 階第一会議室 参加者：46 名
05 月 11 日（水）	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 4 月
05 月 13 日（金）	・ 原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会 幹事会開催 高田毅士委員長他
05 月 17 日（火）	・ 公益社団法人日本地震工学会 第 4 回社員総会ならびに贈呈式・講演会 日時：2016 年 5 月 17 日（火） 14:00～19:00 場所：建築会館ホール（東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号）
05 月 20 日（金）	・ 拡大総務部会開催 木全副会長、吉見理事、田中理事他元総務理事
05 月 25 日（水）	・ 原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会 開催 高田毅士委員長他
05 月 26 日（木）	・ 第 1 回選挙管理委員会開催 長島理事・委員長他委員 ・ 日本地震工学会論文集 Vol.16 (2016) No.6 刊行
05 月 27 日（金）	・ 会計部会開催 原田理事、長島理事他元会計理事
05 月 30 日（月）	・ 広報部会開催 中村いづみ理事、高橋理事、入江理事、山口理事、吉見理事他
05 月 31 日（火）	・ 17WCEE 招致委員会開催 目黒会長、中埜副会長他委員
06 月 01 日（水）	・ JAEE NEWS No.302 配信 ・ 会長特別研究委員会 「首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する委員会」最終報告会 開催 日時：2016 年 6 月 1 日（水） 10:00～17:30 場所：東京電機大学北千住キャンパス 1 号館 2 階 1204 教室 連携：SIP 防災⑦-2「首都圏複合災害への対応・減災支援技術」 参加者：76 名
06 月 06 日（月）	・ 第 22 回理事会開催 目黒会長、木全副会長、倉本副会長他理事
06 月 08 日（水）	・ 第 9 回 システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長他委員
06 月 09 日（木）	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 5 月 ・ 情報コミュニケーション委員会開催 中村いづみ理事・委員長、山口理事・副委員長他委員
06 月 17 日（金）	・ 第 2 回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員
06 月 20 日（月）	・ 第 17 回 東日本大震災合同調査報告編集委員会 開催 和田章委員長、川島一彦副委員長、 他各団体委員
06 月 21 日（火）	・ 第 1 回出前授業開催 講師：副島紀代前理事
06 月 24 日（金）	・ 第 6 回理学・工学系学協会連絡協議会全体会議 開催 目黒会長出席

06月27日(月)	・津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会開催 甲斐委員長他委員
06月30日(木)	・第1回事業企画委員会 中村友紀子理事・委員長、宮腰理事・副委員長他委員
07月01日(金)	・日本地震工学会論文集 Vol.16(2016)No.7 刊行
07月04日(月)	・日本地震工学会誌 No.28 刊行
07月08日(金)	・JAEE NEWS No.303 配信
07月13日(水)	・17WCEE 招致委員会打合せ 中埜副会長・副委員長、日本コンベンションサービス西本様ほか
07月14日(木)	・第2回選挙管理委員会 長島理事・委員長他委員
07月15日(金)	・論文集編集委員会開催 大堀理事・委員長他委員
07月16日(土)	・第7回強震動評価のための表層地盤モデル化手法研究委員会開催 東委員長他委員
07月21日(木)	・第3回会誌編集委員会 高橋理事・委員長他委員
07月23日(土)	・第2回メディア交流会開催 日時：7月15日(金) 15時30分～17時00分 場所：新宿三井ビル29階会議室(東京都新宿区) 企画：事業企画委員会 参加者：13名
07月25日(月)	・熊本地震3ヶ月報告会 目黒会長発表
07月26日(火)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査6月
07月29日(金)	・2016年度 日本地震学会・日本地震工学会 会長懇談会 目黒会長、木全副会長、倉本副会長、吉見理事、田中理事、事務局出席
07月30日(土)	・日本地震工学会論文集 Vol.16(2016)No.8 刊行
08月01日(月)	・大会実行委員会プログラム編成会議開催 甲斐理事・委員長、秋山理事・副委員長他委員
08月02日(火)	・17WCEE 招致委員会打合せ 目黒会長・委員長、日本政府観光局、日本コンベンションサービス西本様ほか
08月09日(火)	・大会実行委員会開催 甲斐理事・委員長、秋山理事・副委員長他委員
08月10日(水)	・JAEE NEWS No.304 配信
08月17日(水)	・次期会長及び監事(2017年6月から2年間の任期)役員選挙実施 (「正会員」7月31日付資格者1128名に投票依頼状発送)
08月25日(木)	・第2回 福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会開催 目黒会長出席
08月26日(金)	・第23回理事会開催 目黒会長、木全副会長、中埜副会長他理事
08月29日(月)	・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会 開催 高田毅士委員長他
08月31日(水)	・17WCEE 招致委員会開催 目黒会長・委員長、中埜副会長・副委員長ほか委員、関係者
09月01日(木)	・第7回 震災対策技術展開催(08月25日～08月26日) 本会展示出展
09月02日(金)	・第7回「震災対策技術展」東北 セミナー「熊本地震に学ぶ地域防災の価値創造」開催 日時：8月25日(木)14時40分～15時25分 場所：AERビルB会場 講師：鍵屋一(跡見学園女子大学教授) 参加者数：38名
09月07日(水)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査7月
09月08日(木)	・第2回出張講座開催 講師：岩楯敏広氏
09月12日(月)	・日本地震工学会論文集 Vol.16(2016)No.9 刊行
09月15日(木)	・第10回 システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長他委員
09月22日(月)	・JAEE Newsletter 2016年8月号 (Vol. 5, No. 2, 通算第15号) 発行
09月25日(日)	・JAEE NEWS No.305 配信
09月29日(木)	・選挙管理委員会開催 次期会長及び監事選挙開票 長島理事・委員長他委員
09月30日(金)	・次期会長及び監事選挙結果報告及びHP告示
10月01日(土)	・17WCEE 招致委員会開催 目黒会長・委員長、中埜副会長・副委員長他委員、関係者
10月02日(日)	・第4回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員
10月03日(月)	・津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会開催 甲斐委員長他委員
10月04日(火)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査8月
10月05日(水)	・大会関連行事 高知市周辺の地震防災に関わるサイトをめぐる見学ツアー開催 (種崎地区津波避難センター 桂浜他 11時00分～17時00分 参加者15名)

09月26日(月) ～ 09月27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第12回日本地震工学会・大会-2016 開催 日時：09月26日(月)～27日(火) 場所：高知工科大学永国寺キャンパス(〒780-8515 高知県高知市永国寺町2番22号) プログラム：基調講演、横断セッション 主催：日本地震工学会 参加者：263名</li> </ul>
09月26日(月) 09月27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画委員会開催 中村友紀子理事・委員長、宮腰理事・副委員長他委員</li> <li>・昭和南海地震70周年シンポジウム-来たるべき南海トラフ地震への備えを考える- 開催 日時：9月27日(火)15時00分～18時00分 場所：高知工科大学永国寺キャンパス A104教室 主催：日本地震工学会、日本地震学会 参加者：170名</li> <li>・大会実行委員会開催 甲斐理事・委員長、秋山理事・副委員長他委員</li> </ul>
10月03日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.306 配信</li> </ul>
10月04日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第24回理事会開催 目黒会長、木全副会長、中埜副会長、他理事</li> </ul>
10月07日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報コミュニケーション委員会開催 中村いづみ理事・委員長、山口理事・副委員長他委員</li> </ul>
10月15日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 招致委員会開催 目黒会長・委員長、中埜副会長・副委員長ほか委員、関係者</li> <li>・第3回出張講座開催 講師：倉本洋氏</li> </ul>
10月17日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員</li> </ul>
10月19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回出張講座開催(日建連安全委員会・海洋安全研修会) 講師：岩楯敏広氏</li> </ul>
10月20日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査9月</li> </ul>
10月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回出張講座開催(千葉県消防協会安房支部研修) 講師：丸山喜久氏</li> </ul>
10月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会開催 甲斐委員長他委員</li> </ul>
10月29日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 招致委員会開催 目黒会長・委員長、中埜副会長・副委員長ほか委員、関係者</li> </ul>
10月31日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会誌 No.29 刊行</li> </ul>
11月01日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.307 配信</li> </ul>
11月08日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員</li> </ul>
11月09日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画委員会開催 中村友紀子理事・委員長、宮腰理事・副委員長他委員</li> </ul>
11月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 招致委員会開催 目黒会長・委員長、中埜副会長・副委員長ほか委員、関係者</li> </ul>
11月14日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 招致委員会開催 目黒会長・委員長、中埜副会長・副委員長ほか関係者</li> </ul>
11月15日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 招致委員会開催 目黒会長・委員長、中埜副会長・副委員長ほか関係者</li> </ul>
11月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回強震動評価のための表層地盤モデル化手法研究委員会開催 東委員長他委員</li> </ul>
11月18日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11回 システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長他委員</li> </ul>
11月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務部会開催 木全副会長、吉見理事、田中理事</li> <li>・第10回正副会長会議開催 目黒会長、木全副会長、勝俣監事、吉見理事、田中理事、原田理事、長島理事</li> </ul>
11月28日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会論文集 Vol.16(2016)No.10 刊行</li> <li>・17WCEE 招致委員会開催 目黒会長・委員長、中埜副会長・副委員長ほか委員、関係者</li> </ul>
12月01日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.308 配信</li> </ul>
12月06日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第25回理事会開催 目黒会長、木全副会長、中埜副会長、他理事</li> </ul>
12月09日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査11月</li> <li>・第4回選挙管理委員会 長島理事・委員長他委員</li> </ul>
12月11日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回出張講座開催(佐野市民大学講座) 講師：尾上篤生氏</li> </ul>
12月16日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会 開催 高田毅士委員長他</li> </ul>
12月19日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第18回 東日本大震災合同調査報告編集委員会 開催 和田委員長、川島副委員長、他各団体委員</li> <li>・「東日本大震災合同調査報告・総集編刊行記念シンポジウム」開催 日時：12月19日(月)13時00分～18時00分 場所：建築会館ホール(東京都港区芝5丁目) 講師：本田利器(東京大学)他8名 参加者：137名</li> </ul>

12月26日(月)	・日本地震工学会論文集 Vol.16(2016) No.11 刊行
12月28日(水)	・JAEE Newsletter 2016年12月号(Vol. 5, No. 3, 通算第16号) 発行
01月04日(水)	・17WCEE 招致委員会開催 目黒会長・委員長、中埜副会長・副委員長ほか委員、関係者
01月05日(木)	・JAEE NEWS No.309 配信
01月09日(月)	・17WCEE 招致委員会開催 目黒会長・委員長、中埜副会長・副委員長ほか委員、関係者
01月12日(木)	・第16回世界地震工学会議(16WCEE) 開幕 日時: 2017年1月9日~13日 場所: Santiago Metropolitan Region, Chile
01月13日(金)	・16WCEE 総会に於いて第17回世界地震工学会議(2020年)開催地が投票により日本に決定 開催地として立候補していた国: 日本(仙台)・インドネシア(バリ島)・ ニュージーランド(オークランド)・メキシコ(カンクン)
01月17日(火)	・第12回 システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田委員長他委員
01月19日(木)	・第7回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員
01月20日(金)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 12月
01月25日(水)	・事業企画委員会開催 中村友紀子理事・委員長、宮腰理事・副委員長他委員
01月31日(火)	・内閣府立入検査実施 日時: 1月25日(水) 10時00分~17時00分 場所: 建築会館307会議室 及び本会事務所(東京都港区芝5丁目) 本会対応者: 目黒会長、木全副会長、吉見理事、田中理事、原田理事、涌井会計士、事務局
02月01日(水)	・次期執行部打ち合わせ 福和次期会長候補、木全副会長、吉見理事、田中理事 ほか次期副会長、総務理事
02月02日(木)	・JAEE NEWS No.310 配信
02月03日(金)	・情報コミュニケーション委員会開催 中村いずみ理事・委員長、山口理事・副委員長他委員
02月06日(月)	・第21回震災対策技術展開催(02月02日~02月03日) 本会展示出展
02月08日(水)	・第9回強震動評価のための表層地盤モデル化手法研究委員会開催 東委員長他委員
02月13日(月)	・第7回震災予防講演会「熊本地震に学ぶ首都圏の地震防災」開催 主催: 本会 後援: 日本地震学会他 日時: 2月3日(金) 13時00分~16時30分 場所: パシフィコ横浜・アネックスホール2階203会場 講師: 武村雅之(名古屋大学減災連携研究センター教授) 他 参加者: 157名
02月15日(水)	・E-ディフェンス 杭支持建物のモニタリング技術検証のための振動台実験見学会 日時: 2月6日(月) 13時30分~16時45分 場所: 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター 企画: 事業企画委員会 参加者: 28名
02月17日(金)	・17WCEE 招致委員会及び祝勝会開催 目黒会長・委員長、中埜副会長・副委員長ほか委員、 関係者
02月22日(水)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 1月
02月27日(月)	・論文賞選考委員会開催 中埜副会長・委員長他委員
02月28日(火)	・第8回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員
03月01日(水)	・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会 幹事会開催 林幹事他
03月03日(金)	・日本地震工学会論文集 Vol.17(2017) No.1 刊行
03月08日(水)	・日本地震工学会誌 No.30 刊行
03月13日(月)	・総務会計部会開催 木全副会長、吉見総務理事、田中総務理事、原田会計理事、長島会計理事
03月15日(水)	・JAEE NEWS No.311 配信
03月17日(金)	・第11回正副会長会議開催 目黒会長、木全副会長、中埜副会長、吉見理事、田中理事、 原田理事、長島理事
03月22日(水)	・メール審議 発議 議案: 役員候補推薦委員会の新委員候補5名及び予備2名 発議: 長島理事

<p>03月07日(火)</p> <p>03月13日(月)</p> <p>03月23日(木)</p> <p>03月30日(木)</p>	<p>決議：2017年3月16日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会 開催 高田毅士委員長他委員</li> <li>・第13回 システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会開催 高田一委員長他委員</li> <li>・第3回各種構造物の津波荷重の体系化に関する研究委員会開催 有川委員長他委員</li> <li>・第7回出張講座開催(平成28年度毒物劇物製造業・輸入業講習会「プラント施設の地震被害と耐震工学の動向」) 講師：古屋治 氏</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奥山恵美子仙台市長に17WCEE招致決定の報告および表敬 目黒会長、中埜副会長</li> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査2月</li> <li>・第26回理事会開催 目黒会長、木全副会長、中埜副会長、他理事</li> </ul>
---	--

表 8-7 2017 年度 (会長：福和 伸夫)

04 月 03 日 (月)	・ JAEE NEWS No.312 配信
04 月 07 日 (金)	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 3 月 ・ 事業企画委員会開催 中村友紀子理事・委員長、宮腰理事・副委員長他委員
04 月 12 日 (水)	・ 平成 28 年度監事監査会開催 勝俣監事、中村晋監事、木全副会長、原田会計理事、長島会計理事、吉見総務理事、田中総務理事
04 月 15 日 (土)	・ 熊本地震一周年報告会開催 (主催：内閣府、日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会 等) 目黒会長発表
04 月 18 日 (火)	・ 17WCEE 第 2 回準備会開催 目黒会長、中埜副会長ほか関係者 ・ 第 27 回理事会開催 目黒会長、木全副会長、中埜副会長 他理事、監事
04 月 21 日 (金)	・ 重要文化財 旧東京音楽学校奏楽堂の修理現場見学会
04 月 26 日 (水)	・ 第 1 回会誌編集委員会開催 高橋理事・委員長 他委員
04 月 28 日 (金)	・ JAEE Newsletter 2017 年 4 月号 (Vol. 6, No. 1) 発行
05 月 02 日 (火)	・ JAEE NEWS No.313 配信
05 月 10 日 (水)	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 4 月
05 月 11 日 (木)	・ 第 1 回大会実行委員会開催 秋山理事・委員長 他委員
05 月 12 日 (金)	・ 第 15 回日本地震工学シンポジウム準備打合せ 風間委員長 他委員
05 月 18 日 (木)	・ 将来構想委員会 レジリエンスのビジネスモデルに関わる打合せ 目黒会長・委員長、木全副会長、田中理事他委員
05 月 19 日 (金)	・ 公益社団法人日本地震工学会第 5 回社員総会ならびに各賞贈呈式・講演会 日時：2017 年 5 月 19 日 (金) 14:00~19:00 場所：建築会館ホール ・ 臨時理事会開催 福和会長他理事、監事
05 月 23 日 (火)	・ 木造オフィス：ウッドスクエア、ポラス建築技術訓練校の見学会
05 月 26 日 (金)	・ システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会のセミナー 「耐震基準の相違がもたらす課題と施設全体の安全性照査の必要性」開催
05 月 30 日 (月)	・ 日本地震工学会論文集 第 17 巻第 2 号 (2017 年 5 月) 刊行
05 月 31 日 (火)	・ 総務部会開催 木全副会長、田中理事、佐藤理事、吉見前理事 ・ 第 3 回 17WCEE 準備会開催 目黒委員長、中埜副委員長他委員 ・ 執行部打合せ 福和会長、木全副会長、塩原副会長、清野副会長、田中理事、佐藤理事
06 月 01 日 (水)	・ JAEE NEWS No.314 配信 ・ 第 4 回「震災対策技術展」大阪 各種構造物の津波荷重の体系化に関する研究委員会のセミナー開催 「津波荷重の考え方とその体系化」(委員長：有川太郎 氏)、「将来の津波に備える一津波の規模と発生頻度の評価」 (同委員会 幹事：木原直人 氏)
06 月 07 日 (水)	・ 広報部会開催 入江理事、山口理事、平田理事
06 月 14 日 (水)	・ 第 28 回理事会開催 福和会長、木全副会長、塩原副会長、清野副会長他理事・監事
06 月 15 日 (木)	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 5 月 ・ 情報コミュニケーション委員会開催 山口理事・委員長他委員
06 月 16 日 (金)	・ 会誌編集委員会開催 平田理事・委員長他委員
06 月 19 日 (月)	・ 内閣府へ役員変更届提出 (オンライン)
06 月 20 日 (火)	・ 内閣府へ平成 28 年度事業報告提出 (オンライン)
06 月 21 日 (水)	・ 原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会 第 5 回幹事会開催 ・ 第 2 回事業企画委員会開催 宮腰理事・委員長他委員 ・ 内閣府へ平成 29 年度事業報告書、決算書等提出 (電子申請) 事務局
06 月 22 日 (木)	・ 第 19 回 東日本大震災合同調査報告編集委員会 開催 和田章委員長、川島一彦副委員長他各団体委員 ・ 内閣府へ役員 変更の届出 (電子申請) 事務局
06 月 27 日 (火)	・ 第 15 回日本地震工学シンポジウムキックオフ会議開催 風間委員長、高橋理事・幹事長 他委員
06 月 29 日 (木)	・ 日本地震工学会論文集 Vol.17 (2017) No.3 (英文号) 刊行
06 月 30 日 (金)	・ 日本地震工学会誌 No.31 刊行
07 月 03 日 (月)	・ JAEE NEWS No.315 配信

07月11日(火)	・強震動評価のための深部地盤モデル化手法の検証に関わる研究委員会開催 松島委員長他委員
07月12日(水)	・システム評価委員会・事業企画委員会打合せ 高田委員長、宮腰理事・委員長他委員
07月13日(木)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 6月 ・論文集編集委員会開催 末富理事・委員長他委員
07月14日(金)	・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会開催 高田委員長他委員
07月19日(水)	・17WCEE 第4回準備委員会開催 目黒委員長、中埜副委員長他委員
07月24日(月)	・第3回事業企画委員会開催 宮腰理事・委員長他委員
07月26日(水)	・日本地震工学会誌 31号投込み 入江理事、小松 (国土交通省、気象庁記者クラブ各50冊 14時00分～15時00分)
07月28日(金)	・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会企画グループ会議開催
08月01日(火)	・JAEE NEWS No.316 配信
08月05日(土)	・ESG Workshop 2017 日時：8月5日(土) 13時～17時45分 主催：IASPEI 国際 ESG 委員会、日本地震工学会 ESG 研究会 場所：神戸国際会館 神戸市
08月07日(月)	・会誌編集委員会開催 平田理事・委員長他委員
08月08日(火)	・第29回理事会開催 福和会長、木全副会長、清野副会長他理事
08月18日(金)	・第15回日本地震工学シンポジウム第1回総務部会 開催 風間委員長、高橋幹事長他
08月29日(火)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 7月
08月31日(木)	・日本地震工学会論文集 Vol.17(2017) No.4 刊行 ・JAEE Newsletter 2017年8月号 (Vol. 6, No. 2, 通算第18号) 発行 ・第7回理学・工学系学協会連絡協議会全体会議 福和会長
09月01日(金)	・JAEE NEWS No.317 配信
09月04日(月)	・将来構想委員会 木全副会長他
09月07日(木)	・第15回日本地震工学シンポジウム学術部会 開催 風間委員長、末富学術部会長他
09月12日(火)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 8月
09月15日(金)	・日本地震学会との会長懇談会 福和会長、木全副会長他
09月20日(水)	・17WCEE 準備会仙台視察 目黒委員長、中埜副会長他
09月22日(金)	・第15回日本地震工学シンポジウム第2回運営委員会 開催 風間委員長、高橋幹事長他
09月25日(月)	・IC委員会 開催 山口委員長他
09月28日(木)	・第3回メディア交流会「首都直下地震に備えるー都市ガスの供給と防災の最前線ー」 (参加者 5名)
10月02日(月)	・JAEE NEWS No.318 配信 ・第5回 17WCEE 準備会 開催 目黒委員長、中埜副委員長他
10月03日(火)	・第2回大会実行委員会 開催 秋山委員長、藤倉幹事他
10月04日(水)	・第15回日本地震工学シンポジウム第1回実施部会 開催 風間委員長、森口幹事他
10月05日(木)	・第2回強震動評価のための深部地盤モデル化手法の検証に関する研究委員会 開催 松島委員長他
10月10日(火)	・17WCEE 顧問説明会 開催 目黒委員長、中埜副委員長他 (顧問出席 9名)
10月12日(木)	・第4回会誌編集委員会 開催 平田委員長他 ・第4回事業企画委員会 開催 宮腰委員長他
10月18日(水)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 9月 ・臨時 17WCEE 準備会 開催 目黒委員長、中埜副委員長他
10月23日(月)	・将来構想委員会 開催 福和会長、木全副会長他 ・第30回理事会開催 福和会長、木全副会長、塩原副会長、清野副会長ほか理事・監事
10月31日(火)	・日本地震工学会誌 No.32 刊行
11月01日(水)	・強震動評価のための表層地盤モデル化手法講習会開催 ・JAEE NEWS No.319 配信
11月06日(月)	・17WCEE 第6回準備会開催 目黒委員長、中埜副委員長ほか委員、関係者
11月13日(月)	・第13回日本地震工学会・大会 2017 開催

～	日時：11月13日（月）～14日（火）
11月14日（火）	場所：東京大学生産技術研究所 An棟2階 コンベンションホール・ホワイエ （東京都目黒区駒場 461） プログラム：基調講演、横断セッション、国際セッション、ポスターセッション、 技術展示、優秀発表賞表彰式、交流会 主催：日本地震工学会 参加者：290名
11月13日（月）	・17WCEE 運営委員会（キックオフ）開催 目黒委員長、中埜副委員長ほか委員、関係者
11月15日（水）	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 10月
11月26日（日）	・出張講座開催（大田区「おた住まいづくりフェア」特別セミナー 『最近の地震被害と残した教訓～大地震に備えて～』 講師：岩楯敏広 氏 ・第2回防災推進国民大会 第4回防災学術連携シンポジウム・日本学術会議公開シンポジウムにて当会より発表 発表者：三浦弘之広島大学准教授 発表タイトル：リモートセンシングによる災害把握－近年の地震・津波への対応－
11月27日（月）	・第12回正副会長会議開催 福和会長、木全副会長、塩原副会長、清野副会長、田中理事、佐藤理事
11月30日（木）	・日本地震工学会論文集 Vol.17 (2017) No.5 刊行
12月01日（金）	・第15回日本地震工学シンポジウム第3回運営委員会開催 風間委員長、高橋幹事長 ほか委員、関係者 ・JAEE NEWS No.320 配信
12月06日（水）	・第5回事業企画委員会開催 宮腰委員長ほか委員
12月07日（木）	・大会実行委員会（反省会） 秋山委員長ほか委員
12月08日（金）	・第31回理事会開催 福和会長、木全副会長、塩原副会長、清野副会長他理事
12月12日（火）	・会誌編集委員会
12月14日（木）	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 11月
12月19日（火）	・メール審議 発議 審議：日本地震工学シンポジウムの予算案の承認について 発議：高橋理事 決議：2017年12月26日
12月21日（木）	・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会 開催 高田毅士委員長他
12月27日（月）	・日本地震工学会英文論文集 Vol.17 (2017) No.6 (英文号) 刊行
12月28日（木）	・JAEE Newsletter 2017年12月号 (Vol. 6, No. 3) 発行
01月04日（水）	・JAEE NEWS No.321 配信
01月14日（土）	・メール審議 発議 審議1：E-ディフェンス見学会開催日（報告）と参加費（審議）について 審議2：講習会とシンポジウムの後援（1件）・共催（1件）依頼について 発議：中尾理事（審議1）、佐藤理事（審議2） 決議：2018年1月19日
01月18日（木）	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 12月
01月23日（火）	・17WCEE 第2回運営委員会開催 目黒委員長、中埜副委員長ほか委員、関係者
01月29日（月）	・第6回事業企画委員会 宮腰理事・委員長他委員
01月30日（火）	・選挙管理委員会 長島理事・委員長他委員
02月01日（木）	・JAEE NEWS No.322 配信 ・メール審議 発議 審議：日本建築学会主催のメキシコ地震災害調査速報会共催の賛否 発議：田村理事 決議：2018年2月6日
02月02日（木）	・情報コミュニケーション委員会開催 山口理事・委員長他委員
02月08日（木）	・第22回震災対策技術展横浜開催（2月8日～2月9日） 本会展示出展
02月09日（金）	・第8回震災予防講演会「過去の大震災の復興から学ぶ地震防災」開催

	<p>主催：本会  後援：日本地震学会他  日時：2月9日（金）13時00分～16時30分  場所：パシフィコ横浜・アネックスホール2階203会場  講師：武村雅之（名古屋大学減災連携研究センター教授）他  参加者：118名</p>
02月15日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌編集委員会開催 平田理事・委員長 他委員</li> <li>・E-ディフェンス 液状化地盤上の道路橋基礎の耐震補強技術に関する大規模実証実験見学会  日時：2月15日（木）12時30分～15時30分  場所：防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター  企画：事業企画委員会  参加者：37名</li> </ul>
02月19日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査1月</li> </ul>
02月21日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール審議 発議  審議1：日本原子力学会主催シンポジウムの協賛についての賛否  審議2：同シンポジウムに共催として「福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会」をプログラムに記載することの賛否  発議：田中理事  決議：2018年2月28日</li> </ul>
02月23日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文賞選考委員会開催 清野副会長・委員長他委員</li> </ul>
02月26日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成32年度共同主催国際会議申請会議ヒアリング審査（17WCCE）  目黒組織委員会委員長、中埜副委員長 学術会議ヒアリング</li> <li>・日本地震工学会論文集 Vol.18 (2018) No.1 刊行</li> <li>・日本地震工学会誌 No.33 刊行</li> <li>・平成29年度日本政府観光局「国際会議誘致・開催貢献賞」授賞式（17WCCE 仙台）</li> </ul>
03月01日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.323 配信</li> </ul>
03月02日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務会計部会開催 木全副会長、田中理事、佐藤理事、長島理事、岩本理事</li> <li>・第13回拡大正副会長会議及び表彰委員会 開催 福和会長、塩田副会長、清野副会長、田中理事、佐藤理事、長島理事、岩本理事</li> </ul>
03月09日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第32回理事会開催予定 福和会長、木全副会長、塩田副会長、清野副会長他理事</li> </ul>
03月19日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム「南海トラフ巨大地震の広域被災に備える減災活動の現状と将来」開催  主催：本会  共催：日本地震学会他全5学会  後援：防災学術連携体  日時：3月19日（月）13時00分～17時00分  場所：建築会館ホール  講師：松澤暢（東北大学教授）他  参加者：142名</li> </ul>
03月20日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会 開催 高田毅士委員長他</li> <li>・第15回日本地震工学シンポジウム第2回実施部会 開催 風間委員長、森口幹事他</li> </ul>
03月22日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査2月</li> </ul>
03月28日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府へ平成30年度事業計画書、収支予算書提出（電子申請） 事務局</li> </ul>
03月30日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ESG研究委員会 開催 松島委員長他</li> <li>・第8回理学・工学系学協会連絡協議会 福和会長</li> </ul>

表 8-8 2018 年度（会長：福和 伸夫）

04 月 02 日（月）	・ JAEE NEWS No.324 配信
04 月 05 日（木）	・ 17WCEE 幹事会 開催 目黒委員長、中埜副委員長他
04 月 09 日（月）	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 3 月
04 月 12 日（木）	・ 役員候補推薦委員会開催 坂本委員、末富理事・委員他委員 ・ 平成 29 年度監事監査会開催 當麻監事、木全副会長、田中総務理事、佐藤総務理事、長島会計理事、岩本会計理事
04 月 13 日（金）	・ 会誌編集委員会開催 平田理事・委員長他 ・ 第 7 回事業企画委員会開催 宮腰理事・委員長、中尾理事・副委員長他
04 月 16 日（月）	・ 第 20 回東日本大震災合同調査報告編集委員会開催 川島副委員長 他 ・ 第 33 回理事会開催 福和会長、木全副会長、塩野副会長、清野副会長 他理事、監事 ・ 第 20 回東日本大震災合同調査報告書編集委員会 川島副委員長 他委員
04 月 25 日（水）	・ 17WCEE 第 3 回運営委員会開催 目黒委員長 他委員
04 月 27 日（金）	・ 役員候補推薦委員会開催 末富理事・委員長 他委員
05 月 01 日（火）	・ JAEE NEWS No.325 配信 ・ メール審議 発議 審議：関西地震観測研究協議会主催の「地域防災フォーラム 2018」協賛依頼 発議：佐藤理事 決議：2018 年 5 月 17 日
05 月 09 日（水）	・ ESG 研究委員会開催 松島委員長 他委員
05 月 10 日（木）	・ 「地域の災害レジリエンスの評価指標開発と政策シミュレーション研究委員会」 成果報告会 開催 日時：2018 年 5 月 10 日（木）13：30～17：00 場所：ビジョンセンター田町 406 会議室
05 月 16 日（水）	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 4 月
05 月 18 日（金）	・ 総務部会引継ぎ 木全副会長、田中理事、佐藤理事、鳥井氏、中村氏
05 月 21 日（月）	・ 韓国地震工学会会長、福和会長訪問
05 月 25 日（金）	・ 公益社団法人日本地震工学会第 6 回社員総会ならびに各賞贈呈式・講演会、交流会 日時：2018 年 5 月 25 日（金）14：00～19：00 場所：建築会館ホール ・ 臨時理事会開催 福和会長 他理事、監事
05 月 28 日（月）	・ 選挙管理委員開催 山本理事・委員長 他委員
05 月 31 日（木）	・ 日本地震工学会論文集 第 18 巻第 2 号（2018 年 5 月）刊行
06 月 01 日（水）	・ JAEE NEWS No.326 配信
06 月 05 日（火）	・ 第 1 回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」 日時：6 月 5 日（火）13 時から 17 時 30 分 場所：日本学術会議 講堂 当会出席者：田村理事
06 月 07 日（木）	・ 17WCEE 展示委員会開催 庄司委員長 他委員 ・ メール審議 発議 審議：東京大学地震研究所を「国際共同利用・共同研究拠点」として認定することを要望する文書の発行依頼に対する賛否 発議：佐藤理事 決議：2018 年 6 月 18 日
06 月 11 日（月）	・ 会誌編集委員会開催 平田理事・委員長 他委員
06 月 13 日（水）	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 5 月
06 月 14 日（木）	・ 15JEES 第 4 回運営委員会開催 風間委員長、高橋理事・幹事長 他委員 ・ I C 委員会開催 久保理事・委員長 他委員
06 月 20 日（水）	・ 第 1 回事業企画委員会開催 中尾理事・委員長 他委員
06 月 22 日（金）	・ 第 34 回理事会開催 福和会長、鳥井副会長、塩原副会長他理事・監事
06 月 25 日（月）	・ 内閣府へ平成 29 年度事業報告資料提出（オンライン） 内閣府へ役員変更届提出（オンライン）
06 月 27 日（水）	・ 17WCEE 第 2 回幹事会開催 目黒理事・委員 長他委員

06月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会論文集 Vol.18 (2018) No.3 (英文号) 刊行</li> <li>・津波荷重体系化委員会開催 有川委員長他委員</li> </ul>
06月29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会誌 No.34 刊行</li> </ul>
07月02日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.327 配信</li> </ul>
07月04日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙管理委員会開催 山本理事・委員長他委員</li> </ul>
07月05日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE プログラム委員会開催 高田委員長他委員</li> </ul>
07月09日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会開催 高田委員長他委員</li> </ul>
07月11日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 第4回運営委員会開催 目黒理事・委員長他委員</li> </ul>
07月12日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 6月</li> </ul>
07月13日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 展示委員会幹事会開催 庄司委員長他委員</li> </ul>
07月19日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文集編集委員会開催 末富理事・委員長他委員</li> <li>・大阪府北部の地震に対する災害調査団速報会開催 日本地震工学会報告者 向出静司氏 (大阪工業大学)</li> </ul>
08月01日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.328 配信</li> <li>・役員選挙投票開始</li> </ul>
08月02日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第15回日本地震工学シンポジウム実施部会(会場との打合せ)開催 風間委員長 他1名</li> </ul>
08月07日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第35回理事会開催 福和会長、鳥井副会長、塩原副会長他理事</li> </ul>
08月09日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 展示委員会幹事会(台風のためスカイプ会議に変更) 庄司委員長他</li> </ul>
08月16日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌編集委員会開催 平田理事・委員長他</li> </ul>
08月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 7月</li> </ul>
08月31日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会論文集 Vol.18 (2018) No.4 刊行</li> <li>・JAEE Newsletter 2018年8月号 (Vol. 7, No. 2, 通算第21号) 発行</li> </ul>
09月03日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.329 配信</li> <li>・強震動評価のための深部地震モデル化手法の検証に関わる研究委員会 開催 松島委員長他</li> </ul>
09月07日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙管理委員会開催 山本委員長他</li> </ul>
09月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 第2回展示委員会 開催 庄司委員長他</li> </ul>
09月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回ESG国際シンポジウム打合せ会 開催 東幹事、佐藤理事他</li> </ul>
09月14日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 8月</li> </ul>
09月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15JEES 実施部会 開催 風間委員長他</li> </ul>
09月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 第3回幹事会 開催 目黒理事・委員長、中埜副委員長他</li> </ul>
10月01日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.330 配信</li> </ul>
10月05日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15JEES 第5回運営委員会幹事会 開催 風間委員長、高橋理事・幹事長他</li> </ul>
10月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE/IAEE 打合せ(スカイプ会議) 中島 IAEE 会長、目黒理事・委員長、中埜副委員長他</li> <li>・17WCEE 第5回運営委員会 開催 目黒理事・委員長、中埜副委員長他</li> </ul>
10月11日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 9月</li> </ul>
10月13日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災推進国民大会 2018「あなたが知りたい防災科学の最前線 首都直下地震に備える」 司会 目黒理事、発表者 JAEEより久田嘉章先生(工学院大学)</li> </ul>
10月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回IC委員会 開催 久保理事・委員長他</li> </ul>
10月16日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌編集委員会開催 平田委員長他</li> </ul>
10月17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 第2回顧問説明会 開催 目黒理事・委員長、中埜副委員長他(顧問出席9名)</li> </ul>
10月23日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「津波等の突発大災害からの避難における諸課題に対する工学的検討手法およびその活用に関する研究委員会」報告会 開催 日時：2018年10月23日(火) 13時30分～15時00分 場所：建築会館 301+302 会議室</li> </ul>
10月31日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第36回理事会開催 福和会長、鳥井副会長、塩原副会長、清野副会長ほか理事・監事</li> </ul>
11月01日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会誌 No.35 刊行</li> </ul>
11月01日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.331 配信</li> </ul>
11月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 10月</li> </ul>
11月13日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回日本地震学会・日本地震工学会 会長懇談会との会長懇談会 日本地震学会 山岡会長、古村副会長、汐見常務理事、事務局 中西 日本地震工学会 福和会長、鳥井副会長、清野副会長、佐藤理事、事務局 (小松)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 企業協賛拡大委員会 中村委員長ほか委員、関係者</li> <li>・第14回正副会長会議開催 福和会長、鳥井副会長、塩原副会長、清野副会長、佐藤理事、岩本理事、山本理事、事務局（小松）</li> </ul>
11月29日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強震動評価の深部地盤モデル化手法の検証に関わる研究委員会 松島委員長ほか委員</li> </ul>
11月30日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第15回日本地震工学シンポジウム第5回実施部会 開催 風間委員長、森口幹事ほか</li> <li>・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会 高田委員長ほか委員</li> <li>・日本地震工学会論文集 Vol.18 (2018) No.5 刊行</li> </ul>
12月03日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.332 配信</li> </ul>
12月06日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第15回日本地震工学シンポジウム 開催</li> </ul>
～	日時：12月06日（木）～08日（土）
12月08日（土）	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所：仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）</li> <li>プログラム：基調講演、一般セッション、オーガナイズドセッション、ポスターセッション、2018年北海道胆振東部地震調査報告、技術展示、見学会、懇親会</li> <li>主催：日本地震工学会 幹事学会 ほか全11学会</li> <li>参加者：680名</li> </ul>
12月08日（土）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 展示委員会開催 庄司委員長ほか委員、関係者</li> </ul>
12月12日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 10月</li> </ul>
12月14日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌編集委員会開催 平田理事・委員長ほか委員</li> </ul>
12月18日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第37回理事会開催 福和会長、鳥井副会長、塩原副会長、清野副会長他理事</li> <li>・17WCEE プログラム委員会打合せ 高田委員長他</li> </ul>
12月19日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 第2回企業協賛拡大委員会開催 中村企業協賛委員会委員長、庄司展示委員会委員長他</li> </ul>
12月27日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 第4回幹事会開催 目黒理事・委員長、中埜副委員長他</li> </ul>
12月28日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE Newsletter 2018年12月号 (Vol. 7, No. 3) 発行</li> <li>・日本地震工学会英文論文集 Vol.18 (2018) No.6 (英文号) 刊行</li> </ul>
01月04日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.333 配信</li> </ul>
01月09日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・E-ディフェンス 高耐震鉄筋コンクリート造建物の耐震性能と普及型高耐震技術に関する実験見学会開催</li> <li>日時：1月9日(木) 12時30分～15時30分</li> <li>場所：防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター</li> <li>企画：事業企画委員会</li> <li>参加者：41名</li> </ul>
01月15日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール審議 発議</li> <li>審議：地盤工学会主催の技術講習会の後援（1件）依頼について</li> <li>発議：佐藤理事</li> <li>決議：2019年1月28日</li> </ul>
01月17日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 第6回運営委員会開催 目黒理事・委員長、中埜副委員長他</li> <li>・情報コミュニケーション委員会開催 久保理事・委員長他</li> </ul>
01月22日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 12月</li> </ul>
01月23日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画委員会開催 中尾理事・委員長、宮腰理事他</li> </ul>
02月01日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.334 配信</li> </ul>
02月07日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第23回震災対策技術展横浜開催（2月7日～2月8日）本会展示出展</li> </ul>
02月08日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第9回震災予防講演会「近年の豪雨災害の教訓と震災予防」開催</li> <li>主催：本会</li> <li>日時：2月8日（金）13時00分～16時30分</li> <li>場所：パシフィコ横浜・アネックスホール2階203会場</li> <li>講師：武村雅之（名古屋大学減災連携研究センター教授）他</li> <li>参加者：140名</li> </ul>
02月12日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 1月</li> </ul>
02月15日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌編集委員会開催 平田理事・委員長 他委員</li> </ul>
02月22日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文賞選考委員会開催 清野副会長・委員長他委員</li> <li>・17WCEE プログラム委員会開催 高田委員長、清野副会長・副委員長他</li> </ul>

02月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール審議 発議</li> <li>審議：地盤工学会主催の技術講習会の後援（1件）依頼について</li> <li>発議：佐藤理事</li> <li>決議：2019年3月1日</li> </ul>
02月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE第3回企業協賛拡大委員会開催 中村企業協賛委員会委員長、庄司展示委員会委員長他</li> </ul>
02月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種構造物の津波荷重の体系化に関する研究委員会開催 有川委員長他</li> <li>・各種構造物の津波荷重の体系化に関する研究委員会成果報告会開催</li> <li>日時：2月27日(水)15時00分～17時30分</li> <li>場所：ビジョンセンター田町 2階 203会議</li> <li>主催：本会</li> <li>演者：松富英夫氏他 参加者：42名</li> </ul>
02月28日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会論文集 Vol.19(2019)No.1 刊行</li> <li>・日本地震工学会誌 No.36 刊行</li> </ul>
03月01日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.335 配信</li> <li>・総務会計部会開催 佐藤理事、中村理事、岩本理事</li> </ul>
03月04日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム「現代都市の複合システムにおける性能設計と耐震性能評価」開催</li> <li>主催：本会</li> <li>共催：日本地震学会他全4学会</li> <li>後援：日本建築学会、防災学術連携体</li> <li>日時：3月4日(月)13時00分～17時30分</li> <li>場所：工学院大学アーバンテックホール</li> <li>講師：高田毅士(東京大学教授)他</li> <li>参加者：78名</li> </ul>
03月06日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来構想委員会開催 鳥井副会長・委員長他</li> <li>・第15回拡大正副会長会議及び表彰委員会開催 福和会長、鳥井副会長、塩原副会長他</li> </ul>
03月12日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回防災学術連携シンポジウム開催 当会より岡田成幸氏発表</li> </ul>
03月15日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第38回理事会開催 福和会長、塩原副会長、清野副会長他理事</li> <li>・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会 開催 高田毅士委員長他</li> </ul>
03月18日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ESG研究委員会 開催 松島委員長他</li> </ul>
03月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪大学における研究活動上の特定不正行為に関する研究公正委員会調査結果 公表 (3月15日)への対応として当会のコメントを当会ウェブサイトに掲載</li> </ul>
03月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査2月</li> </ul>
03月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府へ平成30年度事業計画書、収支予算書提出(電子申請) 事務局</li> <li>・17WCEE第4回企業協賛拡大委員会 開催 中村委員長、庄司委員長他</li> </ul>
03月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第9回理学・工学系学協会連絡協議会 福和会長</li> </ul>
03月29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第15回日本地震工学シンポジウム第6回運営委員会 開催</li> <li>風間委員長、高橋理事・幹事長他</li> </ul>

表 8-9 2019 年度 (会長：中埜 良昭)

04 月 01 日 (月)	・ JAEE NEWS No.336 配信
04 月 04 日 (木)	・ 第 20 回東日本大震災合同調査報告編集委員会開催 川島副委員長 他 ・ 17WCEE 第 7 回運営委員会 開催 目黒理事・委員長、中埜副委員長他
04 月 08 日 (月)	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 3 月、決算処理
04 月 09 日 (火)	・ 平成 30 年度監事監査会開催 飯場監事、當麻監事、鳥井副会長、佐藤総務理事、 中村総務理事、岩本会計理事
04 月 12 日 (金)	・ 若手中堅交流会 福和会長、鳥井副会長他
04 月 12 日 (金)	・ 第 39 回理事会開催 福和会長、鳥井副会長、塩原副会長、清野副会長 他理事、監事
04 月 15 日 (月)	・ ESG 研究委員会開催 松島委員長 他委員 ・ メール審議 発議 審議：新規入会申請者（正会員、次期理事候補者）の承認 発議：佐藤理事 決議：2019 年 4 月 22 日
04 月 19 日 (金)	・ 会誌編集委員会開催 平田理事・委員長 他委員
04 月 23 日 (火)	・ 事業企画委員会開催中尾理事・委員長 他委員
05 月 07 日 (火)	・ JAEE NEWS No.337 配信
05 月 09 日 (水)	・ ESG 研究委員会開催 松島委員長 他委員
05 月 14 日 (火)	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 4 月 ・ 17WCEE 第 5 回企業協賛拡大委員会開催 中村委員長 他委員 ・ 総務部会引継ぎ 佐藤理事、中村理事、徳光氏
05 月 22 日 (水)	・ 17WCEE 技術見学会打合せ 前田委員長 他委員・関係者
05 月 24 日 (金)	・ 公益社団法人日本地震工学会第 7 回社員総会・各賞贈呈式・講演会、交流会 日時：2019 年 5 月 24 日 (金) 14：00～19：00 場所：建築会館ホール ・ 臨時理事会開催 中埜会長 他理事、監事
05 月 29 日 (水)	・ 17WCEE 技術見学会委員会開催 前田委員長 他委員
05 月 31 日 (金)	・ 日本地震工学会論文集 第 19 巻第 2 号 (2019 年 5 月) 刊行
06 月 03 日 (月)	・ JAEE NEWS No.338 配信 ・ メール審議 発議 審議：関西地震観測研究協議会主催の「地域防災フォーラム 2019」協賛依頼 発議：中村理事 決議：2019 年 6 月 13 日
06 月 04 日 (火)	・ 17WCEE 第 6 回幹事会開催 目黒委員長 他委員
06 月 06 日 (木)	・ 津波荷重体系化研究委員会開催 有川委員長 他委員
06 月 13 日 (木)	・ I C 委員会開催 久保理事・委員長 他委員 ・ 第 2 回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」 －災害時医療と理工学分野の連携－当会より畝田泰子氏情報提供
06 月 14 日 (金)	・ 会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 5 月
06 月 17 日 (月)	・ 会誌編集委員会開催 永野理事・委員長 他委員
06 月 20 日 (金)	・ 第 40 回理事会開催 中埜会長、鳥井副会長、山田副会長他理事・監事 ・ 強震動評価研究委員会幹事会開催 松島委員長他委員
06 月 24 日 (月)	・ 内閣府へ役員変更届提出 (オンライン)
06 月 25 日 (火)	・ 内閣府へ平成 30 年度事業報告資料提出 (オンライン)
06 月 27 日 (木)	・ セミナー「実務で使う地盤の地震応答解析」開催 日時：6 月 27 日 (木) 9 時 00 分～16 時 50 分 場所：専売ホール 講師：吉田望氏 (関東学院大学) 企画：事業企画委員会 参加者：91 名
06 月 28 日 (木)	・ 日本地震工学会論文集 Vol.19 (2019) No.3 (英文号) 刊行 ・ 強震動評価研究委員会開催 松島委員長他委員 ・ 日本地震工学会誌 No.37 刊行

07月01日(月)	・JAEE NEWS No.339 配信
07月04日(木)	・17WCEE 第8回運営委員会開催 目黒理事・委員長他委員
07月05日(金)	・論文集編集委員会開催 小檜山理事・委員長他委員
07月12日(金)	・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会開催 高田委員長他委員 ・原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会成果報告会開催 日時：6月27日(木) 14時00分～17時30分 場所：専売ホール 主催：本会 協賛：日本原子力学会・土木学会原子力土木委員会 演者：高田孝氏 他 参加者：95名
07月17日(水)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 6月
07月29日(月)	・日本地震工学会・大会2019 実行委員会開催 五十嵐理事・委員長他委員
07月30日(火)	・E S G 6に関わる打合せ会開催 東幹事長他幹事・委員
08月01日(木)	・JAEE NEWS No.340 配信
08月02日(金)	・東日本大震災合同調査報告全28編 国立国会図書館寄贈 和田編集委員会委員長、川島副委員長他委員・学会事務局 先方：図書館長羽入佐和子氏他
08月08日(木)	・会誌編集委員会開催 永野理事・委員長 他委員
08月20日(火)	・17WCEE 第6回企業協賛拡大委員会開催 中村委員長 他委員
08月21日(水)	・第41回理事会開催 中桙会長、鳥井副会長、山田副会長他理事
08月29日(木)	・メール審議 発議 審議内容：論文集倫理規程の制定についての賛否 発議：中村理事 決議：2019年9月10日
08月30日(金)	・日本地震工学会論文集 Vol.19(2019) No.4 刊行 ・JAEE Newsletter 2019年8月号 (Vol. 8, No. 2) 発行
09月02日(月)	・JAEE NEWS No.341 配信
09月13日(金)	・17WCEE 第7回幹事会 開催 目黒理事・委員長、中桙会長・副委員長他
09月13日(金)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 8月
09月18日(水)	・第14回日本地震工学会・大会2019 開催
～	日時：9月18日(水)～20日(金)
09月20日(金)	(注)9月18日は、日本地震学会・日本地震工学会合同セッション 場所：京都大学 吉田キャンパス(京都市左京区吉田本町) プログラム：基調講演、招待講演、特別講演、横断セッション、国際セッション、一般セッション、ポスターセッション、技術フェア、優秀発表表彰式、交流会 主催：日本地震工学会 参加者：190名
09月27日(金)	・会誌編集委員会開催 永野理事・委員長他
09月30日(月)	・日本地震工学会論文集 Vol.19(2019) No.5 (15JEES シンポジウム特集号) 刊行 ・JAEE Newsletter 2018年8月号 (Vol. 7, No. 2, 通算第21号) 発行
10月01日(火)	・JAEE NEWS No.342 配信
10月04日(金)	・事業企画委員会開催 宮腰理事・委員長、丸山理事・副委員長他
10月10日(木)	・第42回理事会開催 中桙会長、鳥井副会長、山田副会長、秋山副会長ほか理事・監事
10月11日(金)	・17WCEE 企業協賛拡大委員会 中村委員長ほか委員、関係者 ・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 9月
10月15日(火)	・17WCEE 第9回運営委員会 開催 目黒理事・委員長、中桙会長・副委員長他
10月18日(金)	・I C委員会開催 久保理事・委員長 他委員
10月19日(土)	・「ぼうさいこくたい2019」ブース展示
～	主催：防災推進国民大会 2019 実行委員会
10月20日(日)	場所：名古屋コンベンションホール ブース展示担当：宮腰理事

10月21日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平成28年(2016年)熊本地震とESG研究」シンポジウム</li> <li>主催：本会</li> <li>日時：10月21日(月)13時00分～16時30分</li> <li>場所：東京工業大学田町キャンパス CIC1階国際会議室</li> <li>講師：川瀬博(京都大学教授)他</li> <li>参加者：67名</li> </ul>
10月29日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回日本地震学会・日本地震工学会 会長懇談会</li> <li>日本地震学会：山岡会長、久家副会長、古村副会長、汐見常務理事、事務局 中西</li> <li>日本地震工学会：中埜会長、鳥井副会長、山田副会長、中村理事、徳光理事、事務局(小松)</li> </ul>
10月30日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE第3回顧問説明会 開催</li> <li>目黒理事・委員長、中埜会長・副委員長他(顧問出席9名)</li> </ul>
10月31日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会誌 No.38 刊行</li> <li>・日本地震工学会論文集 第19巻第6号</li> <li>(2019年10月 特集号「第15回日本地震工学シンポジウム」その22) 刊行</li> </ul>
11月01日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.343 配信</li> </ul>
11月10日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「震災対策技術展」東北ブース展示</li> <li>主催：「震災対策技術展」東北実行委員会</li> </ul>
～	
11月11日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場：仙台国際センター</li> <li>ブース展示担当：井上和真先生(群馬高専)、高瀬裕也先生(室蘭工大)</li> </ul>
11月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 10月</li> </ul>
11月18日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌編集委員会開催 永野理事・委員長ほか委員</li> </ul>
11月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第16回正副会長会議 開催 中埜会長、鳥井副会長、山田副会長、秋山副会長、中村理事、徳光理事、山本理事、事務局(小松)</li> </ul>
11月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回事業企画委員会 開催 宮腰理事・委員長ほか委員</li> </ul>
11月29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 臨時打合せ 開催 目黒理事・委員長、中埜会長・副委員長他</li> <li>・日本地震工学会論文集第19巻第7号(2019年11月 通常号) 刊行</li> </ul>
12月02日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.344 配信</li> <li>・第43回理事会開催 中埜会長、鳥井副会長、山田副会長、秋山副会長他理事</li> <li>・ESG研究委員会、ESG6運営委員会 松島委員長、川瀬委員長他</li> <li>・福島イノベーション・コースト構想推進機構(渡邊氏)との打ち合わせ 秋山副会長他</li> </ul>
12月04日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・E-ディフェンス 災害拠点建物の安全度即時評価および継続使用性即時判定に関する実証見学会開催</li> <li>日時：12月4日(水)12時30分～15時30分</li> <li>場所：防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター</li> <li>企画：事業企画委員会</li> <li>参加者：37名</li> </ul>
12月13日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 11月</li> </ul>
12月18日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 企業協賛拡大委員会開催 中村企業協賛委員会委員長他</li> </ul>
12月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 第8回幹事会開催 目黒理事・委員長、中埜副委員長他</li> </ul>
12月27日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE Newsletter 2019年12月号(Vol.8, No.3) 発行</li> <li>・日本地震工学会英文論文集 Vol.19(2019) No.8(英文号) 刊行</li> </ul>
01月06日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAEE NEWS No.345 配信</li> </ul>
01月08日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール審議 発議</li> <li>審議：本会論文集に掲載のノートの掲載撤回の承認および、撤回の方法に係るメール審議</li> <li>発議：中村理事</li> <li>決議：2020年1月18日</li> </ul>
01月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報コミュニケーション委員会開催 久保理事・委員長他</li> </ul>
01月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査 12月</li> </ul>
01月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17WCEE 第10回運営委員会開催 目黒理事・委員長、中埜副委員長他</li> </ul>
01月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ESG6運営委員会 川瀬委員長他</li> </ul>
01月31日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地震工学会論文集 Vol.20(2020) No.1</li> <li>(特集号「第15回日本地震工学シンポジウム」その3) 刊行</li> </ul>

02月03日(月)	・JAEE NEWS No.346 配信
02月06日(木)	・第24回震災対策技術展横浜開催(2月6日~2月7日) 本会展示出展
02月07日(金)	・第10回震災予防講演会「直下地震と地震防災」開催 主催:本会 日時:2月7日(金)13時00分~16時10分 場所:パシフィコ横浜・アネックスホール2階203会場 講師:武村雅之(名古屋大学減災連携研究センター教授)、宮腰淳一理事 参加者:156名
02月07日(金)	・会誌編集委員会開催 永野理事・委員長 他委員 ・17WCEE 企業協賛拡大委員会開催 中村企業協賛委員会委員長他
02月17日(月)	・メール審議 発議 審議:日本原子力学会が主催するシンポジウム「東京電力福島第一原子力発電所の廃炉 原子力を見るー社会の目」の協賛に係るメール審議 発議:中村理事 決議:2020年2月26日
02月20日(木)	・論文賞選考委員会開催 秋山副会長・委員長他委員 ・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査1月
02月25日(火)	・総務会計部会開催 中村理事、徳光理事、松岡理事、事務局(小松)
02月27日(木)	・17WCEE 第11回運営委員会開催 目黒理事・委員長、中埜副委員長他
02月28日(金)	・日本地震工学会論文集 Vol.20(2020) No.2 刊行 ・日本地震工学会誌 No.39 刊行
03月02日(月)	・JAEE NEWS No.347 配信
03月03日(火)	・第17回拡大正副会長会議及び表彰委員会 メール審議に変更(新型コロナウイルス対応)
03月04日(水)	・役員候補推薦委員会開催 塚本委員長 他委員
03月06日(金)	・選挙管理委員会 新型コロナウイルス対応により中止
03月07日(土)	・ESG6 運営委員会 川瀬委員長他
03月16日(月)	・役員候補推薦委員会開催 新型コロナウイルス対応により延期 ・17WCEE プログラム委員会開催 高田委員長、清野副委員長他 ・17WCEE 企業協賛拡大委員会開催 メール審議に変更(新型コロナウイルス対応)
03月18日(水)	・第9回防災学術連携シンポジウム「低頻度巨大災害を考える」開催 当会より有川太郎氏発表(新型コロナウイルス対応によりネット中継で行う)
03月24日(火)	・会計監査 涌井税務会計事務所 定期監査2月 ・第44回理事会開催 中埜会長(ｽｶｲﾌﾟ)、鳥井副会長(ｽｶｲﾌﾟ)、山田副会長、秋山副会長他理事